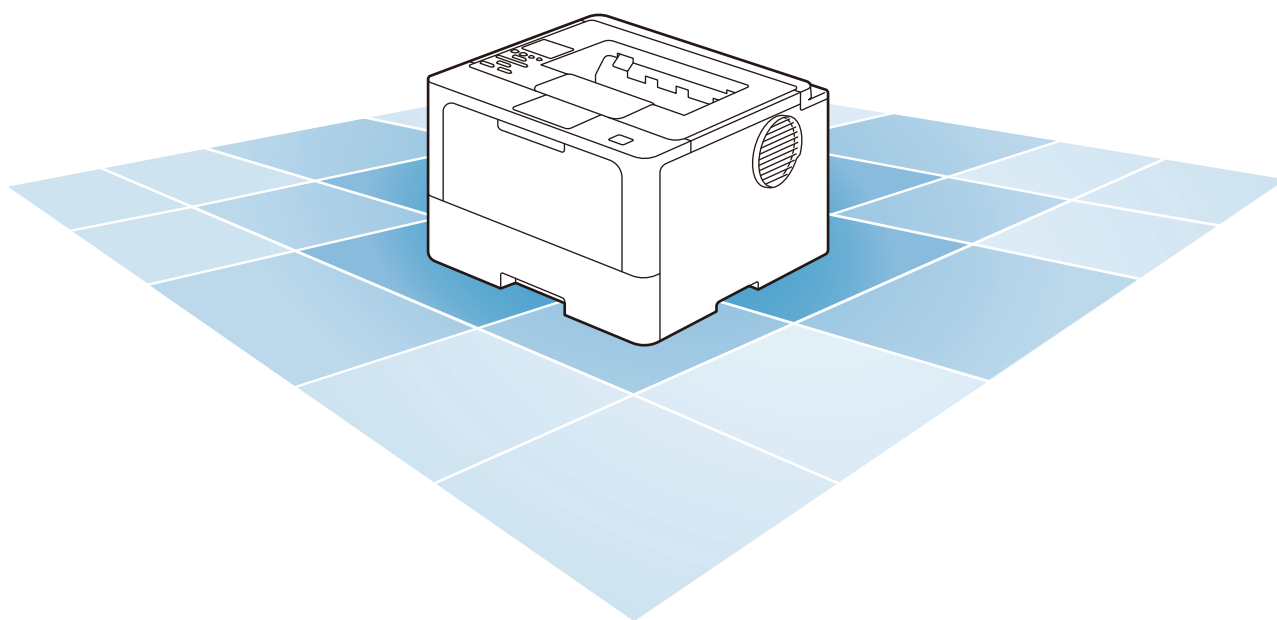


MultiWriter 4M370 MultiWriter 4M350

モノクロページプリンタ



ユーザーズガイド

目次

本ガイドの使い方	1
マニュアル体系	2
注意事項の定義	3
商標	4
著作権とライセンスについて	5
重要事項	6
本製品のご案内	7
本製品をご使用になる前に	8
前面と背面	9
操作パネルの概要	10
本製品にテキストを入力するには	12
NEC Utilities (Windows) を起動する	13
ソフトウェアとプリンタードライバをアンインストールする (Windows)	14
本製品の入出力ポートの場所	15
製品の換気を良くする	16
本機で使用している記号	17
用紙の取り扱い	19
用紙のセット	20
用紙トレイに用紙をセットして印刷する	21
多目的トレイに用紙をセットして印刷する	27
用紙設定	35
用紙サイズと用紙タイプを変更する	36
トレイ確認の設定を変更する	37
印刷できない領域	38
特殊用紙を使用する	39
印刷	40
コンピューターから印刷する (Windows)	41
文書を印刷する (Windows)	42
印刷設定 (Windows)	44
セキュリティープリント (Windows)	51
印刷設定の初期値を変更する (Windows)	52
PS3 エミュレーションプリンタードライバを使用して文書を印刷する (Windows)	54
お使いのコンピューターから本製品の状態を確認する (Windows)	55
コンピューターから印刷する (Mac)	56
AirPrint を使用して印刷する	57
副本を印刷する	58
操作パネルを使用して印刷の設定を変更する	59
印刷ジョブをキャンセルする	60
テスト印刷	61
ネットワーク	62
対応している基本ネットワーク機能について	63
ネットワークを設定する	64
操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する	65
無線 LAN ネットワーク設定	66
無線 LAN ネットワークを使用する	67

Wi-Fi Direct® を使用する	80
無線 LAN を有効 / 無効にする	84
無線 LAN レポートを印刷する	85
ネットワーク機能	89
操作パネルから Web Based Management を有効 / 無効にする	90
Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する	91
ネットワーク設定リストを印刷する	92
Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する	93
ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）に接続する	94
ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする	96

セキュリティ 97

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に	98
不要なプロトコルを無効にする	99
デバイスセキュリティの証明書を設定する	100
サポートされているセキュリティ証明書機能	101
証明書の作成とインストールの手順	102
自己署名証明書を作成する	103
CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする	104
証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて	108
CA 証明書のインポートとエクスポートについて	111
複数の証明書を管理する	114
SSL/TLS を使用する	115
SSL/TLS について	116
SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理	117
SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する	121
SNMPv3 を使用する	123
SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理	124
IPsec を使用する	125
IPsec について	126
Web Based Management を使用して IPsec を設定する	127
Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する	129
Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する	131
IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する	141
IEEE 802.1x 認証について	142
Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する	143
IEEE 802.1x 認証方式	145
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する	146
セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に	147
Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する	148
セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する	149
セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について	150
E メールを安全に送信する	151
Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う	152
ユーザー認証を使用して E メールを送信する	153
SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う	154
操作パネルから製品の設定をロックする	155
設定ロックの概要	156
グローバルネットワーク検出機能を使う	160
グローバル IP アドレス検出を有効にする	161

グローバルネットワークからの通信をブロックする	162
管理者	163
ネットワーク機能	164
セキュリティ機能	165
ネットワークセキュリティ	166
ユーザー認証	168
モバイル接続	169
AirPrint	170
AirPrint の概要	171
AirPrint を使用する前に (macOS)	172
AirPrint を使用して印刷する	173
Print Utility	176
トラブルシューティング	177
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ	178
紙詰まり	183
紙詰まりの解消	184
多目的トレイで紙が詰まっている	185
用紙トレイで紙が詰まっている	186
製品の背面で紙が詰まっている	188
製品の内部で紙が詰まっている	190
両面トレイの内部で紙が詰まっている	192
印刷の問題	195
印刷品質の改善	197
ネットワークの問題	202
エラーメッセージ	203
本製品のネットワーク設定を確認する	204
本製品のネットワークに問題がある場合	205
AirPrint の問題	210
その他の問題	211
本製品の情報を確認する	213
リセット機能	214
機能設定リセット	215
ネットワーク設定のリセット	216
出荷状態リセット	217
日常のお手入れ	218
消耗品を交換する	219
トナーカートリッジを交換する	222
ドラムカートリッジを交換する	225
本製品を清掃する	228
コロナワイヤーを清掃する	230
ドラムカートリッジを清掃する	232
給紙ローラーを清掃する	235
部品の残りの寿命を確認する	237
有寿命部品 (定期交換部品、有償) の寿命について	238
製品の設定	239
操作パネルから製品の設定を変更する	240
基本設定	241
設定と機能一覧	251

Web Based Management を使用して製品の設定を変更する	262
Web Based Management とは	263
Web Based Management にアクセスする	265
Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する	267

付録 268

仕様	269
各種情報について	272
保証書について	273
保守サービスについて	274
保守サービスの種類	275
プリンターの耐久性について	276
情報サービスについて	277
使用済みカートリッジ回収について	278
消耗品および補修用性能部品について	279
本機の廃棄について	280
消耗品	281
オプション製品	282

本ガイドの使い方

- [マニュアル体系](#)
- [注意事項の定義](#)
- [商標](#)
- [著作権とライセンスについて](#)
- [重要事項](#)

マニュアル体系

名前	内容
安全にご利用いただくために	本製品をお使いになる前に、このガイドの安全に関する説明をお読みください。
かんたん設置ガイド	お使いの OS および接続の種類に対応した、本製品の設定やプリンタードライバーおよびソフトウェアパッケージのインストールについて説明しています。
ユーザーズガイド（本ガイド）	このガイドでは、印刷操作、モバイル端末機能の操作方法、トラブルシューティングについて説明し、ネットワーク上で本製品を使用するときに役立つ情報が含まれています。



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

注意事項の定義

本ガイドでは、次の記号が使用されます。

⚠ 警告	警告は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
⚠ 注意	注意は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容を示しています。
重要	重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性のある内容を示しています。
お願い	お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。
	有益なヒントや補足情報を示しています。
	「感電の危険があること」を示しています。
	「火災の危険があること」を示しています。
	「やけどの危険があること」を示しています。
	「してはいけないこと」を示しています。
太字	本製品の操作パネルやコンピューター画面に表示されるボタンを示しています。
[#####]	括弧で囲まれたテキストは、本製品の画面に表示されるメッセージを示しています。



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

商標

Microsoft、Windows および Windows Server は、マイクロソフトグループの企業の商標です。

Apple、App Store、AirPrint、Mac、macOS、iPad、iPhone、iPod touch または Safari は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

IOS の商標は、Cisco の米国およびその他の国のライセンスに基づき使用されています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、および Wi-Fi Direct® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

WPA™、WPA2™、WPA3™、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup™、および Wi-Fi Protected Setup のロゴは、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

Android、Google Chrome および Google Play は、Google LLC の商標です。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。これらの商標の使用は、Google 使用許諾の対象となります。

Bluetooth® ワードマークは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。日本電気株式会社は使用許諾の下でこれらのマークを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

NEC、NEC ロゴは、日本電気株式会社の登録商標です。

MULTIWRITER は、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標です。

本ガイドに記載されているソフトウェアの各社は、各プログラムに固有のソフトウェアライセンス契約を有しています。

ソフトウェアの商標

FlashFX® is a registered trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Pro™ is a trademark of Datalight, Inc.

FlashFX® Tera™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance™ is a trademark of Datalight, Inc.

Reliance Nitro™ is a trademark of Datalight, Inc.

Datalight® is a registered trademark of Datalight, Inc.

本製品および関連資料等に記載されている社名および商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

Microsoft Corporation の許可を得て画面写真を使用しています。



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

著作権とライセンスについて

This product includes software developed by the following vendors:

This product includes the "KASAGO TCP/IP" software developed by ZUKEN ELMIC, Inc.

Copyright 1989-2020 Datalight, Inc., All Rights Reserved.

FlashFX® Copyright 1998-2020 Datalight, Inc.

U.S. Patent Office 5,860,082/6,260,156



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)
-

重要事項

- 本製品のプリンタードライバーとソフトウェアの更新情報については、<https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> を確認してください。
- 本製品の性能を最新の状態に保つため、最新のファームウェアの更新がないか、<https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> をご確認ください。ファームウェアが最新でないと、製品の機能の一部がご利用になれない場合があります。
- 購入された国以外で本製品を使用しないでください。海外各国における無線通信および電力規制に反する場合や、海外で使用されている電源が本製品で適切に使用できない恐れがあります。
- 本製品を他の人に譲渡したり、交換または廃棄するときは、お買い上げ時の設定にリセットして個人情報をすべて削除することを強くお勧めします。
- 本文中の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Education、および Windows 10 Enterprise を指します。
- 本文中の Windows 11 は、Windows 11 Home、Windows 11 Pro、Windows 11 Education、および Windows 11 Enterprise を指します。
- 特に指定のない限り、本書は Windows 11 の画面を使用しています。実際のコンピューターの画面はお使いの OS によって異なる可能性があります。
- プリンターで紙幣をプリントしたり、有価証券などを不正にプリントしたりすると、そのプリント物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。
- コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機をより安全にご利用いただくために、ファイアウォールなどで保護されたネットワークに接続し、適切なセキュリティ設定をしてください。
- このガイドの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このガイドに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- 本文中に掲載されている本製品のイラストは、例として MultiWriter 4M350 を使用しています。
- このガイドに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。
- 使用できる用紙については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。



関連情報

- [本ガイドの使い方](#)

本製品のご案内

- 本製品をご使用になる前に
- 前面と背面
- 操作パネルの概要
- 本製品にテキストを入力するには
- NEC Utilities（Windows）を起動する
- 本製品の入出力ポートの場所
- 製品の換気を良くする
- 本機で使用している記号

本製品をご使用になる前に

印刷操作を行う前に次の内容を確認してください。

- 本製品に適切なソフトウェアおよびプリンタードライバーがインストールされていることを確認します。
- USB またはネットワーク接続の場合：インターフェイスケーブルが接続されていることを確認します。

ファイアウォール（Windows）

お使いのコンピューターがファイアウォールによって保護されており、ネットワーク印刷が使えない場合は、ファイアウォールの設定を変更する必要があります。Windows ファイアウォールを使用し、インストーラーからプリンタードライバーをインストールした場合、必要なファイアウォールはすでに設定されています。別のファイアウォールを使用している場合は、お使いのファイアウォールの取扱説明書を参照するかメーカーに問い合わせてください。

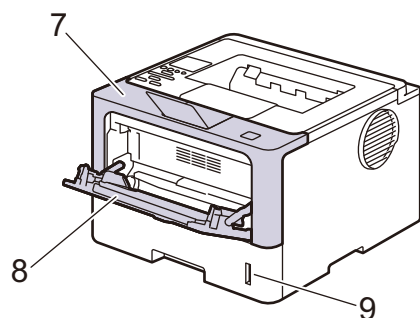
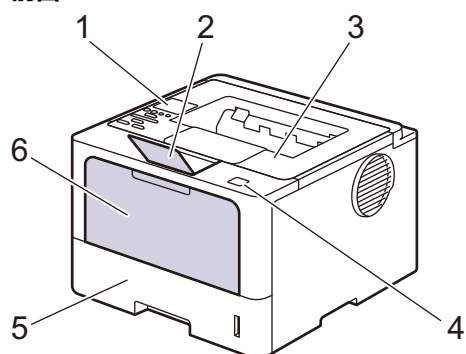


関連情報

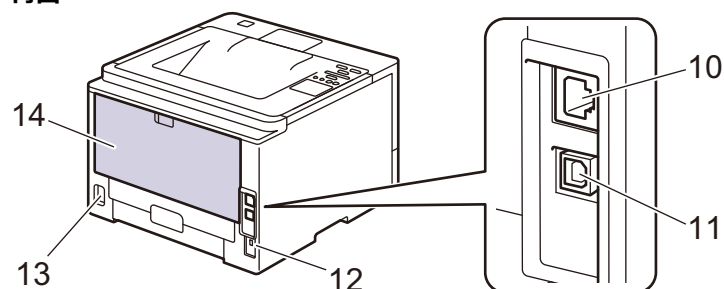
- [本製品のご案内](#)

前面と背面

前面



背面



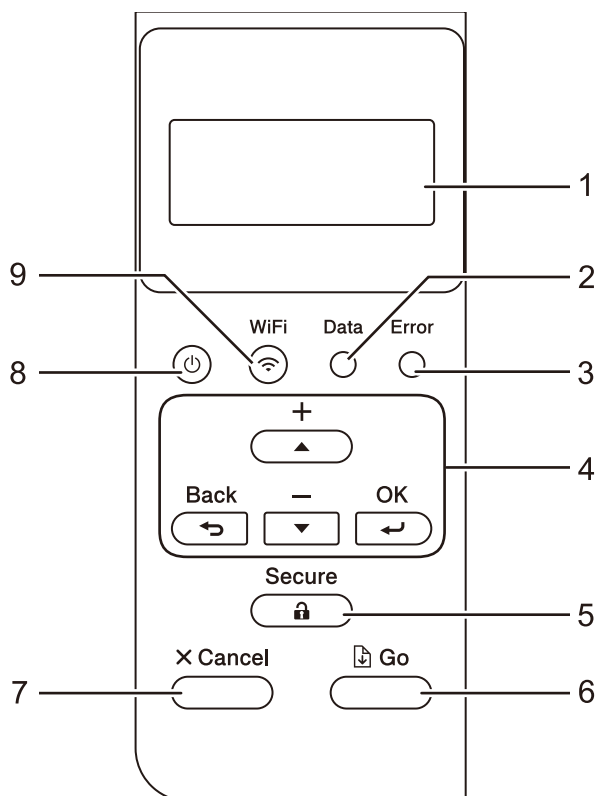
1. 液晶ディスプレイ（LCD）付き操作パネル
2. 上面排紙トレイの排紙ストッパー
3. 上面排紙トレイ
4. フロントカバーオープンボタン
5. 用紙トレイ
6. 多目的トレイのカバー
7. フロントカバー
8. 多目的トレイ
9. 用紙残量表示
10. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート
11. USB ポート
12. セキュリティワイヤロック
13. AC 電源コネクタ
14. 背面排紙トレイ



関連情報

- [本製品のご案内](#)

操作パネルの概要



1. 液晶ディスプレイ (LCD)

本製品の設定や使用時に役立つメッセージが表示されます。

無線接続をご使用の場合、4段階の表示で無線信号の強度を表します。



2. Data LED

本製品の状態に応じて **Data LED** が点滅します。

Data LED が点灯している場合は、本製品のメモリーにデータがあります。**Data LED** が点滅している場合は、本製品がデータを受信中または処理中です。

3. Error LED

画面にエラーまたは重要なステータスメッセージが表示されると、**Error LED** が点滅します。

4. メニューボタン

OK

本製品の設定を保存するときに押します。設定を変更した後、本製品は 1 つ前のメニュー階層に戻ります。

Back

- メニューの 1 つ前の階層に戻るときに押します。
- 文字または数字の入力時に、1 つ前の桁を選択するときに押します。

▲ または ▼ (+ または -)

- 表示項目をスクロールするときに押します。
- 数字を入力したり、数字を増減するときに押します。▲ または ▼ を長押しすると、スクロールの速度が上がります。希望の数字を表示して、**OK** を押します。

5. Secure

製品のメモリーに保存されているジョブのいずれかを印刷するときに押します。4桁のパスワードの入力が必要になる場合があります。

6. Go

- 特定のエラーメッセージを消去するときに押します。他のエラーメッセージを消去する場合は、画面の指示に従ってください。
- 本製品のメモリーに残っているデータをすべて印刷するときに押します。
- 表示された項目を選択するときに押します。選択後、本製品は待機モードに戻ります。

7. Cancel

- 現在の設定をキャンセルするときに押します。
- 印刷ジョブをキャンセルし、本製品のメモリーから消去するときに押します。複数の印刷ジョブをキャンセルするには、画面に [印刷を全て中止します] と表示されるまで **Cancel** を長押しします。

8. 電源オン/オフ

-  を押して本製品の電源を入れます。
-  を長押しして本製品の電源を切ります。

9. WiFi ボタン

コンピューターでインストーラーを起動し、**WiFi** ボタンを押します。画面の指示に従って本製品とネットワーク間の無線接続を設定します。

WiFi ランプが点灯している場合は、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続されています。**WiFi** ランプが点滅している場合は、無線接続が切れているか、本製品が無線 LAN アクセスポイントに接続中です。

関連情報

- [本製品のご案内](#)
-

本製品にテキストを入力するには

使用できる文字は、操作内容によって異なる場合があります。

- ▲ または ▼ を長押しするか、繰り返し押して、次のリストから文字を選択します。
0123456789abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ(space)!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~
- 使用したい文字や記号が表示されたら、**OK** を押し、次の文字を入力します。
- **Back** を押すと、間違えて入力した文字を削除することができます。



関連情報

- [本製品のご案内](#)

関連トピック：

- [本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線 LAN ネットワークを設定する](#)
- [非公開 SSID を入力して、本製品に無線 LAN ネットワークを設定する](#)
- [設定ロックパスワードを設定する](#)

NEC Utilities (Windows) を起動する

NEC Utilities は、お使いのコンピューターにインストールされたアプリケーションに簡単にアクセスできるアプリケーションランチャーです。

1. 次のいずれかを行ってください：

- (Windows 11、Windows Server 2025)



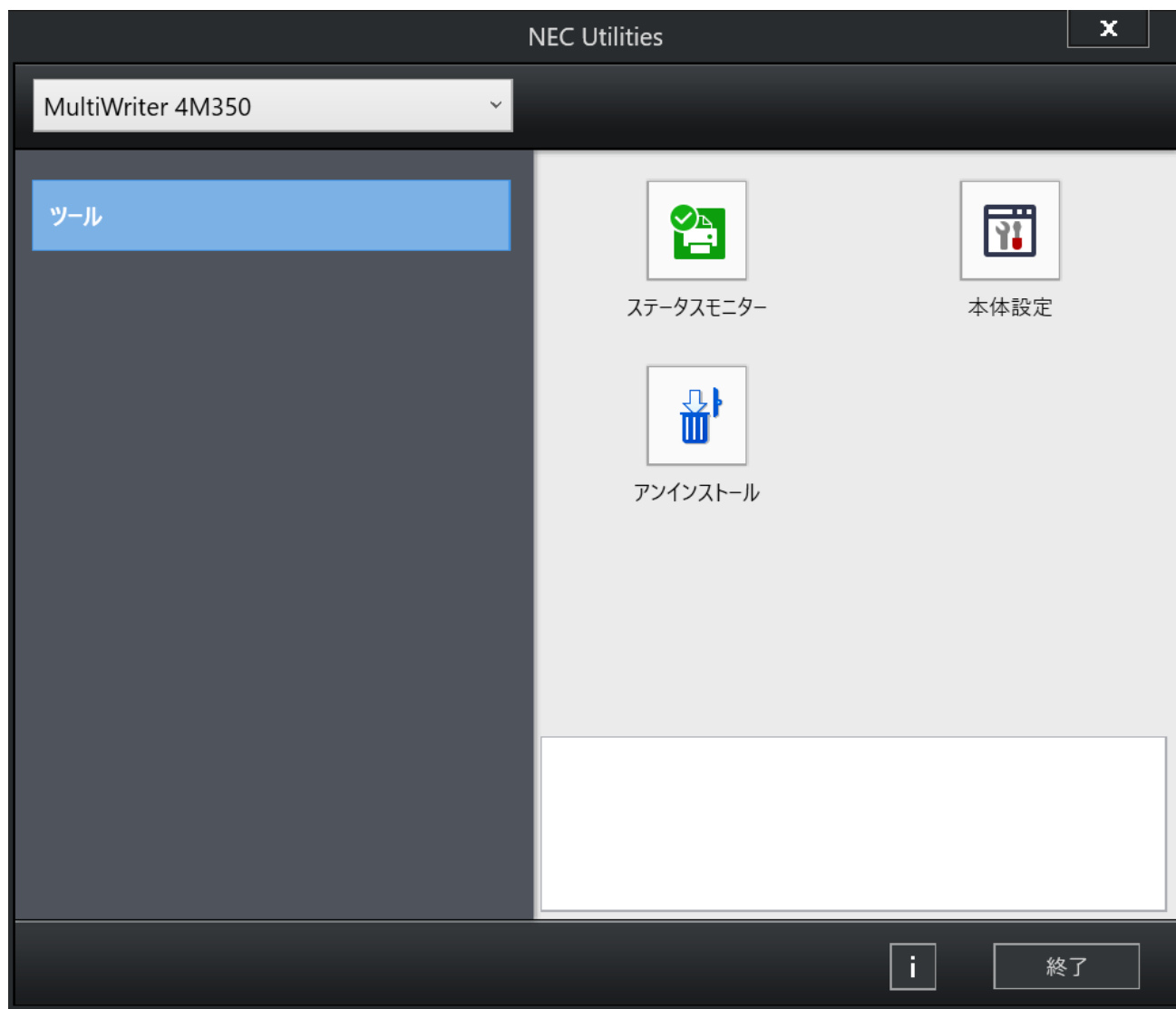
> **すべて** > **NEC Utilities** をクリックします。

- (Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022)



> **NEC** > **NEC Utilities** をクリックします。

2. 本製品を選択します。



3. 設定変更する項目を選択します。



関連情報

- [本製品のご案内](#)
 - [ソフトウェアとプリンタードライバーをアンインストールする \(Windows\)](#)

ソフトウェアとプリンタードライバーをアンインストールする (Windows)

1. 次のいずれかを行ってください：
 - Windows 11、Windows Server 2025
 > **すべて** > **NEC Utilities** をクリックします。
 - Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019 および Windows Server 2022
 > **NEC** > **NEC Utilities** をクリックします。
2. 使用モデルが選択されていない場合、ドロップダウンリストから選択します。
3. **NEC Utilities** のツールセクションの**アンインストール**をクリックします。
ダイアログボックスの指示に従い、ソフトウェアやプリンタードライバーをアンインストールします。

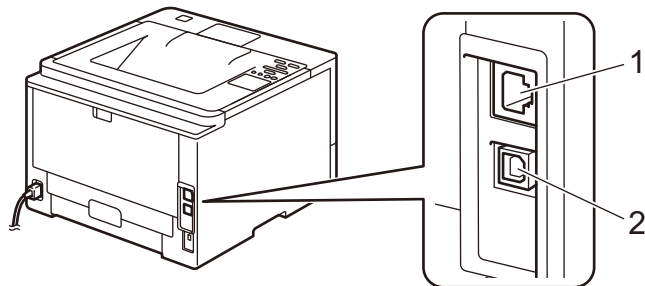


関連情報

- [NEC Utilities \(Windows\) を起動する](#)

本製品の入出力ポートの場所

入出力ポートは本製品の背面にあります。



1. 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ポート

2. USB ポート

USB ケーブルまたはネットワークケーブルを接続する場合は、ソフトウェア / プリンタードライバーのインストーラーに表示される指示に従ってください。

本製品の操作に必要なプリンタードライバーまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> からお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。

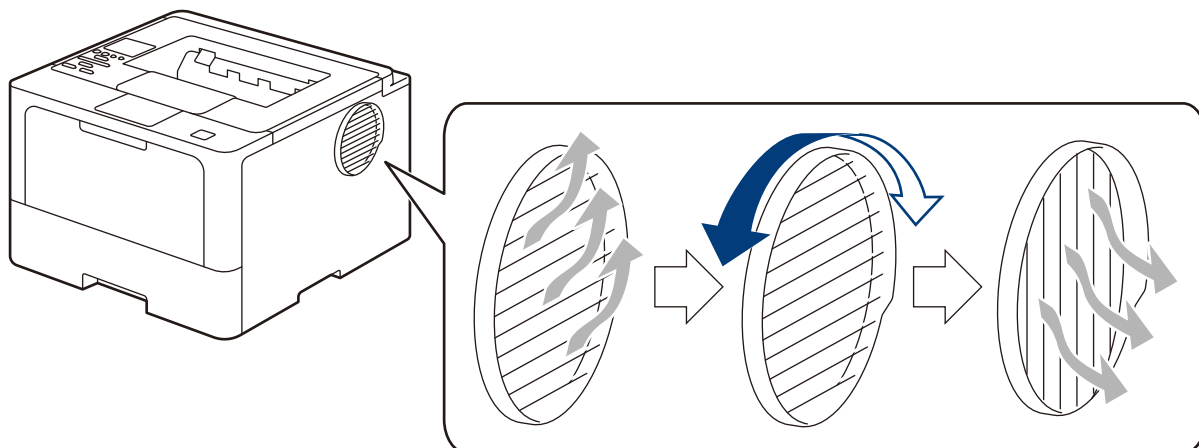


関連情報

- [本製品のご案内](#)

製品の換気を良くする

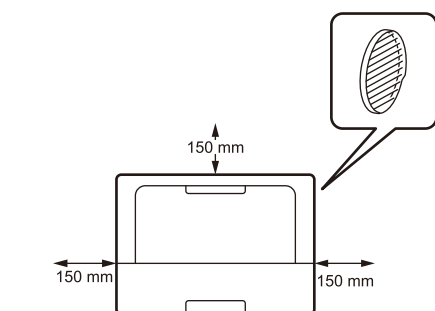
円形の排気口カバーを回転して、製品の内部からの空気の流れを変えます。



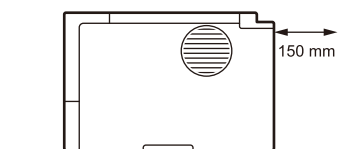
⚠ 注意

- 排気口を回す場合は、熱くなっているときがあるので、やけどをしないように注意してください。
- イラストに示すように製品の周りには最小限の隙間を確保してください。

前面



側面



お願い

製品の排気口や開口部を塞いだり、遮る場所に製品を置かないでください。排気口や開口部は換気のために取り付けられています。



関連情報

- [本製品のご案内](#)

本機で使用している記号

記号の意味については、次の表を参照してください。

記号	詳細	記号	詳細
 	危険、警告、注意	 	用紙ガイドを用紙に合わせてセットすること
	高温注意		用紙が足りている
	火災注意		用紙が少なくなっている
	接触禁止		用紙詰まり
	スプレー使用禁止		最大用紙容量
	有機溶剤 / 液体使用禁止		USB 端子
	トナーカートリッジを直火に投げ込まないこと		LAN 端子
	アース線を接続すること		ロック
	封筒は使用しないこと		フロントカバーオープンボタン
 	印刷面を下に向けること		電源ボタン
 	印刷面を上に向けること		



関連情報

- [本製品のご案内](#)

用紙の取り扱い

- [用紙のセット](#)
- [用紙設定](#)
- [印刷できない領域](#)
- [特殊用紙を使用する](#)

用紙のセット

- 用紙トレイに用紙をセットして印刷する
- 多目的トレイに用紙をセットして印刷する
- 紙詰まりの解消

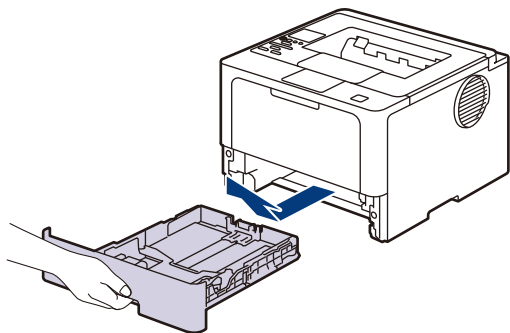
用紙トレイに用紙をセットして印刷する

- [用紙トレイに用紙をセットする](#)
- [用紙トレイに厚紙をセットして印刷する](#)
- [印刷の問題](#)

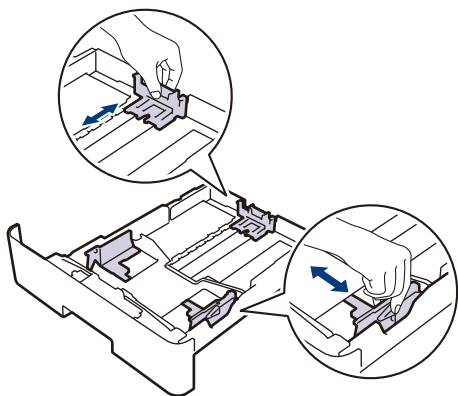
用紙トレイに用紙をセットする

- 用紙確認設定がオンに設定されているときに、製品から用紙トレイを引き出すと、画面に用紙タイプと用紙サイズ設定を変更するか確認するメッセージが表示されます。必要であれば用紙サイズと用紙タイプの設定を変更し、画面の指示に従ってください。
- サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのコンピューターでも用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

1. 用紙トレイを止まるまで引き出し、トレイを持ち上げて、本製品から完全に引き抜きます。



2. 緑色のレバーをつまんで用紙ガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。



お願い

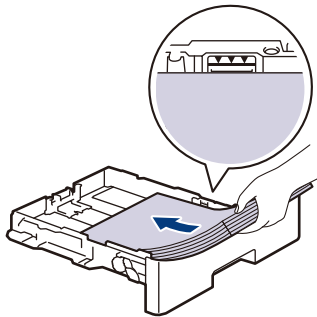
水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

3. 用紙をよくさばきます。
4. 用紙の印刷面を下にして、用紙トレイにセットします。

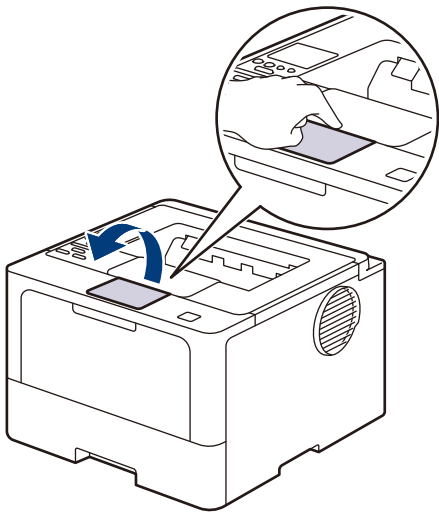


レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、用紙を正しい向きにセットします。詳しくは「[レターヘッドや印刷済み用紙向けに用紙トレイ設定を変更する](#)」をご覧ください。

5. 用紙の束が最大用紙容量マーク（▼▼▼）よりも下になっていることを確認します。
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因となる場合があります。



6. 用紙トレイをゆっくりと押して、本製品に確実に取り付けます。
7. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が上面排紙トレイから滑り落ちないようにします。



関連情報

- [用紙トレイに用紙をセットして印刷する](#)
- [レターヘッドや印刷済み用紙向けに用紙トレイ設定を変更する](#)

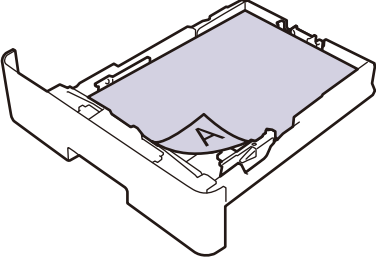
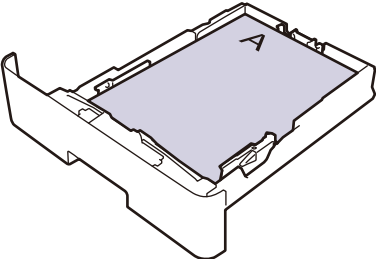
レターヘッドや印刷済み用紙向けに用紙トレイ設定を変更する

レターヘッドまたは印刷済み用紙を両面印刷に使用するとき、本製品の設定を変更します。



- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されている用紙とずれている場合、用紙トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

向き

	片面印刷の場合 • 下向き • 上端を用紙トレイの手前方向へ
	自動両面印刷（長辺とじ）の場合 • 上向き • 下端を用紙トレイの手前方向へ

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [プリンター] を選択します。OK を押します。
 - b. [両面印刷] を選択します。OK を押します。
 - c. [片面データ搬送方式] を選択します。OK を押します。
2. ▲または▼を押して、[両面搬送経路] を選択し、Go を押します。



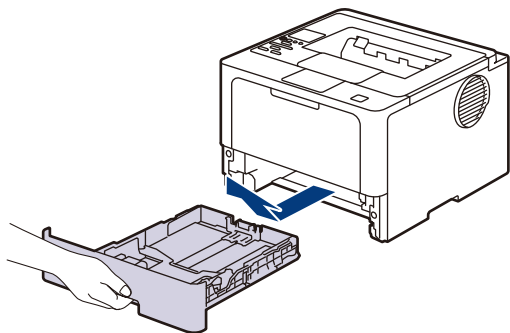
関連情報

- [用紙トレイに用紙をセットする](#)

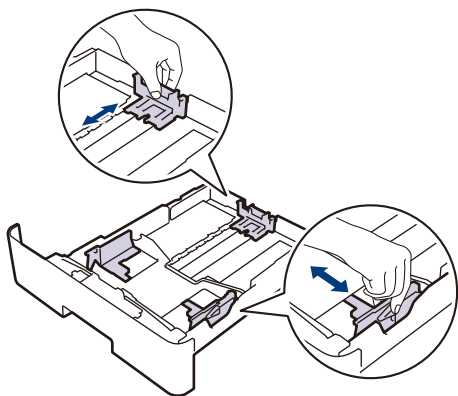
用紙トレイに厚紙をセットして印刷する

- 用紙確認設定がオンに設定されているときに、製品から用紙トレイを引き出すと、画面に用紙タイプと用紙サイズ設定を変更するか確認するメッセージが表示されます。必要であれば用紙サイズと用紙タイプの設定を変更し、画面の指示に従ってください。
- サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのコンピューターで用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

1. 用紙トレイを止まるまで引き出し、トレイを持ち上げて、本製品から完全に引き抜きます。



2. 緑色のレバーをつまんで用紙ガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。



お願い

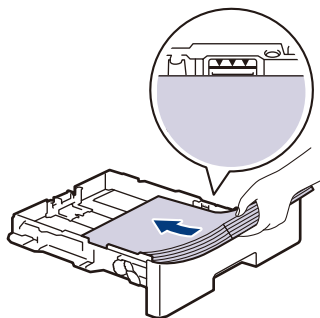
水、雨、蒸気などの水分によって、プリント面の画像がはがれることがあります。詳しくは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

3. 用紙をよくさばきます。
4. 用紙の印刷面を下にして、用紙トレイにセットします。

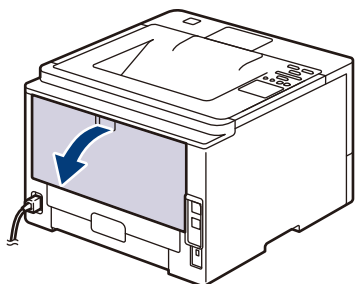


サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。

5. 用紙の束が最大用紙容量マーク（▼▼▼）よりも下になっていることを確認します。
用紙トレイに用紙を入れすぎると、紙詰まりの原因となる場合があります。



6. 用紙トレイをゆっくりと押して、本製品に確実に取り付けます。
7. 本製品の背面排紙トレイを開けます。



8. 印刷ジョブを本製品に送信します。



印刷ダイアログボックスで好みの設定を変更します。

9. 完了したら、本製品の背面排紙トレイが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。



関連情報

- [用紙トレイに用紙をセットして印刷する](#)

■ 多目的トレイに用紙をセットして印刷する

- [多目的トレイに用紙をセットする](#)
- [多目的トレイにラベルをセットして印刷する](#)
- [多目的トレイに封筒をセットして印刷する](#)
- [印刷の問題](#)

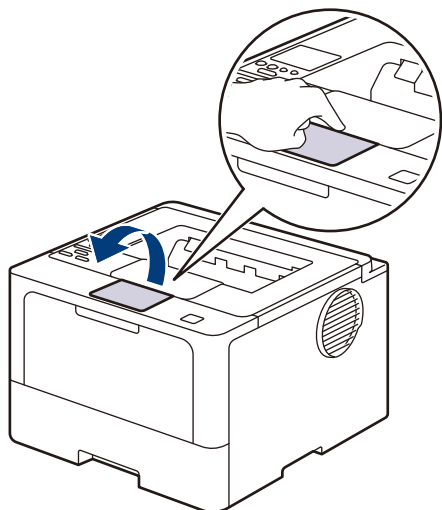
多目的トレイに用紙をセットする

サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのコンピュータで用紙サイズと用紙タイプの変更する必要があります。

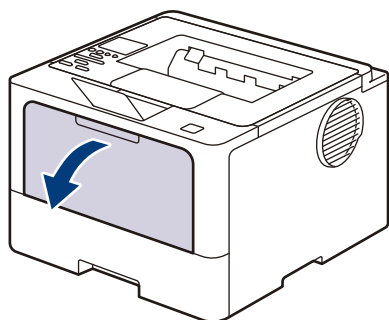
多目的トレイでサポートされている用紙タイプ

- 普通紙
- 薄紙
- 厚紙
- 再生紙
- レターヘッド
- カラー用紙

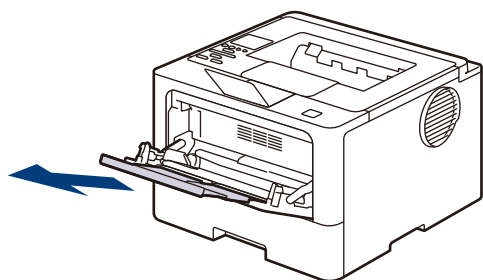
1. 排紙ストッパーを持ち上げて、用紙が上面排紙トレイから滑り落ちないようにします。



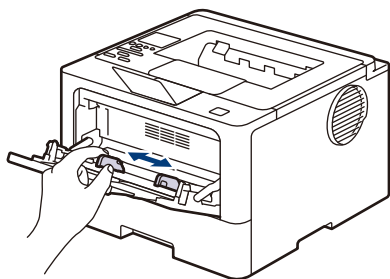
2. 多目的トレイを開き、静かに下げます。



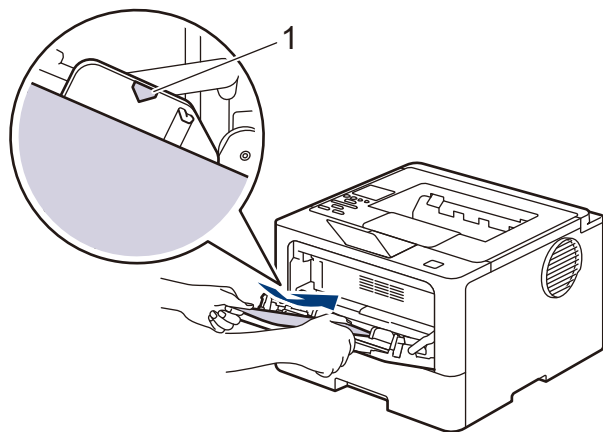
3. 多目的トレイ用紙サポートを引き出します。



4. 使用する用紙サイズの幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. 用紙の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



- 用紙が最大用紙容量のマーク（1）を超えていないことを確認します。
- レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、用紙を正しい向きにセットします。詳しくは「[レターヘッドや印刷済み用紙向けに多目的トレイの設定を変更する](#)」をご覧ください。



関連情報

- 多目的トレイに用紙をセットして印刷する
 - [レターヘッドや印刷済み用紙向けに多目的トレイの設定を変更する](#)

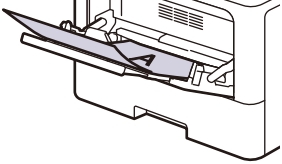
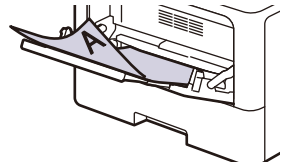
レターヘッドや印刷済み用紙向けに多目的トレイの設定を変更する

レターヘッドまたは印刷済み用紙を両面印刷に使用するときには、本製品の設定を変更します。



- サイズやタイプの異なる用紙を同時に用紙トレイにセットしないでください。紙詰まりや紙送り異常の原因となる場合があります。
- 印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されている用紙とずれている場合、多目的トレイの印刷位置設定で印刷位置を調整することができます。
- 印刷済み用紙は、印刷方法やインクの種類によっては、印刷汚れが発生する場合があります。

向き

	片面印刷の場合 • 上向き • 上端を合わせる
	自動両面印刷（長辺とじ）の場合 • 下向き • 下端を合わせる

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [プリンター] を選択します。OK を押します。
 - b. [両面印刷] を選択します。OK を押します。
 - c. [片面データ搬送方式] を選択します。OK を押します。
2. ▲または▼を押して、[両面搬送経路] を選択し、Go を押します。



関連情報

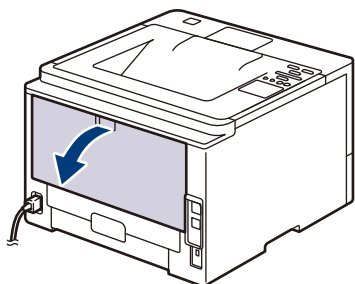
- [多目的トレイに用紙をセットする](#)

多目的トレイにラベルをセットして印刷する

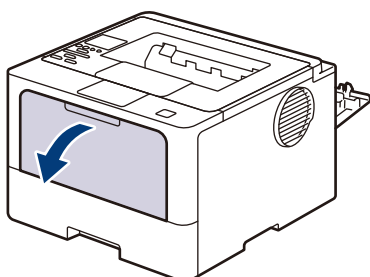
ラベルに印刷する場合は、背面排紙トレイを開け、多目的トレイを使用します。

サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのコンピューターで用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

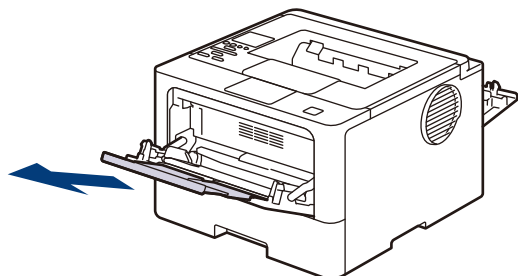
1. 本製品の背面排紙トレイを開けます。



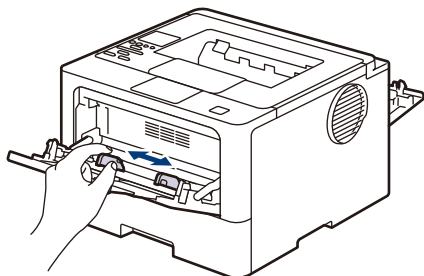
2. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



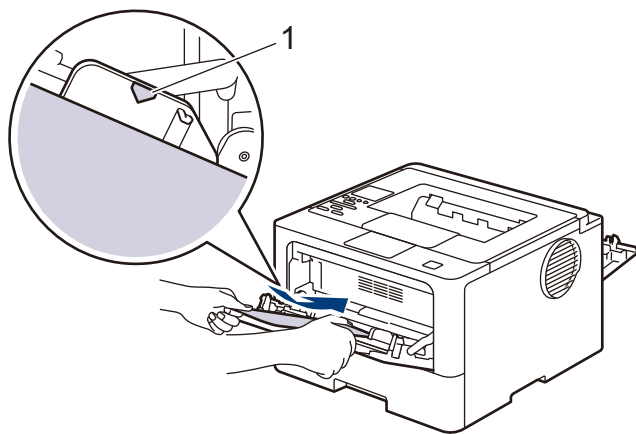
3. 多目的トレイ用紙サポートを引き出します。



4. 使用するラベルの幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. ラベルの印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



ラベルが最大用紙容量のマーク（1）を超えていないことを確認します。

6. 印刷画面で印刷設定を変更します。
7. 印刷ジョブを本製品に送信します。
8. 完了したら、本製品の背面排紙トレイが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

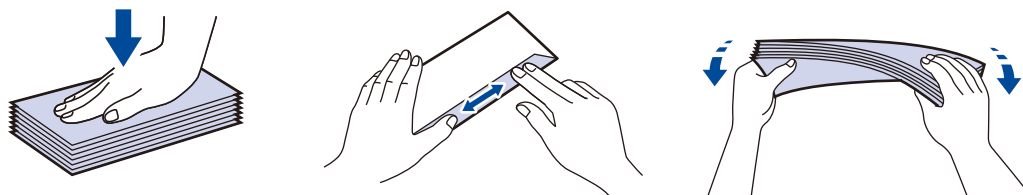


関連情報

- [多目的トレイに用紙をセットして印刷する](#)

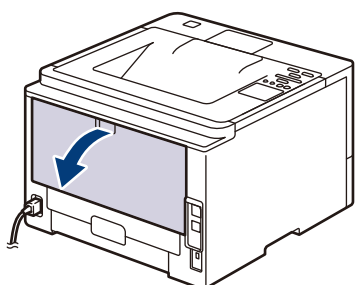
多目的トレイに封筒をセットして印刷する

封筒の角や側面を押して平らにしてからセットします。

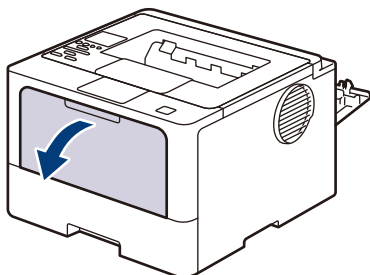


サイズとタイプの異なる用紙をトレイにセットした場合、本製品かお持ちのコンピューターで用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

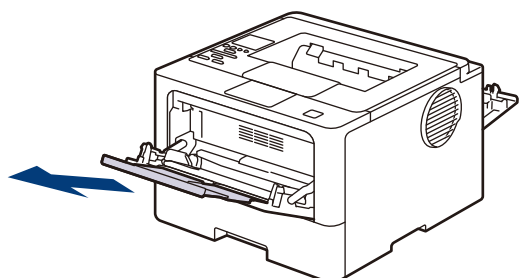
1. 本製品の背面排紙トレイを開けます。



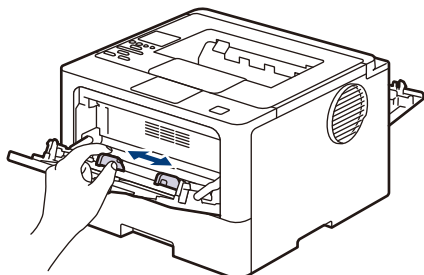
2. 本製品の前面にある多目的トレイを開け、静かに下げます。



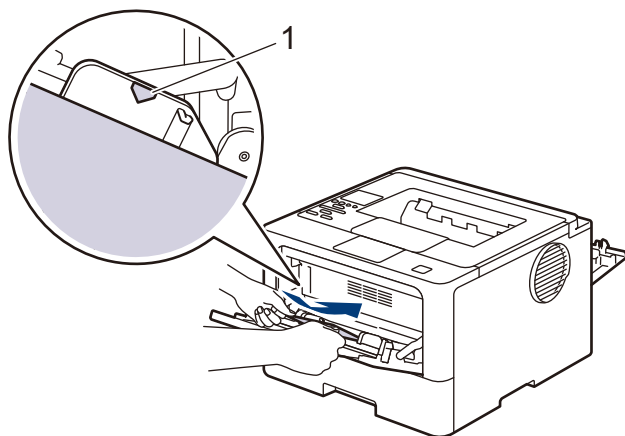
3. 多目的トレイ用紙サポートを引き出します。



4. 使用する封筒の幅に合わせて、多目的トレイの用紙ガイドを調整します。



5. 封筒の印刷面を上にして、多目的トレイにセットします。



 封筒が最大用紙容量のマーク（1）を超えていないことを確認します。

6. 印刷ダイアログボックスでお好みの設定を変更します。

設定	項目
用紙サイズ	長形 3 号封筒
	長形 4 号封筒
	洋形 4 号封筒
用紙種類	封筒
	封筒（厚め）
	封筒（薄め）

7. 印刷ジョブを本製品に送信します。

8. 完了したら、本製品の背面排紙トレイが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

関連情報

- [多目的トレイに用紙をセットして印刷する](#)

用紙設定

- 用紙サイズと用紙タイプを変更する
- トレイ確認の設定を変更する
- 紙詰まりの解消

用紙サイズと用紙タイプを変更する

トレイにセットする用紙のサイズと用紙タイプを変更した場合、本製品の用紙サイズと用紙タイプの設定を変更する必要があります。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [トレイ設定] を選択します。OK を押します。
 - c. [用紙タイプ] を選択します。OK を押します。
2. ▲または ▼を押して変更したい用紙トレイを表示させ、OK を押します。
3. ▲または ▼を押して使用したい用紙タイプを表示させ、OK を押します。
4. Back を押します。
5. ▲または▼を押して、[用紙サイズ] を表示し、OK を押します。
6. ▲または ▼を押して変更したい用紙トレイを表示させ、OK を押します。
7. ▲または ▼を押して使用したい用紙サイズを表示させ、Go を押します。



関連情報

- [用紙設定](#)

トレイ確認の設定を変更する

用紙確認設定がオンになっている場合、用紙トレイを外すか、多目的トレイに用紙をセットすると、用紙サイズや用紙の種類を変更したかどうかを確認するメッセージがディスプレイに表示されます。

お買い上げ時の設定はオンです。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。**OK** を押します。
 - b. [トレイ設定] を選択します。**OK** を押します。
 - c. [トレイ確認] を選択します。**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[わ] または [わ] を選択してから、**Go** を押します。

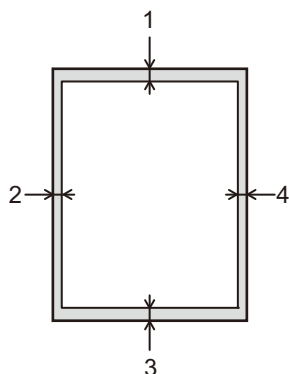


関連情報

- [用紙設定](#)

印刷できない領域

下表の数値は、一般的に使用される用紙サイズの端からの最大印刷不可領域を表したものです。この数値は、ご使用の用紙サイズや設定により異なる場合があります。



これらの領域に印刷しようとししないでください。これらの領域には出力されません。

用途	原稿サイズ	上部 (1) 下部 (3)	左 (2) 右 (4)
印刷	レター	4.2 mm	4.2 mm
	A4	4.2 mm	4.2 mm
	はがき	4.2 mm	4.2 mm



関連情報

- [用紙の取り扱い](#)

特殊用紙を使用する

用紙を購入する前に、サンプル用紙を使用して正しく印刷できるかを確認してください。

- 紙詰まりや製品損傷の原因となりますので、インクジェット紙は使用しないでください。
- 表面がざらざらした紙、しわのある / しわ加工紙を使用すると、印字品質が低下することがあります。

印刷用紙は購入時のパッケージに封をして保管してください。平らな場所に置いて、多湿、直射日光、高温を避けてください。

重要

一部の用紙は印字品質を低下させ、製品損傷の原因となる場合があります。

次に該当する用紙は使用しないでください：

- 表面が極めてざらついている
- 表面が極めてつるつるしている、または光沢がある
- 丸まっている、または反っている
- コーティング加工または化学薬品で仕上げされている
- 破損、しわ、または折り曲げがある
- 本ガイドで指定する推奨坪量を超えている
- タブやホチキスが付いている
- 低温染料使用またはサーモグラフィ加工されたレターヘッド
- 複写式の用紙またはノーカーボン紙
- インクジェット専用紙
- よこ目用紙

上記いずれかに該当する用紙をご使用になった場合、製品損傷の原因となる場合があります。これが起因の損傷は、保証またはサービス契約の対象外となります。



関連情報

- [用紙の取り扱い](#)

関連トピック：

- [紙詰まりの解消](#)

印刷

- コンピューターから印刷する (Windows)
- コンピューターから印刷する (Mac)
- 副本を印刷する
- 操作パネルを使用して印刷の設定を変更する
- 印刷ジョブをキャンセルする
- テスト印刷

❗ コンピューターから印刷する (Windows)

- [文書を印刷する \(Windows\)](#)
- [印刷設定 \(Windows\)](#)
- [セキュリティープリント \(Windows\)](#)
- [印刷設定の初期値を変更する \(Windows\)](#)
- [PS3 エミュレーションプリンタードライバーを使用して文書を印刷する \(Windows\)](#)
- [お使いのコンピューターから本製品の状態を確認する \(Windows\)](#)

文書を印刷する (Windows)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



3. 用紙トレイに正しいサイズ of 用紙がセットされているかを確認します。
4. **用紙サイズ** のドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。
5. **印刷の向き** 欄で縦または横を選択し、印刷物の向きを設定します。



お使いのアプリケーションに同様の設定がある場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

6. **部数** 欄に、印刷したい部数（1 ～ 999 部）を入力します。
7. **用紙種類** のドロップダウンリストからお使いになる用紙の種類を選択します。
8. 複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときは、**レイアウト** のドロップダウンリストからお好みの設定を選択します。
9. 必要に応じて他の印刷設定を変更します。
10. **OK** をクリックします。
11. アプリケーション上で印刷操作を完了します。



関連情報

- [コンピューターから印刷する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [紙詰まりの解消](#)
- [印刷設定 \(Windows\)](#)

印刷設定 (Windows)

- >> 基本設定タブ
- >> 拡張機能タブ
- >> おまかせ設定タブ

基本設定タブ

NEC MultiWriter 4M350 印刷設定

基本設定 拡張機能 おまかせ設定

用紙サイズ(Z) A4

印刷の向き ☒ 縦(T) ☐ 横(L)

部数(O) 1 ☐ 部単位(E)

用紙種類(Y) 普通紙

解像度(I) 600 dpi

印刷設定(N) グラフィックス

手動設定(S)...

レイアウト(G) 1 ページ

ページの順序(O) 左上から右

仕切り線(B)

両面印刷/小冊子印刷(K) 両面印刷

両面印刷設定(X)...

給紙方法(E)

1 ページ目(F) 自動選択

2 ページ目以降(O) 1 ページ目と同一

☐ 印刷プレビュー(P)

おまかせ設定を登録(J)...

サポート(U)...

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ(H)

標準に戻す(D)

1. 用紙サイズ

使用する用紙サイズを選択します。標準の用紙サイズから選択するか、ユーザー定義サイズを作成するか選択します。

2. 印刷の向き

印刷の向き（縦または横）を選択します。

お使いのアプリケーションに同様の設定がある場合は、アプリケーションを使用して印刷物の向きを設定することを推奨します。

3. 部数

印刷する部数（1 ～ 999）を入力します。

部単位

複数ページの文書を元のページの順序に合わせて印刷する場合に選択します。選択した場合は、文書一式を一部印刷し、設定した部数に応じて残りの部数分だけ同様に印刷が繰り返されます。選択しない場合は、各ページが設定された部数だけ印刷されてから、次のページが印刷されます。

4. 用紙種類

使用する用紙の種類を選択します。印刷品質保持のため、選択された用紙の種類に合った印刷設定を本製品が自動的に設定します。

5. 解像度

印刷の解像度を選択します。印刷品質と印刷速度は関連しているため、解像度が高くなるにつれて、文書の印刷により多くの時間がかかります。

6. 印刷設定

印刷する文書の種類を選択します。

グラフィックス

汎用的な印刷モードです。

テキスト

文字の印刷に適した設定です。

手動設定 ...

手動設定を選択したあと、手動設定ボタンをクリックします。

明るさ、コントラスト、その他の設定などの詳細設定を指定します。

グラフィックス

プリンターのハーフトーンを使う

プリンタードライバーを使用してハーフトーンを表現する場合に選択します。

明るさ

明るさを調整します。

コントラスト

コントラストを調整します。

ディザリング

印刷する文書の種類に合わせてグラフィックまたはテキストを選択します。

階調印刷を改善する

影付きの部分の画像品質を高める場合に選択します。

パターン印刷を改善する

コンピューター画面に表示される塗りつぶしやパターンと異なる印刷がされる場合にパターン印刷を改善するときに選択します。

細線の印刷を改善する

細線の画像品質を高める場合に選択します。

システムのハーフトーンを使う

Windows の機能を使用してハーフトーンを表現する場合に選択します。

7. レイアウト

複数ページの内容を 1 枚に印刷したいとき、または 1 ページの内容を複数枚にわたって印刷したいときに選択します。

ページの順序

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときのページの順序を選択します。

仕切り線

複数ページの内容を 1 枚に印刷するときの仕切り線の種類を選択します。

8. 両面印刷 / 小冊子印刷

両面印刷または小冊子印刷をする場合に選択します。

両面印刷設定

とじ方

綴じ方を選択します。それぞれの向きごとに 4 タイプの綴じ方があります。

とじしろ

とじしろの量をインチまたはミリメートルで指定できます。

9. 給紙方法

印刷条件や目的に合った給紙方法を選択します。

1 ページ目

1 ページ目を印刷するときに使用する給紙方法を選択します。

2 ページ目以降

2 ページ目以降を印刷するときに使用する給紙方法を選択します。

拡張機能タブ



1. 拡大縮小

印刷したい文書の内容を拡大、または縮小するときに選択します。

印刷用紙サイズに合わせます

印刷に使用する用紙サイズに合わせて文書のサイズを拡大、縮小するときに選択します。選択した場合は、ドロップダウンリストから用紙サイズを選択します。

任意倍率 [25 - 400 %]

文書のページを手動で拡大または縮小する場合に選択します。この項目を選択した場合は、入力欄に値を入力します。

2. 上下反転

上下を 180 度回転して印刷できます。

3. 透かし印刷を使う

ロゴや文字を透かしとして文書に印刷するときに選択します。あらかじめ設定されている透かしから 1 つを選択するか、新しい透かしを追加するか、または自分で作成した画像ファイルを使用します。

4. 現在の日付・時間・ID を印刷する

日時およびログインユーザー名を文書に印刷する場合に選択します。

5. トナー節約モード

この機能を選択すると、通常より少ない量のトナーで印刷するためトナーを節約できます。印字は薄くなりますが、読むのに問題はありません。

6. セキュリティ印刷

この機能は、本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

7. 設定保護管理機能

この機能を使用すると、管理者パスワードを変更したり、さまざまな印刷機能を制限できます。

8. ユーザー認証

この機能を使用すると、各ユーザーに対する制限を確認できます。

9. その他特殊機能

スリープまでの時間

印刷後すぐにスリープモードに移行するよう設定する場合に選択します。

マクロ設定

この機能を選択すると、本製品のメモリーに印刷ジョブのオーバーレイとして保存した電子フォーム（マクロ）が印刷されます。

濃度調整

印刷濃度を指定します。

印刷結果の改善

紙の反りを抑えたり、トナーの定着を改善したりする場合に選択します。

白紙ページの節約

プリンタードライバーが自動的に白紙ページを検出し、印刷しないようにする場合に選択します。

黒文字印刷

カラーの文字を黒色で印刷する場合に選択します。

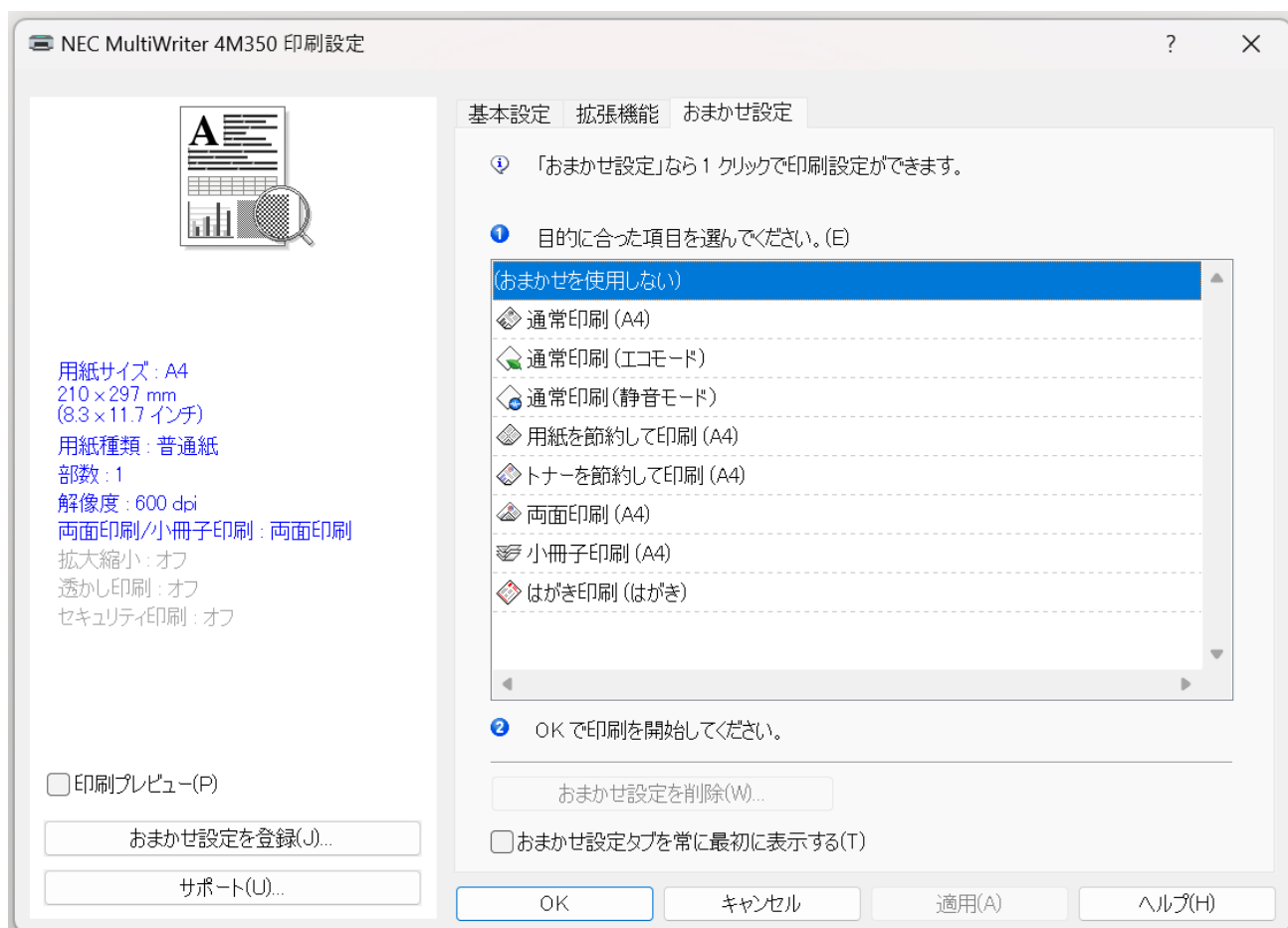
プリント アーカイブ

印刷データを PDF 形式でコンピューターに保存するときに選択します。

エコ設定

この項目を選択すると印刷時の音が軽減されます。

おまかせ設定タブ



1. 通常印刷 (A4)

印刷速度と品質のバランスが取れた設定で、幅広い用途に利用できます。

2. 通常印刷 (エコモード)

白紙ページを節約しながら、用紙の両面に印刷します。

3. 通常印刷 (静音モード)

印刷時の騒音を低減したいときに使用します。印刷速度は通常印刷時よりも遅くなります。

4. 用紙を節約して印刷 (A4)

A4 普通紙に 4 ページを 1 枚の用紙に集約して印刷します。プレゼンテーション資料の印刷などに適しています。

5. トナーを節約して印刷 (A4)

A4 普通紙にトナー節約モードで印刷します。トナーの消費量を節約したいときに使用します。

6. 両面印刷 (A4)

簡単に用紙の両面に印刷を行うことができます。

7. 小冊子印刷 (A4)

A4 普通紙に 2 ページを 1 枚に縮小して、小冊子印刷します。

8. はがき印刷 (はがき)

はがきに印刷するときに使用します。

9. おまかせ設定タブを常に最初に表示する

印刷設定画面を開いたときに、おまかせ設定タブを最初に表示させるときに選択します。

10. おまかせ設定を登録

登録したい印刷設定をおまかせ設定の項目に追加します。

11.おまかせ設定を削除

追加した印刷設定を削除します。



関連情報

- [コンピューターから印刷する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [文書を印刷する \(Windows\)](#)
-

🔒 セキュリティープリント (Windows)

本製品の操作パネルでパスワードを入力するまで機密文書や取り扱い注意の文書が印刷されないようにします。

本製品の電源を切ると、セキュリティデータは本製品から削除されます。

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. お使いのモデル名を選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバの設定画面が表示されます。
3. **拡張機能**タブをクリックします。
4. **セキュリティ印刷欄**の**設定**ボタンをクリックします。
5. **セキュリティ印刷**チェックボックスを選択します。
6. **パスワード欄**で 4 桁のパスワードを入力します。
7. 必要に応じて **ユーザー名**および **印刷ジョブ名**をテキスト欄に入力します。
8. **OK** をクリックし、**セキュリティ印刷設定画面**を閉じます。
9. **OK** をクリックします。
10. アプリケーション上で印刷操作を完了します。
11. 本製品の操作パネルで、**Secure** を押します。
12. ▲または▼を押してユーザー名を表示し、**OK** を押します。
13. 4 桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK** を押します。
14. ▲または▼を押してジョブを表示し、**OK** を押します。
15. ▲または▼を押して、[プリント] を選択し、**OK** を押します。
16. ▲または▼を押して、印刷枚数を入力します。
17. **OK** を押します。
データが印刷されます。

セキュリティデータは印刷後、本製品のメモリーから削除されます。



関連情報

- [💻 コンピューターから印刷する \(Windows\)](#)

印刷設定の初期値を変更する (Windows)

アプリケーションの印刷設定を変更した場合、その変更はそのアプリケーションで印刷される文書にのみ適用されます。すべての Windows アプリケーションの印刷設定を変更するには、プリンタードライバのプロパティを設定する必要があります。

1. 次のいずれかを行ってください：

- Windows 11、Windows Server 2025 の場合

 > **設定**をクリックします。**Bluetooth とデバイス** > **デバイス**を選択し、**関連設定のその他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックします。**プリンターのプロパティ**をクリックします。プリンタードライバの候補が表示された場合は、お使いのプリンタードライバを選択します。プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

- Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 の場合

 > **設定**をクリックします。**デバイス**を選択し、**関連設定のデバイスとプリンター**をクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックします。**プリンターのプロパティ**をクリックします。プリンタードライバの候補が表示された場合は、お使いのプリンタードライバを選択します。プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

2. **全般**タブをクリックし、**印刷設定**または**基本設定**ボタンをクリックします。

プリンタードライバのダイアログボックスが表示されます。



- トレイ設定を行うには、**デバイスの設定**タブをクリックします。
- プリンターポートを変更するには、**ポート**タブをクリックします。

3. すべての Windows プログラムでデフォルトとして使いたい印刷設定を選択します。

4. **OK** をクリックします。

5. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。



関連情報

- [コンピューターから印刷する \(Windows\)](#)
- [トレイモジュール \(オプション\) を設定する \(Windows\)](#)

トレイモジュール (オプション) を設定する (Windows)

本製品のプロパティにアクセスして、トレイモジュール (オプション) を自動検出し、シリアル番号を確認します。

プリンタードライバのインストール中に、トレイモジュール (オプション) がプリンタードライバにより自動的に検出されます。プリンタードライバのインストール後にトレイモジュール (オプション) を追加する場合は、この手順に従います。

1. 次のいずれかを行ってください：

- Windows 11、Windows Server 2025 の場合



> **設定**をクリックします。**Bluetooth とデバイス** > **デバイス**を選択し、**関連設定のその他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックします。**プリンターのプロパティ**をクリックします。プリンタードライバの候補が表示された場合は、お使いのプリンタードライバを選択します。プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

- Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 の場合



> **設定**をクリックします。**デバイス**を選択し、**関連設定のデバイスとプリンター**をクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックします。**プリンターのプロパティ**をクリックします。プリンタードライバの候補が表示された場合は、お使いのプリンタードライバを選択します。プリンターのプロパティのダイアログボックスが表示されます。

2. **デバイスの設定**タブをクリックします。

3. **自動検知**ボタンをクリックします。

トレイモジュール (オプション) と本製品のシリアル番号は、自動的に検出されます。

4. **適用**ボタンをクリックします。

5. プリンタープロパティダイアログボックスを閉じます。

本製品が次の状態の場合は、**自動検知**機能は利用できません。

- 本製品の電源がオフになっている。
- プリントサーバーを経由して本製品が共有されている。
- 本製品とお使いのコンピューターが接続されていない。



関連情報

- [印刷設定の初期値を変更する \(Windows\)](#)

PS3 エミュレーションプリンタードライバーを使用して文書を印刷する (Windows)

1. アプリケーション上で印刷メニューを選択します。
2. **PS3 emulate** を含むお使いのモデルを選択し、プリンターのプロパティまたは詳細設定ボタンをクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が表示されます。
3. **レイアウト**、**用紙 / 品質**、または **セキュリティ印刷** タブをクリックして、基本的な印刷設定を変更します。
レイアウトまたは**用紙 / 品質**タブをクリックし、**詳細設定**ボタンをクリックして、詳細な印刷設定を変更します。**OK** をクリックします。
4. **OK** をクリックします。
5. アプリケーション上で印刷操作を完了します。



関連情報

- [コンピューターから印刷する \(Windows\)](#)

🖨️ お使いのコンピューターから本製品の状態を確認する (Windows)

ステータスマニターは、1 台または複数台の製品の状態を確認するためのツールで、エラー発生時には即座にお知らせします。

次のいずれかを行ってください：

- タスクトレイの  アイコンをダブルクリックします。
-  (NEC Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。ステータスマニターをクリックします。

✓ 関連情報

- [コンピューターから印刷する \(Windows\)](#)

関連トピック：

- [印刷の問題](#)

📄 コンピューターから印刷する (Mac)

- AirPrint を使用して印刷する

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

副本を印刷する

カーボンコピー機能を使用して、同一の印刷データを複数枚印刷します。異なる種類または色の用紙をセットした各用紙トレイにデータを送信します。

例えば、青色用紙をセットしたトレイ 1 へ印刷データを送信した後、テキストの印刷された黄色用紙をセットした多目的トレイの用紙に、同じデータを再度印刷するように本製品を設定するとします。

トレイ 1 に青色の用紙を、多目的トレイに黄色の用紙をセットした場合、トレイ 1 からはシート 1 が、多目的トレイからはシート 2 が自動的に送られます。

カーボンコピー機能を有効にすると、本製品は常に自動的にコピーを作成します。



(Windows)

カーボンコピー機能を使用すると、ページごとに異なる印刷マクロまたはストリームを選択できます。

1. ▲または▼を押して、[プリンター] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[カーボン メー] を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[カーボン コピー] を表示し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[用紙] を表示し、**OK** を押します。
5. ▲または▼を押して、[部数] を表示し、**OK** を押します。
6. ▲または▼を押して、印刷枚数を入力し、**OK** を押します。
7. ▲または▼を押して、[コピー 1 トレイ] を表示し、**OK** を押します。
8. ▲または▼を押して、[コピー 1 トレイ] として設定する用紙トレイを表示し、**OK** を押します。



(Windows)

- a. ▲または▼を押して、[コピー 1 マクロ] を表示し、**OK** を押します。
- b. ▲または▼を押して使用するマクロの ID 番号を表示し、**OK** を押します。

9. 各コピーに対してトレイの設定値をすべて選択するまで、この手順を繰り返します。
10. 印刷ジョブを本製品に送信します。



関連情報

- [印刷](#)

操作パネルを使用して印刷の設定を変更する

印刷する文書の種類を選択します。

1. ▲または▼を押して、[プリンター] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[印刷設定] を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[グラフィックス] または [テキスト] を表示させ、使用したい項目を押します。
4. **OK** を押します。



関連情報

- [印刷](#)

印刷ジョブをキャンセルする

Cancel を押します。



複数の印刷ジョブをキャンセルするには、**Cancel** を 4 秒以上押します。



関連情報

- [印刷](#)

関連トピック：

- [印刷の問題](#)

テスト印刷

印刷品質に問題がある場合は、次の手順に従ってテスト印刷を行います。

1. ▲または▼を押して、[プリンター] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[プリンター オプション] を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[テストプリント] を表示し、**OK** を押します。
4. **Go** を押します。

本製品でテストページが印刷されます。



関連情報

- [印刷](#)

関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)

ネットワーク

- 対応している基本ネットワーク機能について
- ネットワークを設定する
- 無線 LAN ネットワーク設定
- ネットワーク機能

対応している基本ネットワーク機能について

本製品は、使用される OS に合わせて、さまざまな機能をサポートしています。この表で、各 OS でサポートされるネットワーク機能と接続を確認してください。

オペレーティングシステム	Windows	Windows Server	macOS
印刷	○	○	○
Web Based Management *1	○	○	○
ステータスマニター	○	-	-

*1 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。



- 本製品の有線・無線 LAN インターフェイスは、電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダー等）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することができません。本製品をインターネットに接続する場合は、必ずルーター等を経由し接続してください。
- 本製品がグローバルネットワークに接続された場合、警告が表示されます。この警告が表示された場合は、ネットワークの設定を確認し、安全なネットワークに再接続することを強くお勧めします。
- 本製品のグローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバルネットワークからのアクセスが遮断されます。グローバルネットワーク通信のフィルタリング機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを使用しているコンピューターやモバイル端末から、特定の印刷ジョブを受信できない場合があります。



関連情報

- ネットワーク

■ ネットワークを設定する

- 操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する
- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

操作パネルを使用してネットワークの詳細を設定する

本製品のネットワークの設定をするには、操作パネルの[ネットワーク]メニューの項目を使用します。



- 操作パネルを使用して設定できるネットワーク設定については「[設定一覧](#)」をご覧ください。
- Web Based Management を使用して、本製品のネットワークの設定や変更を行うこともできます。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して使用したいネットワークを選択し、**OK** を押します。この手順を繰り返して設定したいメニューにアクセスし、画面の指示に従ってください。



関連情報

- [ネットワークを設定する](#)

関連トピック：

- [設定一覧](#)
- [対応している基本ネットワーク機能について](#)

無線 LAN ネットワーク設定

- 無線 LAN ネットワークを使用する
- Wi-Fi Direct® を使用する
- 無線 LAN を有効 / 無効にする
- 無線 LAN レポートを印刷する

無線 LAN ネットワークを使用する

- 無線 LAN ネットワークを設定する前に
- コンピューターからセットアップウィザードを使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線 LAN ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- 非公開 SSID を入力して、本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線 LAN ネットワーク用に本製品を設定する

無線 LAN ネットワークを設定する前に

無線 LAN ネットワークを設定する前に、次の点を確認してください。

- エンタープライズ無線 LAN ネットワークを使用している場合、ユーザー ID とパスワードを確認しておく必要があります。
- 本製品を無線 LAN アクセスポイント / ルーターの近くに設置し、無線通信に支障のないようにしてください。本製品と無線 LAN アクセスポイントまたはルーターとの間に大きな障害物や壁があったり、他の電子機器からの電磁干渉があると、印刷する文書のデータ転送速度に影響を与える可能性があります。
- 本製品では、有線 LAN ネットワークと無線 LAN ネットワークのどちらも使用できますが、同時には使用できません。ただし、無線 LAN ネットワーク接続と Wi-Fi Direct 接続、または、有線 LAN ネットワーク接続と Wi-Fi Direct 接続は、同時に使用できます。
- 電波の届く範囲であれば、無線 LAN 接続が可能になります。ただし、セキュリティ設定を正しく行わないと、悪意のある第三者によって電波が傍受され、次のような結果を招く可能性があります。
 - 個人情報または機密情報の盗用
 - 特定の個人になりすました者への不適切な情報送信
 - 傍受され、改ざんされた通信内容の拡散



無線 LAN ルーター / アクセスポイントのネットワーク名 (SSID) とネットワークキー (パスワード) を確認してください。この情報が見つからない場合は、無線 LAN ルーター / アクセスポイントの製造元、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。弊社がこの情報を提供することはできません。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

コンピューターからセットアップウィザードを使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する

1. <https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページからインストーラーをダウンロードします。
2. インストーラー を起動し、画面の指示に従います。
3. **無線 LAN (Wi-Fi)** を選択してから**次の項目へ** をクリックします。



4. 画面の指示に従います。

無線 LAN ネットワークのセットアップが完了しました。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線 LAN ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線 LAN ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在接続しているコンピューターの無線 LAN ネットワーク設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

ネットワークキー

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

ネットワークキー
12345



- ご使用の無線 LAN アクセスポイント / ルーターが複数の WEP キーに対応している場合でも、本製品で利用できるのは 1 番目の WEP キーのみです。
- セットアップできないなど、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせいただく場合は、あらかじめ SSID (ネットワーク名) とネットワークキー (パスワード) を調べ、お手元にご用意ください。弊社がこの情報を提供することはできません。
- SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーがわからない場合、無線 LAN ネットワークのセットアップを行うことはできません。

SSID (ネットワーク名) およびネットワークキーの見つけ方

- お使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターの取扱説明書を調べてください。
- 初期 SSID は、製造メーカー名またはモデル名の可能性があります。
- セキュリティ情報がわからない場合は、ルーターの製造業者、システム管理者、またはインターネットプロバイダーにお問い合わせください。

2. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ネットワーク選択 (SSID)] を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。SSID のリストが表示されたら、▲または ▼を押して、使用したい SSID を選択します。
7. **OK** を押します。
8. 次のいずれかを行ってください：
 - 使用する認証方式と暗号化方式でネットワークキーが必要な場合は、最初の手順で書き留めたネットワークキーを入力します。
キーを入力し、**OK** を押して設定します。

設定を適用するには、[はい] を選択します。

- 使用している認証方式がオープンシステムで、暗号化モードが「なし」の場合、次の手順に進みます。

本製品は選択された無線機器に接続しようとし、無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線 LAN ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の操作に必要なプリンタードライバーまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)
 - [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
-

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターが WPS (PBC 方式) をサポートしている場合、本製品の操作パネルメニューから WPS を使用して無線 LAN ネットワークを設定することができます。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[WPS(プッシュボタン)] を選択し、**OK** を押します。
4. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線 LAN ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の操作に必要なプリンタードライバーまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

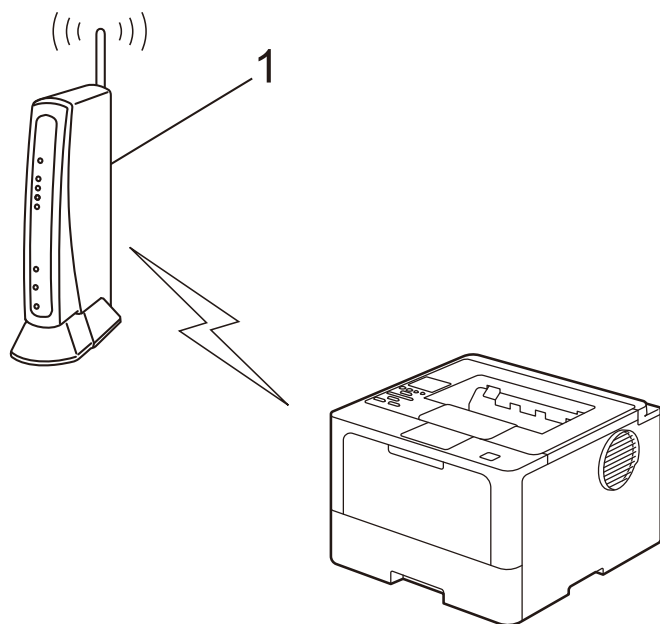
Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) の PIN 方式を使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する

お使いの無線 LAN のアクセスポイント / ルーターが、WPS をサポートしている場合、暗証番号 (PIN : Personal Identification Number) 方式を使用して無線 LAN ネットワークを設定できます。

PIN 方式は、Wi-Fi Alliance® により開発された接続方式の一つです。本製品で作成された PIN コードを、レジス Trotラー (無線 LAN を管理する機器) に送信することで、無線 LAN ネットワークとセキュリティの設定を行うことができます。WPS モードへのアクセス方法の詳細については、お使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターの説明書を参照してください。

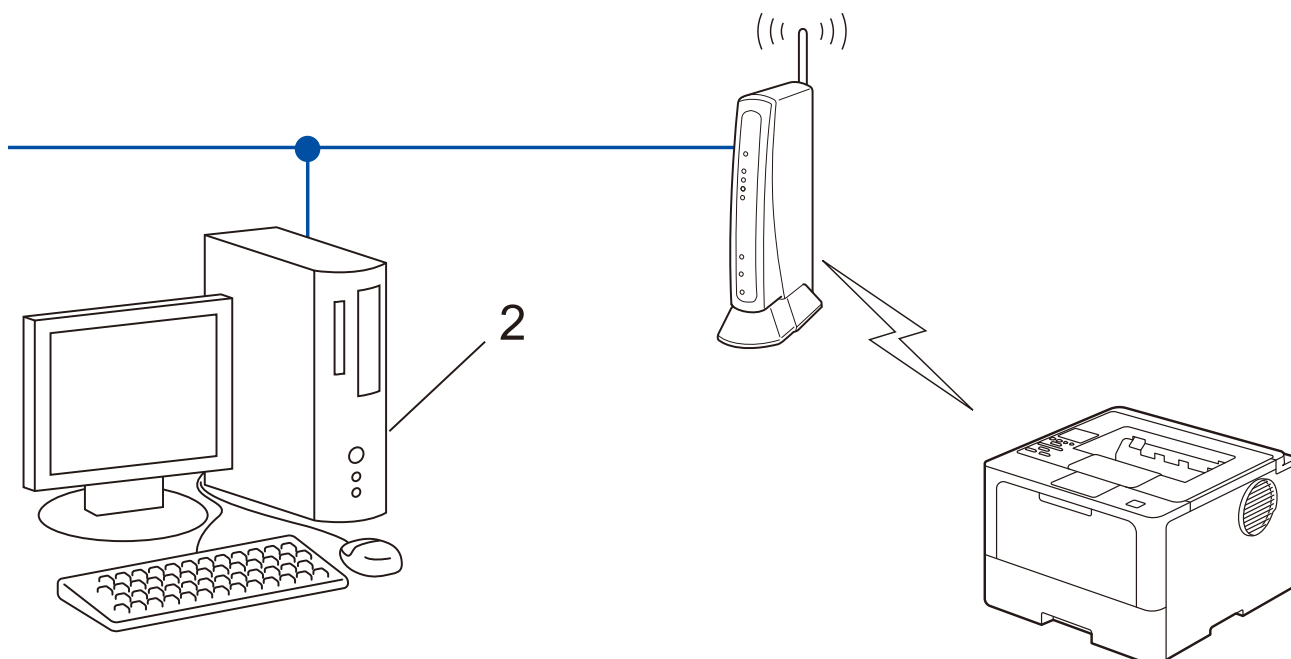
使用例 A

無線 LAN アクセスポイント / ルーター (1) がレジス Trotラーを兼ねている場合の接続 :



使用例 B

コンピューターなど、その他の機器 (2) がレジス Trotラーとして使用される場合の接続 :



1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[WPS(PIN コード)] を選択し、**OK** を押します。
4. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
5. 本製品の画面に 8 桁の PIN が表示され、製品は無線 LAN アクセスポイント / ルーターの検索を開始します。
6. ネットワークに接続したコンピューターを使って、レジストラーとして使用している機器の IP アドレスをブラウザのアドレスバーに入力します（例：https://192.0.2.1）。
7. WPS の設定ページを表示して PIN を入力したあと、画面の指示に従います。



- レジストラーは通常、無線 LAN アクセスポイント / ルーターです。
- 設定画面は、無線 LAN アクセスポイント / ルーターの種類によって異なる場合があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。

Windows 10 または Windows 11 のコンピューターをレジストラーとして使用している場合、次の手順をすべて行ってください。

8. 次のいずれかを行ってください：

- Windows 11



> **設定**をクリックします。**Bluetooth とデバイス > デバイス**を選択し、**関連設定のその他のデバイスとプリンターの設定**をクリックします。**デバイスの追加**をクリックします。

- Windows 10



> **設定**をクリックします。**デバイス**を選択し、**関連設定のデバイスとプリンター**をクリックします。**デバイスの追加**をクリックします。



- Windows 10 または Windows 11 のコンピューターをレジストラーとして使用する場合、使用するコンピューターをネットワークに事前に登録する必要があります。詳細については、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 10 または Windows 11 のコンピューターをレジストラーとして使用する場合は、画面の指示に従って無線設定を行ったあと、プリンタードライバをインストールできます。本製品の操作に必要なプリンタードライバまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/prINTER/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。

9. 本製品を選択し、**次へ**をクリックします。

10. 製品の画面に表示された PIN を入力し、**次へ**をクリックします。

11. **閉じる**をクリックします。

無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線 LAN ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の操作に必要なプリンタードライバまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/prINTER/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

非公開 SSID を入力して、本製品に無線 LAN ネットワークを設定する

本製品を設定する前に、無線 LAN ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN の設定を調べて記録します。

ネットワーク名 (SSID)

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
オープンシステム	なし	-
	WEP	
共有キー	WEP	
WPA/WPA2-PSK	AES	
	TKIP	
WPA3-SAE	AES	

例：

ネットワーク名 (SSID)

HELLO

認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
WPA2-PSK	AES	12345678



お使いのルーターが WEP 暗号化方式を使用している場合、最初の WEP キーとして使用されているキーを入力します。本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

2. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ネットワーク選択 (SSID)] を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>] を選択し、**OK** を押します。
7. SSID 名を入力し、**OK** を押します。
8. ▲または▼を押して、使用する認証方式を選択し、**OK** を押します。
9. 次のいずれかを行ってください：
 - [オープンシステム認証] を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを [なし] または [WEP] から選択し、**OK** を押します。
暗号化方式に [WEP] を選択した場合、WEP キーを入力し、**OK** を押します。
 - [共有キー認証] を選択した場合、WEP キーを入力し、**OK** を押します。

- [WPA-Personal] を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを [TKIP+AES] または [AES] から選択し、**OK** を押します。
WPA™キーを入力し、**OK** を押します。
- [WPA3-SAE] を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプ [AES] を選択し、**OK** を押します。
WPA™キーを入力し、**OK** を押します。



本製品では、1 番目の WEP キーのみ使用できます。

10. 設定を適用するには、[はい] を選択します。

本製品は選択された無線機器との接続を開始し、無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線 LAN ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の操作に必要なプリンタードライバーまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/printer/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

- [無線 LAN ネットワーク設定を完了できない](#)
- [本製品にテキストを入力するには](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

■ エンタープライズ無線 LAN ネットワーク用に本製品を設定する

本製品を設定する前に、無線 LAN ネットワークの設定を書き留めておくことをお勧めします。設定を行う前に、この情報が必要になります。

1. 現在の無線 LAN 設定を確認して記録します。

ネットワーク名 (SSID)

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/NONE	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-FAST/GTC	AES		
	TKIP		
PEAP/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
PEAP/GTC	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
	TKIP		
EAP-TTLS/PAP	AES		
	TKIP		
EAP-TLS	AES		-
	TKIP		-

例：

ネットワーク名 (SSID)
HELLO

認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	USER	12345678



- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書の共通名を使用して本製品を確認する場合、設定の開始前に、使用する共通名を書き留めておくことをお勧めします。サーバー証明書の共通名については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

2. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[ネットワーク選択 (SSID)] を選択し、**OK** を押します。
5. [無線 LAN 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。
これにより無線セットアップウィザードが起動されます。
6. 本製品は使用しているネットワークを検索し、利用可能な SSID のリストを表示します。▲または▼を押して、[<New SSID>] を選択し、**OK** を押します。
7. SSID 名を入力し、**OK** を押します。
8. ▲または▼を押して、使用する認証方式を選択し、**OK** を押します。
9. 次のいずれかを行ってください：
 - [EAP-FAST]、[PEAP] または [EAP-TTLS] を選択した場合、▲または▼を押して内部認証方式を [NONE]、[CHAP]、[MS-CHAP]、[MS-CHAPv2]、[PAP] または [GTC] から選択し、**OK** を押します。



使用する認証方式によって、選択する内部認証方式は異なります。

- ▲または▼を押して、暗号化タイプを [TKIP+AES] または [AES] から選択し、**OK** を押します。
- ▲または▼を押して、検証方式を [検証しない]、[CA 証明書]、または [CA 証明書 + サーバ - ID] から選択し、**OK** を押します。
 - [CA 証明書 + サーバ - ID] を選択した場合、サーバ ID、ユーザ ID、パスワード（必要に応じて）を入力し、その都度 **OK** を押します。
 - その他を選択した場合は、ユーザ ID とパスワードを入力し、**OK** を押します。



本製品に CA 証明書をインポートしていない場合、メッセージ [検証しない] が表示されます。

- [EAP-TLS] を選択した場合、▲または▼を押して、暗号化タイプを [TKIP+AES] または [AES] から選択し、**OK** を押します。
使用可能なクライアント証明書のリストが製品に表示された場合、使用する証明書を選択します。
▲または▼を押して、検証方式を [検証しない]、[CA 証明書]、または [CA 証明書 + サーバ - ID] から選択し、**OK** を押します。
 - [CA 証明書 + サーバ - ID] を選択した場合、サーバ ID、ユーザ ID を入力し、その都度 **OK** を押します。
 - その他を選択した場合は、ユーザ ID を入力し、**OK** を押します。
10. 設定を適用するには、▲を押します。キャンセルするには、▼を押します。

本製品は選択された無線機器との接続を開始し、無線機器が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

無線 LAN ネットワークのセットアップが完了しました。本製品の操作に必要なプリンタードライバーまたはアプリケーションをインストールするには、<https://jpn.nec.com/prINTER/laser/index.html> でお使いのモデルのダウンロードページをご覧ください。



関連情報

- [無線 LAN ネットワークを使用する](#)

関連トピック：

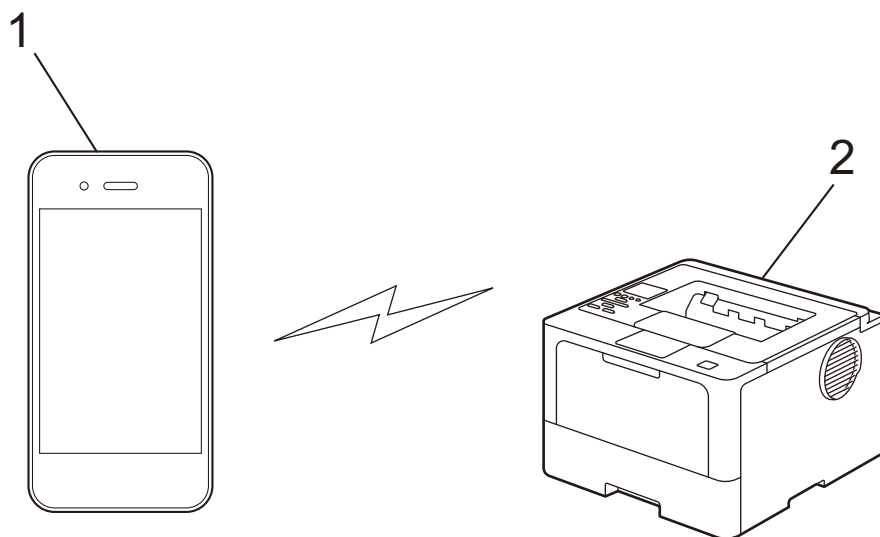
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)

Wi-Fi Direct® を使用する

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

Wi-Fi Direct の概要

Wi-Fi Direct は、Wi-Fi Alliance® により開発された無線設定方法の一つです。無線 LAN ルーター / アクセスポイントを使用せずに、モバイル端末を本製品に接続できます。



1. モバイル端末
2. 本製品



- Wi-Fi Direct は、有線または無線のネットワーク接続と同時に使用できます。
- Wi-Fi Direct に対応している機器は、グループオーナーになります。Wi-Fi Direct ネットワークを設定する場合、グループオーナーはアクセスポイントとして機能します。



関連情報

- [Wi-Fi Direct® を使用する](#)

関連トピック：

- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

Wi-Fi Direct を手動で接続する

お使いのモバイル端末で、Wi-Fi Direct または WPS が非サポートの場合、Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定する必要があります。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[手動接続] を選択し、**OK** を押します。
4. [Wi-Fi Direct 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。
5. 本製品に SSID 名とパスワードが表示されます。ご使用のモバイル端末の無線 LAN ネットワーク設定画面で、この SSID 名を選択して、パスワードを入力します。

モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。



関連情報

- [Wi-Fi Direct® を使用する](#)

関連トピック：

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する](#)

プッシュボタン方式を使用して Wi-Fi Direct ネットワークを設定する

お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct をサポートしている場合、次の手順に従って Wi-Fi Direct を設定します。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[プッシュボタン接続] を選択し、**OK** を押します。
4. [Wi-Fi Direct 有効 ?] が表示されたら、オンを選択します。



お使いのモバイル端末が Wi-Fi Direct に対応していない場合は、次の手順を実行します。

- a. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
 - b. ▲または▼を押して、[Wi-Fi Direct] を選択し、**OK** を押します。
 - c. ▲または▼を押して、[グループ オナー] を選択し、**OK** を押します。
 - d. ▲または▼を押して、[わ] を選択し、**OK** を押します。
 - e. ▲または▼を押して、[プッシュボタン接続] を選択し、**OK** を押します。
5. [相手側デバイス の Wi-Fi Direct 設定を有効にして OK ボタンを押してください] が本製品の画面に表示されたら、モバイル端末の Wi-Fi Direct を有効にします（有効化の手順については、お使いのモバイル端末の取扱説明書を参照してください）。
 6. 本製品の **OK** を押します。
これにより Wi-Fi Direct セットアップが起動します。
 7. 次のいずれかを行ってください：
 - モバイル端末に Wi-Fi Direct が有効になっている製品のリストが表示される場合は、本製品を選択します。
 - 本製品に Wi-Fi Direct が有効になっているモバイル端末のリストが表示される場合は、お使いのモバイル端末を選択します。▲または▼を押して、接続したいモバイル端末を選択し、**OK** を押します。利用可能な機器を再検索するには、[< リサーチ >] を選択してから、**OK** を押します。

モバイル端末が正常に接続されると、本製品の画面に [接続しました] と表示されます。

Wi-Fi Direct ネットワークのセットアップが完了しました。



関連情報

- [Wi-Fi Direct® を使用する](#)

関連トピック：

- [Wi-Fi Direct の概要](#)
- [Wi-Fi Direct を手動で接続する](#)

無線 LAN を有効 / 無効にする

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN(Wi-Fi)] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[無線 LAN 有効] を選択し、**OK** を押します。
4. 次のいずれかを行ってください：
 - Wi-Fi を有効にするには、[わ] を選択します。
 - Wi-Fi を無効にするには、[㇏] を選択します。
5. **OK** を押します。



関連情報

- [無線 LAN ネットワーク設定](#)

無線 LAN レポートを印刷する

無線 LAN レポートには、本製品の無線の状態が表示されます。無線接続に失敗した場合は、印刷されたレポートのエラーコードを確認してください。

1. ▲または▼を押して、[レポート印刷] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[無線 LAN レポート] を選択し、**OK** を押します。
3. **Go** を押します。

製品は無線 LAN レポートを印刷します。



関連情報

- 無線 LAN ネットワーク設定
 - 無線 LAN レポートのエラーコードについて

関連トピック：

- 本製品で、ネットワーク経由の印刷ができない
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

無線 LAN レポートのエラーコードについて

無線 LAN レポートに接続の失敗が示された場合、印刷したレポートでエラーコードを確認し、表を参照してエラーコードに対応する指示に従います。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-01	無線 LAN (Wi-Fi) 設定が有効になっていません。 次を確認し、接続をやりなおしてください。 - 本製品の無線 LAN 設定を ON にしてください。 - 本製品に LAN ケーブルがつながっている場合は抜いてください。
TS-02	接続する無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりません。 次を確認し、接続をやりなおしてください。 - ルーター／アクセスポイントの電源が入っていることを確認してください。 - セットアップ時は、本製品を障害のない場所へ移動させたり、ルーター／アクセスポイントに近づけてみてください。 - MAC アドレスフィルタリングなどの接続制限機能をご利用の場合は、本製品の MAC アドレスを制限がかからないようにルーター／アクセスポイントの設定をご確認ください。本製品の MAC アドレスは、ネットワーク設定リストの印刷結果で確認できます。 - 手動で SSID を入力している場合には、セキュリティ情報 (SSID / 認証方式 / 暗号化方式) が間違っている可能性があります。セキュリティ情報 (SSID / 認証方式 / 暗号化方式) を再度確認し、入力をやりなおしてください。 - ルーター／アクセスポイントの電源を入れなおしてください。お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-03	無線 LAN エンタープライズのセキュリティ情報が間違っています。 次を確認し、接続をやりなおしてください。 - 本製品で選択したネットワーク名 (SSID) - 本製品で選択したセキュリティ情報 (認証方式 / 暗号化方式 / ユーザー ID など) ネットワーク名 (SSID) やセキュリティ情報が分からない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-04	無線アクセスポイント／ルーターで使用されている認証方式と暗号化方式を、本製品はサポートしていません。 インフラストラクチャモードの場合 (最も一般的) 無線 LAN ルーター／アクセスポイントの認証方式や暗号化方式を変更します。本製品は、次の方式をサポートしています。 - WPA- パーソナル : TKIP / AES - WPA2- パーソナル : TKIP / AES - WPA3- パーソナル : AES - OPEN : WEP / なし (認証なし) - 共有キー : WEP 解決しない場合は、選択した SSID または入力したネットワーク設定が間違っている可能性があります。ネットワーク設定を再度確認してください。

エラーコード	問題と推奨される解決方法
TS-05	ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）が間違っています。 次の内容を確認し、接続をやりなおしてください。 - ネットワーク名（SSID）やネットワークキー（パスワード）を確認してください。 - ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 - ネットワーク名（SSID）やセキュリティ情報が見つからない場合、無線 LAN（Wi-Fi）ルーター／アクセスポイントの取扱説明書を確認するか、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。 - ルーター／アクセスポイントの WEP が複数ある場合は、最初の WEP キーで接続してください。
TS-06	セキュリティ情報（SSID／認証方式／暗号化方式／ネットワークキー）が間違っています。 次の内容を確認し、接続をやりなおしてください。 - ネットワークキー（パスワード）を確認してください。ネットワークキーには、大文字と小文字を正しく入力してください。 - 選択した認証方式を確認してください。認証方式や暗号化方式は、無線 LAN ルーター／アクセスポイントが対応しているものを選択してください。 - ネットワークキー、認証方式、暗号化方式を確認してください。ルーター／アクセスポイントと本製品の電源を入れなおしてください。 - 無線 LAN アクセスポイントの設定で SSID を隠している（SSID ステルス）場合、SSID は検出されません。SSID ステルスをおフにしてください。 お使いの無線 LAN アクセスポイントの情報や設定変更のやり方がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント・ルーターのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-07	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが見つかりませんでした。 次の内容を確認し、接続をやりなおしてください。 - ルーター／アクセスポイントに WPS ロゴが表示されているか確認し、WPS に対応している事を確認してください。詳しい事は、ルーター／アクセスポイントの説明書で確認してください。 - WPS で接続する場合は、本製品とルーター／アクセスポイントの両方の操作が必要です。詳しい事は、本製品のユーザズガイドで確認してください。 - これらの情報がわからない場合は、ルーター／アクセスポイントのメーカー、インターネットプロバイダー、インターネット接続業者、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
TS-08	WPS（Wi-Fi Protected Setup）設定中の無線 LAN ルーター／アクセスポイントが、2 個以上検出されています。 次の内容を確認し、接続をやりなおしてください。 - 本製品と接続する 1 つのルーター／アクセスポイントだけが WPS を有効にしていることを確認してください。 - 他のルーター／アクセスポイントからの影響を避けるため、数分後にもう一度試してください。



無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの無線セキュリティ情報（SSID / 認証方式 / 暗号化方式 / ネットワークキー）の確認方法：

1. お買い上げ時のセキュリティ設定が、無線 LAN アクセスポイント／ルーターに貼られているラベルに記載されている場合があります。または、無線 LAN アクセスポイント／ルーターのメーカー名もしくは型番号が、お買い上げ時のセキュリティ設定として使用されている場合があります。
2. セキュリティ設定の表示場所については、お使いの無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。
 - 無線 LAN アクセスポイントまたはルーターが SSID を公開するように設定されていない場合、SSID は自動的に検出されません。SSID 名を手動で入力する必要があります。
 - ネットワークキーは、パスワード、セキュリティキー、または暗号化キーとして記載されることもあります。

無線 LAN アクセスポイントまたはルーターの SSID および無線セキュリティ設定、または設定の変更方法が分からない場合、無線 LAN アクセスポイントまたはルーターに同梱の説明書をご覧ください。無線 LAN アクセスポイントまたはルーターのメーカーもしくは、ご契約のインターネットプロバイダーまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- 無線 LAN レポートを印刷する

関連トピック：

- 本製品で、ネットワーク経由の印刷ができない
- 使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい
- Wi-Fi Protected Setup™（WPS）のワンプッシュ方式を使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- Wi-Fi Protected Setup™（WPS）の PIN 方式を使用して本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- 本製品の操作パネルからセットアップウィザードを使用して無線 LAN ネットワークを設定する
- 非公開 SSID を入力して、本製品に無線 LAN ネットワークを設定する
- エンタープライズ無線 LAN ネットワーク用に本製品を設定する

ネットワーク機能

- 操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする
- Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する
- ネットワーク設定リストを印刷する
- Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する
- ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）に接続する
- ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

操作パネルから Web Based Management を有効／無効にする

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[Web Based Mgmt] を選択し、**OK** を押します。
3. 次のいずれかを行ってください：
 - 有効にするには、[有] を選択して、接続方法を指定します。
 - 無効にするには、[無] を選択します。
4. **OK** を押します。



関連情報

- ネットワーク機能

Web Based Management を使用してプロキシサーバーを設定する

ネットワークでプロキシサーバーを使用している場合、次のプロキシサーバーの情報を、Web Based Management 上で設定する必要があります。

- プロキシサーバーのアドレス
- ポート番号
- ユーザー名
- パスワード



- 次のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
 - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
 - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
 - Android™ の場合：Google Chrome™
 - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **プロキシ**チェックボックスが選択されていることを確認して、**OK**をクリックします。
6. **プロキシ**欄で、**詳細設定**をクリックします。
7. プロキシサーバーの情報を入力します。
8. **OK** をクリックします。



関連情報

- ネットワーク機能

ネットワーク設定リストを印刷する

ネットワーク設定リストには、ネットワーク設定が一覧表示されます。



- ノード名は、ネットワーク設定リストに表示されます。お買い上げ時のノード名は、「例：NEC123456abcdef」です（「123456abcdef」は、本製品の MAC アドレス/イーサネットアドレスを示します）。
- ネットワーク設定リストに表示される IP アドレスが 0.0.0.0 の場合、1 分間待ってから、もう一度印刷してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、ノード名、および MAC アドレスなどの、本製品の設定をレポートで確認できます。

1. ▲または▼を押して、[レポート印刷] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[ネットワーク設定リスト] を選択します。
3. **OK** を押します。
4. **Go** を押します。



関連情報

- [ネットワーク機能](#)

関連トピック：

- [本製品のネットワーク設定を確認する](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [エラーメッセージ](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)
- [Web Based Management を使用してギガビットイーサネットを設定する](#)

Web Based Management で SNTP プロトコルを設定する

SNTP (Simple Network Time Protocol) は、SNTP タイムサーバーとの通信により、本製品が使用する時刻を正確に保つために使用されます。Web Based Management を使用して、SNTP プロトコルを設定し、製品が認証に使用する時間と SNTP タイムサーバーが維持する UTC (協定世界時) を同期させます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します (「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します)。

例:

https://192.0.2.1

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **SNTP** チェックボックスをオンにして、設定を有効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 製品を再起動して、設定を有効にします。
8. SNTP チェックボックスの横にある**詳細設定**をクリックします。
9. 設定を確認します。

項目	詳細
状態	SNTP プロトコルが有効か無効かを表示します。
同期状態	最新の同期状態を確認します。
SNTP サーバー設定の方法	AUTO または STATIC を選択します。 • AUTO ネットワーク上に DHCP サーバーがあれば、SNTP サーバーが自動的に DHCP サーバーからアドレスを取得します。 • STATIC 使用したいアドレスを入力します。
プライマリー SNTP サーバーアドレス セカンダリー SNTP サーバーアドレス	サーバーアドレスを 64 文字以内で入力します。 セカンダリー SNTP サーバーアドレスは、プライマリー SNTP サーバーアドレスの予備として使用されます。プライマリーサーバーが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP サーバーと通信します。
プライマリー SNTP サーバーポート セカンダリー SNTP サーバーポート	ポート番号を入力します (1 ~ 65535)。 セカンダリー SNTP サーバーポートは、プライマリー SNTP サーバーポートの予備として使用されます。プライマリーポートが利用できない場合、本製品はセカンダリー SNTP ポートと通信します。
同期間隔	サーバーとの同期の試行間隔 (1 時間から 168 時間) を入力します。

10. **OK** をクリックします。

ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）に接続する

本製品は、1000BASE-T ギガビットイーサネットをサポートしています。1000BASE-T ギガビットイーサネットネットワークに接続するには、製品の操作パネルまたは Web Based Management から、製品のイーサネットリンクモードを「自動」に設定する必要があります。



カテゴリ 5e 以上のネットワークケーブルを使用してください。本製品は、対応している最速のネットワーク速度を自動的に調整できますが、例えば、1000BASE-T のネットワーク速度を実現するには、ネットワークスイッチやケーブルなどのすべての接続機器が 1000BASE-T の速度に対応している必要があります。それ以外の場合は、10BASE-T または 100BASE-TX で通信を行います。



関連情報

- ネットワーク機能
 - Web Based Management を使用してギガビットイーサネットを設定する

Web Based Management を使用してギガビットイーサネットを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > 有線 > イーサネット**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **イーサネットモード**ドロップダウンリストから**自動**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. 設定を有効にするには、本製品を再起動します。

設定値は、ネットワーク設定レポートを印刷して確認することができます。



関連情報

- [ギガビットイーサネット（有線 LAN のみ）に接続する](#)

関連トピック：

- [ネットワーク設定リストを印刷する](#)

ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットする

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定をお買い上げ時の設定にリセットできます。パスワードや IP アドレスなど、すべての情報がリセットされます。



- この機能は、すべてのネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻すものです。
- Web Based Management を使用して、本機をお買い上げ時の設定にリセットすることもできます。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[ネットワーク設定リセット] を選択し、**OK** を押します。
3. 製品の指示に従って、ネットワークの設定をリセットします。
本製品が再起動します。



関連情報

- [ネットワーク機能](#)

関連トピック：

- [リセット機能](#)

セキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する
- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する
- E メールを安全に送信する
- 操作パネルから製品の設定をロックする
- グローバルネットワーク検出機能を使う

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、ネットワークセキュリティの一部と、暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。



Telnet および FTP サーバプロトコルを無効にすることをお勧めします。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。



関連情報

- [セキュリティ](#)
- [ネットワークセキュリティ](#)
 - [不要なプロトコルを無効にする](#)

不要なプロトコルを無効にする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
https://192.0.2.1
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. 不要なプロトコルのチェックボックスをオフにして無効にします。
6. **OK** をクリックします。
7. 製品を再起動して、設定を有効にします。



関連情報

- [ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に](#)

📌 デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用してネットワーク接続された本製品を安全に管理するには、Web Based Management を使用して証明書を設定する必要があります。

- サポートされているセキュリティ証明書機能
- 証明書の作成とインストールの手順
- 自己署名証明書を作成する
- CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする
- 証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて
- CA 証明書のインポートとエクスポートについて
- 複数の証明書を管理する

サポートされているセキュリティ証明書機能

本製品は、複数のセキュリティ証明書の使用をサポートしています。これにより、安全な管理、認証、本製品との通信が可能になります。本製品では、次のセキュリティ証明書機能を使用できます。

- SSL/TLS 通信
- SMTP の SSL 通信
- IEEE 802.1x 認証
- IPsec

本製品は次のセキュリティ証明書をサポートしています。

- プリインストール証明書
本製品には、自己署名証明書がプリインストールされています。この証明書により、別の証明書を作成またはインストールしなくても、SSL/TLS 通信を使用できます。



プリインストールされた自己署名証明書により、一定レベルまでは通信が保護されます。セキュリティを強化するために、信頼できる組織から発行された証明書を使用することをお勧めします。

- 自己署名証明書
本機は自己の証明書を発行します。この証明書を使用すると、別の証明書を作成したり、CA 発行の証明書をインストールしなくても、SSL/TLS 通信を簡単に使用できます。
- 認証局（CA）発行の証明書
CA 発行の証明書をインストールする方法は 2 種類あります。すでに CA 発行の証明書を持っている場合や、外部の信頼できる CA の証明書を使う場合：
 - 本機から証明書署名要求（CSR）を使用する方法
 - 証明書とプライベートキーをインポートする方法
- 認証局（CA）証明書
CA を識別し、プライベートキーを所有する CA 証明書を使用するには、ネットワークのセキュリティ機能を設定する前に、CA が発行した CA 証明書をインポートする必要があります。



- SSL/TLS 通信を使用する場合は、システム管理者に連絡することをお勧めします。
- 本機をお買い上げ時の設定にリセットする場合、インストールされている証明書とプライベートキーは削除されます。本機のリセット後にも同じ証明書とプライベートキーを保持する場合は、リセット前にこれらをエクスポートし、リセット後に再インストールします。



関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

証明書の作成とインストールの手順

セキュリティ証明書を使用する場合、自己署名証明書を使用するか、認証局（CA）発行の証明書を使用するかを選択できます。

自己署名証明書の場合

1. Web Based Management を使用して自己署名証明書を作成します。
2. コンピューターへ自己署名証明書をインストールします。

CA からの証明書の場合

1. Web Based Management を使用して、証明書署名要求（CSR）を作成します。
2. Web Based Management を使用して、CA が発行した証明書を、本製品にインストールします。
3. コンピューターへ証明書をインストールします。



関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

自己署名証明書を作成する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰をクリックします。

5. **自己署名証明書の作成** をクリックします。
6. **コモンネーム**および**有効期限**を入力します。
 - **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満です。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。
 - IPPS または HTTPS プロトコルを使用し、自己署名証明書に使用された**コモンネーム**とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **EC(256bit)** です。
8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。
9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする

外部の信頼された CA からの証明書がすでに存在する場合、その証明書とプライベートキーを本製品に保存し、インポートやエクスポートを行うことによってそれらを管理することができます。外部の信頼された CA からの証明書が存在しない場合、証明書署名要求（CSR）を作成し、CA に送信して認証を受けたあと、返却された証明書を本製品にインストールします。

- 証明書署名要求（CSR : Certificate Signing Request）を作成する
- 証明書を本製品にインストールする

証明書署名要求 (CSR : Certificate Signing Request) を作成する

証明書署名要求 (CSR) は、証明書に含まれる資格情報を認証するために、認証局 (CA) に送信される要求です。

CSR を作成する前に、CA からのルート証明書をお使いのコンピューターにインストールしておくことを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します (「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します)。

例 :

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例 : https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例 : https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **CSR の作成**をクリックします。

6. **コモンネーム** (必須) を入力して、ご使用の**組織**に関するその他の情報 (任意) を追加します。



- CA がお客様の身元を確認し、外部に向けて証明するために、お客様の会社の情報が必要です。
- **コモンネーム**の長さは 64 バイト未満である必要があります。SSL/TLS 通信を介して本製品にアクセスする場合に使用する、IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定では、ノード名が表示されます。**コモンネーム**は必須です。
- 証明書に使用された共通名とは異なる名前が URL に入力された場合は、警告が表示されます。
- **組織、部署、市、および県 / 州**の長さは 64 バイト未満の必要があります。
- **国**は、2 文字の ISO 3166 国コードです。
- X.509v3 証明書拡張を設定する場合、**拡張領域設定**チェックボックスを選択後、**自動 (本機の IPv4 アドレスを登録します。)**または**手動**を選択します。

7. **公開鍵アルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **EC(256bit)** です。

8. **メッセージダイジェストアルゴリズム**ドロップダウンリストから設定を選択します。お買い上げ時の設定は **SHA256** です。

9. **OK** をクリックします。

CSR が画面に表示されます。表示された CSR をファイルとして保存するか、認証局から提供されたオンラインの CSR フォームにコピー・ペーストします。

10. **保存**をクリックします。



- CSR をお客様の CA に送信する方法については、お客様の CA の方針に従ってください。
 - Windows Server 2016/2019/2022 の Enterprise root CA を使用している場合、クライアント証明書の安全な作成のために、証明書用ウェブサーバーテンプレートを使用することを推奨します。EAP-TLS 認証を行う IEEE 802.1x 環境のためのクライアント証明書を作成する場合、証明書用ユーザーテンプレートを使用することを推奨します。
-



関連情報

- [CSR を作成して認証局（CA）からの証明書をインストールする](#)
-

証明書を本製品にインストールする

証明書を CA から受信した後、次の手順で本機にインストールします。

本製品には、本製品の CSR と一緒に発行された証明書のみをインストールできます。他の CSR を作成する場合は、CSR 作成前に、この証明書がインストールされていることを確認してください。この証明書を必ず先にインストールしてから、他の CSR を作成してください。この証明書が先にインストールされなかった場合、作成した CSR は無効になります。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
例：https://nec123456abcdef
- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **証明書のインストール**をクリックします。
6. CA に発行された証明書を含むファイルを表示して、**OK**をクリックします。

証明書が作成され、本製品のメモリーに正常に保存されます。

SSL/TLS 通信を使用する場合は、お使いのコンピューターに、CA から取得したルート証明書を必ずインストールしてください。ネットワーク管理者にお問い合わせください。



関連情報

- [CSR を作成して認証局 \(CA\) からの証明書をインストールする](#)

証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて

証明書とプライベートキーを本製品に保存して、インポートまたはエクスポートすることにより、これらを管理します。

- 証明書とプライベートキーをインポートする
- 証明書とプライベートキーをエクスポートする

証明書とプライベートキーをインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **証明書と秘密鍵のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. ファイルが暗号化されている場合はパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

証明書とプライベートキーが本製品にインポートされます。



関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

証明書とプライベートキーをエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **証明書一覧**と共に表示される**エクスポート**をクリックします。
6. ファイルを暗号化する場合は、パスワードを入力します。
パスワードを空白のままにすると、出力内容は暗号化されません。
7. 確認のためにパスワードを再入力し、**OK**をクリックします。
8. **保存**をクリックします。

証明書とプライベートキーがお使いのコンピューターにエクスポートされます。

ご使用のコンピューターに証明書をインポートすることもできます。



関連情報

- [証明書とプライベートキーのインポートとエクスポートについて](#)

CA 証明書のインポートとエクスポートについて

本製品では、CA 証明書のインポートやエクスポート、または保存ができます。

- [CA 証明書をインポートする](#)
- [CA 証明書をエクスポートする](#)

CA 証明書をインポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > CA 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰をクリックします。

5. **CA 証明書のインポート** をクリックします。
6. インポートするファイルを表示します。
7. **OK** をクリックします。



関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

CA 証明書をエクスポートする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > CA 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰をクリックします。

5. エクスポートする証明書を選択し、**エクスポート**をクリックします。
6. **OK** をクリックします。
7. **保存**の横の▼をクリックし、ファイルの保存先を指定します。



関連情報

- [CA 証明書のインポートとエクスポートについて](#)

複数の証明書を管理する

Web Based Management を使用して、本製品にインストールされている証明書を管理することができます。Web Based Management で、**証明書**または**CA 証明書**画面に移動して、証明書の内容の表示、また証明書の削除やエクスポートを行えます。

	本製品に保存できる証明書の最大数
自己署名証明書または、CA 発行の証明書	5
CA 証明書	6

保存する証明書は最大数よりも少ない数にし、証明書の期限切れに備えて 1 個分の空きを確保しておくことをお勧めします。証明書の期限が切れた場合、新しい証明書を確保した場所にインポートして、期限切れの証明書を削除します。こうすることで、設定エラーを回避できます。



- HTTPS/IPPS または IEEE 802.1x を使用する場合、使用する証明書を選択する必要があります。
- SMTP 通信に SSL を使用する場合、証明書を選択する必要はありません。必要な証明書は自動的に選択されます。



関連情報

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

SSL/TLS を使用する

- [SSL/TLS について](#)
- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)
- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)
- [E メールを安全に送信する](#)

SSL/TLS について

SSL/TLS は、LAN または WAN 経由で送信されるデータを保護する方式です。ネットワーク経由の印刷ジョブなどのデータを暗号化して送信するため、第三者から内容を読み取られることはありません。

SSL/TLS は、有線と無線のネットワークのいずれにも設定可能であり、WPA キーやファイアウォールなど他のセキュリティ形式でも機能します。



関連情報

- [SSL/TLS を使用する](#)

SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理

- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする
- 管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する

SSL/TLS 通信を使用するには、Web Based Management を使用して本製品に証明書を設定します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **HTTP サーバー設定** をクリックします。
6. **証明書の選択** ドロップダウンリストから、設定対象の証明書を選択します。
7. **OK** をクリックします。
8. **Yes** をクリックして本機を再起動します。



関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

SSL/TLS を使用して Web Based Management にアクセスする

ネットワーク上で本製品を安全に管理するために、HTTPS プロトコルを使用した Web Based Management を使用します。



- HTTPS プロトコルを使用するには、本製品で HTTPS が有効になっている必要があります。お買い上げ時の設定では、HTTPS プロトコルは有効です。
- HTTPS プロトコル設定は、Web Based Management を使用して変更できます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。



関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする

- 次の手順は、Microsoft Edge を使用する場合があります。その他のウェブブラウザを使用している場合は、ウェブブラウザの説明書またはオンラインヘルプで、証明書のインストール方法を参照してください。
- Web Based Management を使用して、自己署名証明書が作成されたことを確認してください。

1. **Microsoft Edge** アイコンを右クリックし、**管理者として実行**をクリックします。
ユーザー アカウント制御画面が表示されたら、**はい**をクリックします。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 接続がプライベートでない場合は、**詳細設定**ボタンをクリックしてから、ウェブページに進んでください。
4. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

5. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > 証明書**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

6. **エクスポート** をクリックします。
7. 出力ファイルを暗号化するには、**パスワード設定**欄にパスワードを入力します。**パスワード設定**欄が空白の場合、出力ファイルは暗号化されません。
8. **パスワード確認**欄にパスワードを再度入力し、**OK** をクリックします。
9. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして開きます。
10. **証明書のインポート ウィザード**が表示されたら、**次へ**をクリックします。
11. **次へ** をクリックします。
12. 必要に応じて、パスワードを入力し、**次へ**をクリックします。
13. **証明書をすべて次のストアに配置する** を選択してから **参照 ...** をクリックします。
14. **信頼されたルート証明機関**を選択し、**OK** をクリックします。
15. **次へ** をクリックします。
16. **完了** をクリックします。
17. 表示された内容が正しければ、**はい**をクリックします。
18. **OK** をクリックします。



関連情報

- [SSL/TLS を使用した安全なネットワーク製品の管理](#)

SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する

- SSL/TLS を使用して文書を印刷する
- SSL/TLS の証明書および使用可能なプロトコルを設定する
- デバイスセキュリティの証明書を設定する

SSL/TLS を使用して文書を印刷する

IPP プロトコルを使用して文書を安全に印刷するには、IPPS プロトコルを使用します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **IPP** チェックボックスが選択されていることを確認します。



IPP チェックボックスが選択されていない場合、**IPP** チェックボックスを選択して、**OK** をクリックします。

製品を再起動して、設定を有効にします。

本製品が再起動したら、本製品のウェブページに戻ってパスワードを入力し、ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。

6. **HTTP サーバー設定**をクリックします。
7. **IPP** で **HTTPS** チェックボックスを選択し、**OK** をクリックします。
8. 製品を再起動して、設定を有効にします。

IPPS を使用した通信では、本機への非認証のアクセスを防ぐことはできません。



関連情報

- [SSL/TLS を使用して文書を安全に印刷する](#)

SNMPv3 を使用する

- SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

SNMPv3 を使用した安全なネットワーク製品の管理

SNMPv3 (Simple Network Management Protocol v3) は、ネットワーク機器を安全に管理するための、ユーザー認証とデータの暗号化に使用されます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 共通名」と入力します（ただし「共通名」は、証明書に割り当てた共通名（IP アドレス、ノード名、ドメイン名など））。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **SNMP** 設定が有効であることを確認して、**詳細設定**をクリックします。
6. SNMPv1/v2c モードの設定を行います。

項目	詳細
SNMP v1/v2c read-write access	本機は SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c を使用します。このモードで、本製品のすべてのアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーの認証は行われず、データは暗号化されないため、安全ではありません。
SNMP v1/v2c read-only access	本機は SNMP プロトコルの Ver. 1 および Ver. 2c（読み取り専用アクセス）を使用します。
無効	SNMP プロトコルの Ver.1 および Ver.2c を無効にします。 SNMPv1/v2c を使用するすべてのアプリケーションが制限されます。SNMPv1/v2c アプリケーションの使用を許可するには、 SNMP v1/v2c read-only access または SNMP v1/v2c read-write access モードを使います。

7. SNMPv3 モードの設定を行います。

項目	詳細
有効	本機は SNMP プロトコルの Ver.3 を使用します。本機を安全に管理するには、SNMPv3 モードを使用します。
無効	SNMP プロトコルの Ver.3 を無効にします。 SNMPv3 を使用するすべてのアプリケーションが制限されます。SNMPv3 アプリケーションの使用を許可するには、SNMPv3 モードを使用します。

8. **OK** をクリックします。



本製品にプロトコル設定が表示された場合は、使用する項目を選択します。

9. 製品を再起動して、設定を有効にします。



関連情報

- [SNMPv3 を使用する](#)

IPsec を使用する

- [IPsec について](#)
- [Web Based Management を使用して IPsec を設定する](#)
- [Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する](#)
- [Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

IPsec について

IPsec (Internet Protocol Security) は、任意のインターネットプロトコル機能を使用してデータの改ざんを防止し、IP パケットとして送信されるデータの信頼性を確保するセキュリティプロトコルです。IPsec は、コンピュータからプリンターへ送信される印刷データなど、ネットワーク経由で転送されるデータを暗号化します。データはネットワーク層で暗号化されるため、高レベルのプロトコルを使用するアプリケーションには、ユーザーが認識していなくても、IPsec が使用されています。

IPsec では、次の機能をサポートしています。

- IPsec 送信

IPsec 設定条件に従い、ネットワークに接続されたコンピュータは、IPsec に対応している指定機器との間でデータの送受信を行います。機器が IPsec を使用して通信を開始すると、インターネットキー交換 (IKE : Internet Key Exchange) を使用してキーが交換されたあと、それらのキーを使用して暗号化されたデータが送信されます。

また、IPsec には、トランスポートモードおよびトンネルモードの、2 種類の操作モードがあります。トランスポートモードは、主に機器間の通信に使用され、トンネルモードは仮想プライベートネットワーク (VPN : Virtual Private Network) などの環境で使用されます。



IPsec 送信を行うには、次の条件が必要です。

- IPsec を使用して通信できるコンピュータが、ネットワークに接続されている。
- 本製品が IPsec 通信用に設定されている。
- 本製品に接続されているコンピュータが、IPsec 接続用に設定されている。

- IPsec 設定

IPsec を使用する接続に必要な設定。これらの設定は、Web Based Management を使用して行うことができます。



IPsec を設定するには、該当ネットワークに接続されているコンピュータのブラウザーを使用する必要があります。



関連情報

- [IPsec を使用する](#)

Web Based Management を使用して IPsec を設定する

IPsec の接続条件は、**アドレス**および **IPsec** の 2 種類の**テンプレート**で構成されます。最大 10 個の接続条件を設定できます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > IPsec** をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡** をクリックします。

5. 設定を確認します。

項目	詳細
状態	IPsec を有効または無効にします。
接続モード	IKE Phase 1 の 接続モード を選択します。IKE はプロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための、暗号キーの交換に使用されます。 メインモード では、処理速度は遅くなりますが、安全性は高くなります。 アグレッシブモード では、処理速度は メインモード の場合より速くなりますが、安全性は低くなります。
IPsec 以外のトラフィックルール	IPsec 以外のパケットに対する対処方法を選択します。 Web サービスを使用するとき、 IPsec 以外のトラフィックルール に対して 通過 を選択する必要があります。 遮断 を選択すると、Web サービスは使用できません。
Broadcast/Multicast Bypass	有効 または 無効 を選択します。
Protocol Bypass	使用したい項目のチェックボックスを選択します。
ルール	有効 チェックボックスを選択して、テンプレートを有効にします。複数のチェックボックスを選択し、それらの設定が競合する場合は、番号が小さい方のチェックボックスの設定が優先されます。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される アドレステンプレート を選択します。 アドレステンプレート を追加するには、 テンプレートの追加 をクリックします。 対応するドロップダウンリストをクリックして、IPsec の接続条件に使用される IPsec テンプレート を選択します。 IPsec テンプレート を追加するには、 テンプレートの追加 をクリックします。

6. **OK** をクリックします。

新しい設定を登録するために本製品を再起動する必要がある場合は、再起動の確認画面が表示されます。

ルールで有効化したテンプレートに空白の項目が含まれる場合、エラーメッセージが表示されます。選択した項目を確認し、もう一度 **OK** をクリックします。



関連情報

- [IPsec を使用する](#)

関連トピック：

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

Web Based Management を使用して IPsec アドレステンプレートを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
https://192.0.2.1
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > IPsec アドレステンプレート**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **削除**ボタンをクリックして**アドレステンプレート**を削除します。**アドレステンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい**アドレステンプレート**をクリックします。**IPsec アドレステンプレート**が表示されます。
7. 設定を確認します。

項目	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
ローカル IP アドレス	• IP アドレス IP アドレスを指定します。ドロップダウンリストから、すべての IPv4 アドレス、すべての IPv6 アドレス、すべてのリンクローカル IPv6 アドレス、またはカスタムを選択します。 ドロップダウンリストからカスタムを選択した場合、テキストボックスに IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。 • IP アドレス範囲 テキストボックスに IP アドレス範囲の開始アドレスと終了アドレスを入力します。開始および終了の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または終了 IP アドレスが開始アドレスより小さい場合、エラーが発生します。 • IP アドレス / プレフィックス IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.0.2.1/24 192.0.2.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.0.2.### というアドレスが有効となります。

項目	詳細
リモート IP アドレス	• すべて すべてを選択すると、すべての IP アドレスが有効になります。 • IP アドレス 指定した IP アドレス（IPv4 または IPv6）をテキストボックスに入力します。 • IP アドレス範囲 IP アドレス範囲の最初と最後のアドレスを入力します。最初と最後の IP アドレスが IPv4 または IPv6 に合わせて標準化されていない場合、または最後の IP アドレスが最初のアドレスより小さい場合、エラーが発生します。 • IP アドレス / プレフィックス IP アドレスを CIDR 表記で指定します。 例：192.0.2.1/24 192.0.2.1 に対しプレフィックスを 24 ビットのサブネットマスク（255.255.255.0）で指定するため、192.0.2.### というアドレスが有効となります。

8. **OK** をクリックします。



使用中のテンプレートの設定を変更する場合は、本製品を再起動して設定を有効にします。



関連情報

- [IPsec を使用する](#)

Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
https://192.0.2.1
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > セキュリティ > IPsec テンプレート**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **削除**ボタンをクリックして **IPsec テンプレート**を削除します。**IPsec テンプレート**が使用中の場合は、削除できません。
6. 作成したい **IPsec テンプレート**をクリックします。**IPsec テンプレート**画面が表示されます。設定欄は、選択する**テンプレートを使用する**および **IKE** 設定によって異なります。
7. **テンプレート名**欄に、テンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
8. **テンプレートを使用する**ドロップダウンリストで**カスタム**を選択した場合、**IKE** を選択してから、必要に応じて設定値を変更します。
9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [IPsec を使用する](#)
 - [IPsec テンプレートの IKEv1 の設定](#)
 - [IPsec テンプレートの IKEv2 設定](#)
 - [IPsec テンプレートの手動設定](#)

IPsec テンプレートの IKEv1 の設定

項目	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	カスタム、IKEv1 高セキュリティ または IKEv1 中セキュリティ を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 テンプレートを使用するでカスタムを選択した場合、IKEv1 を選択します。
認証タイプ	• DH グループ このキー交換方式により、保護されていないネットワーク上で、秘密キーを安全に交換することができます。Diffie-Hellman キー交換方式では、秘密キーではなく離散対数問題を利用して、乱数および秘密キーを使って生成された公開情報が送受信されます。 グループ 1、グループ 2、グループ 5、またはグループ 14 を選択します。 • 暗号化方式 DES、3DES、AES-CBC 128、または AES-CBC 256 を選択します。 • ハッシュ MD5、SHA1、SHA256、SHA384、または SHA512 を選択します。 • SA ライフタイム IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。

項目	詳細
動作セキュリティ	プロトコル ESP、AH、または AH+ESP を選択します。  - ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 - AH は、送信者を認証する IPsec プロトコルの一部であり、データの改ざんを防止します。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。 暗号化方式（AH では選択不可）。 DES、3DES、AES-CBC 128、または AES-CBC 256 を選択します。 ハッシュ なし、MD5、SHA1、SHA256、SHA384 または SHA512 を選択します。 プロトコルで ESP が選択されている場合にのみ、なしを選択 できます。 プロトコルで AH+ESP が選択されている場合、ハッシュ（ESP）とハッシュ（AH）のそれぞれに対してプロトコルを選択 します。 SA ライフタイム IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 動作モード トランスポートまたはトンネルを選択します。 リモートルーター IP アドレス リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、トンネルモードが選択されている場合にのみ入力します。  SA（Security Association）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用する SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（Internet Key Exchange）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 有効または無効を選択します。

項目	詳細
認証方式	認証方式を選択します。 事前共有キー または 証明書 を選択します。
事前共有キー	通信を暗号化する場合に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 認証方式で事前共有キーを選択した場合は、事前共有キー（最大 32 文字）を入力します。 ローカル/IDタイプ/ID 送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。 タイプとして、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、FQDN、E-mail アドレス、または証明書を選択します。 証明書を選択した場合は、ID 欄に証明書の共通名を入力します。 リモート/IDタイプ/ID 受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。 タイプとして、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、FQDN、E-mail アドレス、または証明書を選択します。 証明書を選択した場合は、ID 欄に証明書の共通名を入力します。
証明書	認証方式で証明書を選択した場合、証明書を選択します。  選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の証明書ページを使用して作成された証明書のみです。

関連情報

- [Web Based Management](#) を使用して IPsec テンプレートを設定する

IPsec テンプレートの IKEv2 設定

項目	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	カスタム 、 IKEv2 高セキュリティ または IKEv2 中セキュリティ を選択します。設定項目は、選択したテンプレートにより異なります。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 テンプレートを使用するでカスタムを選択した場合、IKEv2 を選択します。
認証タイプ	• DH グループ 保護されていないネットワークでも秘密の鍵を安全に交換できる鍵交換方法です。ディフィー・ヘルマン（Diffie-Hellman）鍵交換法では、秘密の鍵そのものを使うのではなく、「離散対数問題」と呼ばれる、簡単に逆算できない数学上の問題を利用して、乱数と秘密の鍵を使って作られた公開の情報を送受信します。 グループ 1、グループ 2、グループ 5、またはグループ 14 を選択します。 • 暗号化方式 DES、3DES、AES-CBC 128、またはAES-CBC 256 を選択します。 • ハッシュ MD5、SHA1、SHA256、SHA384、またはSHA512 を選択します。 • SA ライフタイム IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。

項目	詳細
動作セキュリティ	プロトコル ESP を選択します。  ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 暗号化方式 DES、3DES、AES-CBC 128、または AES-CBC 256 を選択します。 ハッシュ MD5、SHA1、SHA256、SHA384、または SHA512 を選択します。 SA ライフタイム IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 動作モード トランスポートまたはトンネルを選択します。 リモートルーター IP アドレス リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、トンネルモードが選択されている場合にのみ入力します。  SA（Security Association）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用する SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（Internet Key Exchange）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。
PFS	PFS では、メッセージの暗号化に使用された以前のキーからキーは導出されません。また、親キーから導出されたキーでメッセージが暗号化されている場合でも、その親キーを使用して他のキーが導出されることはありません。そのため、キーの情報が洩れた場合でも、被害はそのキーを使用して暗号化されたメッセージだけに限られます。 有効または無効を選択します。

項目	詳細
認証方式	認証方式を選択します。事前共有キー、証明書、EAP - MD5、または EAP - MS-CHAPv2 を選択します。  EAP は、PPP を拡張した認証プロトコルです。EAP を使用した IEEE802.1x 認証では、セッションごとに異なるキーを使用してユーザー認証が行われます。 次の設定は、認証方式で EAP - MD5 または EAP - MS-CHAPv2 が選択されている場合にのみ必要です。 • モード サーバーモードまたはクライアントモードを選択します。 • 証明書 証明書を選択します。 • ユーザー名 ユーザー名を入力します（最大 32 文字）。 • パスワード パスワードを入力します（最大 32 文字）。確認のため、パスワードは 2 回入力します。
事前共有キー	通信を暗号化する場合に、事前に別の通信路を使用して暗号化キーが交換および共有されます。 認証方式で事前共有キーを選択した場合は、事前共有キー（最大 32 文字）を入力します。 • ローカル/IDタイプ/ID 送信者の ID タイプを選択し、ID を入力します。 タイプとして、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、FQDN、E-mail アドレス、または証明書を選択します。 証明書を選択した場合は、ID 欄に証明書の共通名を入力します。 • リモート/IDタイプ/ID 受信者の ID タイプを選択し、その ID を入力します。 タイプとして、IPv4 アドレス、IPv6 アドレス、FQDN、E-mail アドレス、または証明書を選択します。 証明書を選択した場合は、ID 欄に証明書の共通名を入力します。
証明書	認証方式で証明書を選択した場合、証明書を選択します。  選択できる証明書は、Web Based Management のセキュリティ設定画面の証明書ページを使用して作成された証明書のみです。



関連情報

- [Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

IPsec テンプレートの手動設定

項目	詳細
テンプレート名	作成するテンプレートの名前を入力します（最大 16 文字）。
テンプレートを使用する	カスタム を選択します。
IKE	IKE は通信プロトコルであり、IPsec を使用して暗号化通信を行うための暗号キーの交換に使用されます。1 回限りの暗号化通信を実行するために、IPsec に必要な暗号化アルゴリズムが決定され、暗号化キーは共有されます。IKE の場合、暗号化キーは Diffie-Hellman キー交換方式を使用して交換され、IKE に制限された暗号化通信が実行されます。 手動を選択します。
認証キー（ESP, AH）	In/Out 値を入力します。 こうした設定は、テンプレートを使用するにカスタムが選択され、IKE に手動が選択され、動作セキュリティセクションのハッシュになし以外の設定が選択されているときに必要です。  設定可能な文字数は、動作セキュリティセクションでハッシュに選択した設定によって異なります。 指定した認証キーの長さが、選択したハッシュアルゴリズムの長さとは一致していない場合、エラーとなります。 • MD5 : 128 ビット（16 バイト） • SHA1 : 160 ビット（20 バイト） • SHA256 : 256 ビット（32 バイト） • SHA384 : 384 ビット（48 バイト） • SHA512 : 512 ビット（64 バイト） キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符（"）で囲みます。
コードキー（ESP）	In/Out 値を入力します。 こうした設定は、テンプレートを使用するにカスタムが選択され、IKE で手動が選択され、動作セキュリティのプロトコルで ESP が選択されているときに必要です。  設定可能な文字数は、動作セキュリティセクションで暗号化方式に選択した設定によって異なります。 指定したコードキーの長さが、選択した暗号化アルゴリズムの長さとは一致していない場合、エラーとなります。 • DES : 64 ビット（8 バイト） • 3DES : 192 ビット（24 バイト） • AES-CBC 128 : 128 ビット（16 バイト） • AES-CBC 256 : 256 ビット（32 バイト） キーをアスキーコードで指定する場合は、文字を二重引用符（"）で囲みます。

項目	詳細
SPI	セキュリティ情報を識別するためのパラメーターです。複数の種類の IPsec 通信に対応するために、通常、ホストには複数の SA (Security Association) が用意されています。したがって、IPsec パケットを受信したときに、該当する SA を識別する必要があります。SPI パラメーター (SA を識別する) は、AH (認証ヘッダー) と ESP (Encapsulated Security Payload、暗号ペイロード) ヘッダーに含まれます。 こうした設定は、テンプレートを使用するにカスタムが選択され、IKE に手動が選択されているときに必要です。 In/Out 値を入力します。(3 ～ 10 文字)

項目	詳細
動作セキュリティ	プロトコル ESP または AH を選択します。  - ESP は、IPsec を使用して暗号化通信を行うためのプロトコルの 1 つです。ESP は、ペイロード（通信内容）を暗号化し、付加情報を追加します。IP パケットは、ヘッダーと、ヘッダーに続く暗号化されたペイロードで構成されます。IP パケットには、暗号化されたデータに加え、暗号化方式、暗号化キー、認証データなどに関する情報も含まれます。 - AH は IPsec プロトコルの一部であり、送信元の認証やデータの改ざん防止を実現します。IP パケットでは、データはヘッダーの直後に挿入されます。また、送信者のなりすましやデータの改ざんを防止するために、パケットには、通信内容に含まれる等式を使用して計算されたハッシュ値や秘密キーなどが含まれます。ESP と異なり、通信内容は暗号化されず、データはプレーンテキストとして送受信されます。 暗号化方式（AH では選択不可）。 DES、3DES、AES-CBC 128、または AES-CBC 256 を選択します。 ハッシュ なし、MD5、SHA1、SHA256、SHA384 または SHA512 を選択します。 プロトコル で ESP が選択されている場合にのみ、なし を選択できます。 プロトコル で AH+ESP が選択されている場合、ハッシュ（ESP） と ハッシュ（AH） のそれぞれに対してプロトコルを選択します。 SA ライフタイム IKE SA のライフタイムを指定します。 時間（秒）とキロバイト数（KByte）を入力します。 動作モード トランスポート または トンネル を選択します。 リモートルーター IP アドレス リモートルーターの IP アドレス（IPv4 または IPv6）を入力します。この情報は、トンネルモード が選択されている場合にのみ入力します。  SA（Security Association）は、IPsec または IPv6 を使用する暗号化通信方式です。通信の開始前に安全な通信チャネルを確立するために、暗号化方式や暗号化キーなどの情報を交換、共有します。SA は、すでに確立された仮想的な暗号通信路（トンネル）を指す場合もあります。IPsec による通信で使用する SA では、暗号化方式を確立し、キーを交換して、IKE（Internet Key Exchange）の標準手続に従って相互認証を行います。さらに、SA は定期的に更新されます。



関連情報

- [Web Based Management を使用して IPsec テンプレートを設定する](#)

IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する

- [IEEE 802.1x 認証について](#)
- [Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する](#)
- [IEEE 802.1x 認証方式](#)

IEEE 802.1x 認証について

IEEE 802.1x は、有線および無線 LAN の IEEE 標準であり、非認証のネットワーク機器からのアクセスを制限します。本製品（サブリカント）は、アクセスポイントまたはハブを通して、RADIUS サーバー（認証サーバー）に認証要求を送信します。要求が RADIUS サーバーに確認されると、本製品はネットワークにアクセスすることができます。



関連情報

- [IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する](#)

Web Based Management を使用して有線または無線 LAN の IEEE 802.1x 認証を設定する

- EAP-TLS 認証を使用して本製品を設定する場合、設定の開始前に、CA により発行されたクライアント証明書を必ずインストールしてください。クライアント証明書については、ネットワーク管理者に問い合わせてください。複数の証明書をインストールした場合、使用する証明書の名前を書き留めておくことをお勧めします。
- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。



操作パネルから無線セットアップウィザードを使用して IEEE 802.1x 認証を設定することもできます（無線 LAN）。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
例：https://nec123456abcdef
- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. 次のいずれかを行ってください：
 - 有線 LAN の場合
有線 > 有線 802.1x 認証をクリックします。
 - 無線 LAN の場合
無線 > 無線（エンタープライズ）をクリックします。
6. IEEE 802.1x 認証を設定します。



- 有線 LAN の IEEE 802.1x 認証を有効にするには、**有線 802.1x 認証**ページの**有線 802.1x**で**有効**を選択します。
- EAP-TLS** 認証を使用している場合、検証のためにインストールされているクライアント証明書（証明書の名前付きで表示）、**クライアント証明書**ドロップダウンリストから選択する必要があります。
- EAP-FAST**、**PEAP**、**EAP-TTLS**、または **EAP-TLS** 認証を選択する場合は、**サーバー証明書の検証**ドロップダウンリストから検証方式を選択します。該当のサーバー証明書に署名した CA が発行し、あらかじめ製品にインポートされた CA 証明書を使用して、サーバー証明書を検証します。

サーバー証明書の検証ドロップダウンリストから、次の検証方式のいずれかを選択します。

項目	詳細
検証しない	このサーバー証明書は常に信頼できます。検証は実施されません。
CA 証明書	該当のサーバー証明書に署名した CA により発行された CA 証明書を使用して、サーバー証明書の CA 信頼性を確認する検証方法。
CA 証明書 + サーバー ID	共通名を確認する検証方法 *1 を確認する検証方法。

*1 共通名の検証では、サーバー証明書の共通名と、**サーバー ID** に設定された文字列を比較します。この方式を使用する前に、サーバー証明書の共通名についてシステム管理者に問い合わせ、**サーバー ID** を設定してください。

7. 設定が終了したら、**OK** をクリックします。

有線 LAN の場合：設定後、IEEE 802.1x がサポートされたネットワークに、使用製品を接続します。数分後、ネットワーク設定リストを印刷して、<**Wired IEEE 802.1x**> の状態を確認します。

項目	詳細
Success	有線の IEEE 802.1x 機能は有効で、認証は成功しました。
Failed	有線の IEEE 802.1x 機能は有効ですが、認証は失敗しました。
Off	有線の IEEE 802.1x 機能は利用不可です。



関連情報

- [IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する](#)

関連トピック：

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

IEEE 802.1x 認証方式

EAP-FAST

EAP-FAST（Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunneling）は、Cisco Systems 社が開発したプロトコルで、認証のためのユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用してトンネル認証プロセスを実現します。

本製品は、次の内部認証方式をサポートしています。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

EAP-MD5（有線 LAN）

EAP-MD5（Extensible Authentication Protocol-Message Digest Algorithm 5）はユーザー ID とパスワードを使用して、チャレンジ/レスポンス認証を行います。

PEAP

PEAP（Protected Extensible Authentication Protocol）は、Cisco Systems 社、Microsoft 社、および RSA セキュリティ社が開発した EAP 方式です。PEAP はユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に、暗号化した Secure Sockets Layer（SSL）/Transport Layer Security（TLS）トンネルを作成します。PEAP により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、次の内部認証をサポートしています。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

EAP-TTLS

EAP-TTLS（Extensible Authentication Protocol-Tunneled Transport Layer Security）は、ファンク・ソフトウェア社と Certicom 社によって開発されました。EAP-TTLS は、クライアントと認証サーバー間に、ユーザー ID およびパスワードを送信するための、PEAP 同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS により、サーバーとクライアント間の相互認証が行えます。

本製品は、次の内部認証をサポートしています。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

EAP-TLS

EAP-TLS（Extensible Authentication Protocol-Transport Layer Security）では、クライアントと認証サーバーのいずれにも、デジタル証明書認証が必要です。



関連情報

- [IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する](#)

■ セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

セキュリティ機能ロック 3.0 は、本製品で利用できる機能を制限し、安全性を高めます。

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に
- Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する
- セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する前に

セキュリティ機能ロックを使用してパスワードを設定し、特定のユーザーが次の機能の一部または全部にアクセスすることを許可します。

Web Based Management を使用して、次のセキュリティ機能ロック 3.0 設定値の設定や変更を行うことができます。

- **印刷**

印刷には、AirPrint を経由して送信される印刷ジョブが含まれます。

ユーザーのログイン名を事前に登録すると、ユーザーはパスワードの入力なしで印刷機能を使用できます。

- **枚数制限**

- **ページカウンター**



関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

Web Based Management を使用してセキュリティ機能ロック 3.0 を設定する

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
https://192.0.2.1
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限機能**または**制限管理**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、をクリックします。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK**をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **ユーザーリスト / 機能制限** 欄にグループ名またはユーザー名を入力します。
9. **印刷**およびその他の列で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
10. 最大ページ数を設定するには、**枚数制限**列の**オン**チェックボックスを選択し、**最大ページ数**欄で最大数を入力します。
11. **OK**をクリックします。
12. **ユーザーリスト**メニューをクリックします。
13. **ユーザーリスト**欄で、ユーザー名を入力します。
14. **パスワード**欄に、パスワードを入力します。
15. ユーザーごとにドロップダウンリストから**ユーザーリスト / 機能制限**を選択します。
16. **OK**をクリックします。



セキュリティ機能ロックメニューでユーザーリストのロックアウト設定を変更することもできます。



関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

セキュリティ機能ロック 3.0 のパブリックモードを設定する

セキュリティ機能ロック画面を使用してパブリックモードを設定します。これにより、パブリックユーザーに利用可能な機能が制限されます。パブリックユーザーは、パブリックモード設定により利用可能となった機能に、パスワードの入力なしでアクセスできます。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
https://192.0.2.1
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定** > **制限機能**または**制限管理**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、 をクリックします。

5. **セキュリティ機能ロック**を選択します。
6. **OK** をクリックします。
7. **機能制限**メニューをクリックします。
8. **一般モード**行で、チェックボックスを選択して一覧表示されている機能を許可するか、チェックボックスの選択を解除してこれらの機能を制限します。
9. **OK** をクリックします。



関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

セキュリティ機能ロック 3.0 その他の機能について

セキュリティ機能ロック画面で次の機能を設定します。

カウンターリセット

制限機能画面のページカウンター列で**カウンターリセット**をクリックして、ページカウンターをリセットします。

前回ログ

カウンターをリセットした後でページ数を確認したい場合は、**前回ログ**をクリックします。

CSV ファイルへ出力

前回ログ画面で **CSV ファイルへ出力**をクリックして、**ユーザーリスト / 機能制限**情報を含む現在および前回のページカウンターを、CSV ファイルとしてエクスポートします。



関連情報

- [セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する](#)

Eメールを安全に送信する

- Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う
- ユーザー認証を使用して E メールを送信する
- SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

Web Based Management を使用して E メール送信の設定を行う

Web Based Management を使用して、安全なユーザー認証付き E メール送信の設定、または SSL/TLS を使用した E メール送信の設定を行うことを推奨します。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。
例：
https://192.0.2.1
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「Pwd」と記載されています。

4. ナビゲーションメニューに移動して、**ネットワーク > ネットワーク > プロトコル**をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、**≡**をクリックします。

5. **SMTP クライアント**欄で、**詳細設定**をクリックして、**SMTP クライアント**の状態が**有効**であることを確認します。
6. **SMTP クライアント**の設定を行います。
 - テストメールを送信して、E-mail の設定値が正しいことを確認します。
 - SMTP サーバーの設定値が不明の場合は、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。
7. 完了後、**OK**をクリックします。
E メール送信設定テストダイアログボックスが表示されます。
8. ダイアログボックスに表示される指示に従って、現在の設定値をテストします。



関連情報

- [E メールを安全に送信する](#)

ユーザー認証を使用して Eメールを送信する

本製品は、ユーザー認証が必要な E-mail サーバーを経由して E-mail を送信するための SMTP-AUTH 方式をサポートしています。この方式により、非認証のユーザーによる E-mail サーバーへのアクセスが防止できます。

Eメール通知および Eメールレポートに、SMTP-AUTH 方式を使用できます。



Web Based Management を使用して SMTP 認証を設定することをお勧めします。

E-mail サーバー設定

本製品の SMTP 認証方式を、お使いの E-mail サーバーが使用する方式と一致するように設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。



SMTP サーバー認証を有効にするには、Web Based Management の**送信メールサーバー認証方式**の下にある **SMTP クライアント**画面で、**SMTP-AUTH** を選択する必要があります。



関連情報

- Eメールを安全に送信する

SSL/TLS を使用して安全な E-mail 送信を行う

本製品では SSL/TLS 通信方式をサポートしています。SSL/TLS 通信を使用している E-mail サーバーを使用するには、次の設定が必要です。



Web Based Management を使用して SSL/TLS を設定することを推奨します。

サーバー証明書を検証する

SSL/TLS で、SSL または TLS を選択している場合、**サーバー証明書を検証** チェックボックスが自動的に選択されます。



- サーバー証明書を検証する前に、該当のサーバー証明書に署名した CA 発行の、CA 証明書をインポートする必要があります。CA 証明書のインポートの必要性については、ネットワーク管理者または契約しているインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。
- サーバー証明書を検証する必要がない場合は、**サーバー証明書を検証** チェックボックスの選択を解除してください。

ポート番号

SSL または TLS を選択すると、**ポート**値がプロトコルと一致するように変更されます。手動でポート番号を変更するには、**SSL/TLS** 設定を選択した後、ポート番号を入力します。

本製品の通信方式を、お使いの E-mail サーバーで使用されている方式に合わせて設定する必要があります。お使いの E-mail サーバーの設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー（ISP）にお問い合わせください。

通常、安全なウェブメールサービスには次の設定が必要です。

SMTP	ポート	25
	送信メールサーバー認証方式	SMTP-AUTH
	SSL/TLS	TLS



関連情報

- [Eメールを安全に送信する](#)

関連トピック：

- [デバイスセキュリティの証明書を設定する](#)

操作パネルから製品の設定をロックする

本製品の設定ロックを有効にする前に、パスワードを必ずお控えください。パスワードを忘れた場合、管理者またはお買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせ、本製品に保存されているパスワードをすべてリセットする必要があります。

- [設定ロックの概要](#)

設定ロックの概要

設定ロック機能を使用して、製品への不正アクセスを防ぎます。

設定ロックがオンに設定されているとき、本製品の設定にアクセスするにはパスワードの入力が必要になります。

- [設定ロックパスワードを設定する](#)
- [設定ロックパスワードを変更する](#)
- [設定ロックをオンにする](#)

設定ロックパスワードを設定する

1. ▲または▼を押して、[基本設定] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[セキュリティ 設定ロック] を表示し、**OK** を押します。
3. パスワードに 4 桁の数値を入力します。
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK** を押します。
4. 画面に [パスワード 確認 :] と表示されたら、パスワードを再入力します。



関連情報

- [設定ロックの概要](#)

関連トピック：

- [本製品にテキストを入力するには](#)

設定ロックパスワードを変更する

1. ▲または▼を押して、[基本設定] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[セキュリティ 設定ロック] を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[パスワード 設定] を選択し、**OK** を押します。
4. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK** を押します。
5. 新しい 4 桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK** を押します。
6. 画面に [パスワード 確認 :] と表示されたら、パスワードを再入力します。



関連情報

- [設定ロックの概要](#)

設定ロックをオンにする

1. ▲または▼を押して、[基本設定] を表示し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[セキュリティ 設定ロック] を表示し、**OK** を押します。
3. 液晶ディスプレイに [わ] が表示されたら、**OK** を押します。
4. 現在の 4 桁のパスワードを入力します。
各数字を入力するには、▲または▼を押して数字を選択し、**OK** を押します。



関連情報

- [設定ロックの概要](#)

グローバルネットワーク検出機能を使う

プライベートネットワークで本製品を使用する場合、グローバルネットワーク検出機能を使用して、グローバルネットワークからの予期せぬ攻撃リスクを回避します。

- [グローバル IP アドレス検出を有効にする](#)
- [グローバルネットワークからの通信をブロックする](#)

グローバル IP アドレス検出を有効にする

この機能を使用して、お使いの製品の IP アドレスを確認します。お使いの製品にグローバル IP アドレスが割り当てられている場合、警告が表示されます。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[Global Detect] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Allow Detect] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[わ] を選択し、**OK** を押します。



関連情報

- [グローバルネットワーク検出機能を使う](#)

グローバルネットワークからの通信をブロックする



この機能を有効にすると、グローバル IP アドレスを持つ機器からのジョブの受信が制限されます。

1. ▲または▼を押して、[ネットワーク] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[Global Detect] を選択し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[Reject Access] を選択し、**OK** を押します。
4. ▲または▼を押して、[完了] を選択し、**OK** を押します。



関連情報

- [グローバルネットワーク検出機能を使う](#)

管理者

- ネットワーク機能
- セキュリティ機能

ネットワーク機能

- Web Based Management を使用して製品の設定を変更する
- ネットワーク設定リストを印刷する
- Web Based Management で SNMP プロトコルを設定する

セキュリティ機能

本製品には、ネットワークセキュリティの一部と暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能を全体的なネットワークセキュリティプランに統合することで、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。

- [ネットワークセキュリティ](#)
- [ユーザー認証](#)

ネットワークセキュリティ

- ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に
- デバイスセキュリティの証明書を設定する
- SSL/TLS を使用する
- SNMPv3 を使用する
- IPsec を使用する
- IEEE 802.1x 認証（有線または無線 LAN ネットワーク用）を使用する

ネットワークセキュリティ機能をご使用になる前に

本製品には、ネットワークセキュリティの一部と、暗号化プロトコルが使用されています。これらのネットワーク機能は、お使いの全体的なネットワークセキュリティプランの一部として、データを保護し、本製品への不正なアクセスを防ぐことができます。



Telnet および FTP サーバープロトコルを無効にすることをお勧めします。これらのプロトコルを使用した本製品へのアクセスは安全ではありません。



関連情報

- [セキュリティ](#)
- [ネットワークセキュリティ](#)
 - [不要なプロトコルを無効にする](#)

ユーザー認証

- セキュリティ機能ロック 3.0 を使用する

モバイル接続

- [AirPrint](#)
- [Print Utility](#)

AirPrint

- [AirPrint の概要](#)
- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)
- [AirPrint を使用して印刷する](#)

AirPrint の概要

AirPrint は、Apple Inc. が提供するプリントサービスです。プリンタードライバーや特別なソフトウェアをインストールすることなく、iPad や iPhone などの iOS 搭載機器や macOS のコンピューターから指示した文書を本機でプリントできます。

AirPrint の最新の情報については、Apple Inc. の公式サイトを参照してください。



関連情報

- [AirPrint](#)

関連トピック：

- [AirPrint の問題](#)

AirPrint を使用する前に (macOS)

macOS を使用して印刷を行う前に、本製品を Mac コンピューターのプリンター一覧に追加してください。

1. 次のいずれかを行ってください：
 - macOS 15、macOS 14 および macOS 13
アップルメニューから**システム設定**を選択します。
 - macOS 12
アップルメニューから**システム環境設定**を選択します。
2. **プリンタとスキャナ**を選択します。
3. 次のいずれかを行ってください：
 - macOS 15、macOS 14 および macOS 13
プリンタ、スキャナ、またはファクスを追加 ... をクリックします。
 - macOS 12
画面左側のプリンターリストの下にある [+] アイコンをクリックします。
プリンタを追加画面が表示されます。
4. 本製品を選択して、**ドライバ**ポップアップメニューから、お使いのモデル名を選択します。
5. **追加**をクリックします。



関連情報

- [AirPrint](#)

AirPrint を使用して印刷する

- iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する
- AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

iPad、iPhone、または iPod touch から印刷する

- 印刷手順はアプリケーションによって異なる場合があります。次の例では Safari を使用します。
- iPad、iPhone、または iPod touch を本製品と同じネットワークに接続するか、Wi-Fi Direct 機能を使用して本製品に接続します。詳細については「関連情報」をご覧ください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. 印刷するページを Safari で開きます。
4.  または  をタップします。
5. **プリント** をタップします。
6. 本製品が選択されていることを確認します。
7. 別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ** をタップします。
利用可能な製品の一覧が表示されます。
8. 一覧で本製品の名前をタップします。
9. 印刷枚数や両面印刷などを必要に応じて設定します。
10. **プリント** をタップします。



関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)
- [Wi-Fi Direct® を使用する](#)

AirPrint を使用して印刷を行う (macOS)

印刷の手順は、アプリケーションによって異なります。ここでは、Safari で閲覧しているウェブページの印刷手順を例にして説明します。印刷する前に、Mac のプリンターリストに本製品が追加されていることを確認してください。

1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. 用紙トレイに用紙をセットし、本製品の用紙トレイ設定を変更します。
3. お使いの Mac で、印刷するページを Safari で開きます。
4. **ファイル**メニューをクリックし、**プリント**を選択します。
5. 本製品が選択されていることを確認します。別の製品が選択されている場合や、本製品が選択されていない場合は、**プリンタ**のポップアップメニューをクリックし、本製品を選択します。
6. 印刷枚数や両面印刷などを必要に応じて設定します。
7. **プリント** をクリックします。



関連情報

- [AirPrint を使用して印刷する](#)

関連トピック：

- [AirPrint を使用する前に \(macOS\)](#)

Print Utility

Print Utility はスマートフォン / タブレット用のアプリケーションです。スマートフォン / タブレットからプリントの操作を行えます。App Store や Google Play からダウンロードできます。



関連情報

- [モバイル接続](#)
-

トラブルシューティング

本製品の使用時に生じやすい一般的な問題を解決するには、この章をご覧ください。

弊社純正以外の部品を使用すると、印刷品質、ハードウェア性能、および製品の信頼性に影響する場合があります。

次の点を確認してください。

- 本製品の電源コードが正しく接続され、本製品の電源がオンになっている。「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 本製品の保護部材がすべて取り外されている。「かんたん設置ガイド」をご覧ください。
- 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。
- 本製品とコンピューターにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されている。または、本製品とコンピューターの両方で無線接続が設定されている。
- エラーとメンテナンスメッセージ

各項目を確認しても問題が解決しない場合は、問題を特定し、「関連情報」をご覧ください。



関連情報

- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)
- [紙詰まり](#)
- [印刷の問題](#)
- [印刷品質の改善](#)
- [ネットワークの問題](#)
- [AirPrint の問題](#)
- [その他の問題](#)
- [本製品の情報を確認する](#)
- [リセット機能](#)

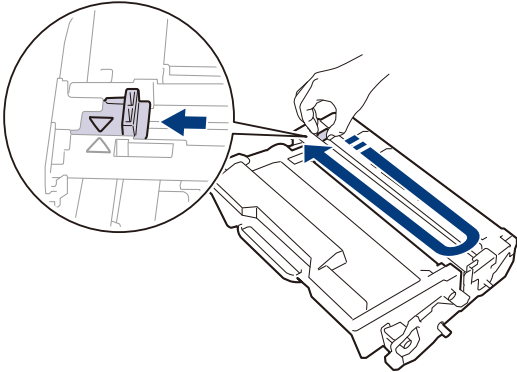
エラーメッセージとメンテナンスメッセージ

エラーが発生したり、消耗品の交換が必要な場合は、本製品はエラーや必要な定期メンテナンスを特定し、適切なメッセージを表示します。最も一般的なエラーおよびメンテナンスメッセージを表に記載します。

エラーを解決し、メッセージを消すには「**対処方法**」欄の指示に従ってください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[印刷できません ##] (## はエラーコードです)	製品に機械的な異常があります。	- 本製品の電源を切るには、 を長押しし、数分待ってから、電源をもう一度入れます。 - 問題が解決しない場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
[印刷データがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	Cancel を押して、以前保存した印刷データを削除します。
[印刷ページ数超過]	セキュリティ機能ロック 3.0 に設定された印刷の上限に達しました。	管理者に問い合わせて、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[カバーが開いています バックカバーを閉じてください]	定着ユニットカバーが完全に閉まっていません。	製品の背面排紙トレイの内側にある定着ユニットカバーを閉じます。
[カバーが開いています フロントカバーを閉じてください。]	フロントカバーが完全に閉まっていません。	本製品のフロントカバーを開け、しっかりと閉めます。
[紙詰まり 後ろ]	製品の後方で用紙が詰まっています。	定着ユニットカバーを開け、すべての詰まった用紙を取り除きます。定着ユニットカバーを閉じます。それでもエラーメッセージが表示される場合は、 Go を押します。
[紙詰まり MP トレイ]	多目的トレイの内側で用紙が詰まっています。	すべての詰まった用紙を多目的トレイの内側および周囲から取り除きます。 Go を押します。
[紙詰まり トレイ 1 トレイ 1 を引き出し、詰まった用紙を取り除いて下さい] [紙詰まり トレイ 2 トレイ 2 を引き出し、詰まった用紙を取り除いて下さい] [紙詰まり トレイ 3 トレイ 3 を引き出し、詰まった用紙を取り除いて下さい]	表示された用紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを引き出してすべての詰まった用紙を取り除きます。
[紙詰まり 内部]	製品の内部で用紙が詰まっています。	フロントカバーを開けてトナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを取り外し、すべての詰まった用紙を引き出します。フロントカバーを閉じます。
[紙詰まり 両面]	両面トレイまたは背面排紙トレイの内側で用紙が詰まっています。	両面トレイを取り外し、背面排紙トレイを開けてすべての詰まった用紙を引き出します。
[サイズ エラー]	選択した用紙トレイが、プリンタードライバーで指定された用紙サイズに対応していません。	プリンタードライバーで選択した用紙サイズと選択したトレイにセットされている用紙サイズが一致するように、プリンタードライバーの設定または本製品のトレイの設定を変更してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[サイズエラー 両面]	本製品の用紙サイズ設定で指定された用紙サイズは、自動両面印刷に適していません。	(必要な場合は) Go を約 2 秒間長押しします。
	トレイにセットされている用紙サイズが正しくないか、自動両面印刷に適していない用紙です。	トレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 両面印刷に適している用紙サイズを選択します。 自動両面印刷に適している用紙サイズは A4 です。
[使用不能な USB 機器です]	サポートされていない USB 機器が、USB ポートに接続されています。	• USB ポートから該当機器を外します。 •  を長押しして本製品の電源を切り、電源をもう一度入れます。
	不良 USB 機器または高電力消費量の USB 機器が、USB ポートに接続されています。	
[T1 用紙変更しましたか?]	標準用紙トレイが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	標準用紙トレイを再度取り付けます。
[トナーがセットされていません フロントカバーを開けて、トナーを取り付けてください。]	トナーカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを取り外します。ドラムカートリッジからトナーカートリッジをいったん取り外し、ドラムカートリッジにもう一度取り付けます。 トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再度取り付けます。問題が解決しない場合は、トナーカートリッジを新しいものに交換します。 詳しくは「 トナーカートリッジを交換する 」をご覧ください。
[トナー交換]	トナーカートリッジが寿命に達しました。本製品はすべての印刷操作を停止します。	トナーカートリッジを新しいものに交換してください。 詳しくは「 トナーカートリッジを交換する 」をご覧ください。
[トナーを検知できません]	トナーカートリッジを検出できません。	トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを取り外します。ドラムカートリッジからトナーカートリッジをいったん取り外し、ドラムカートリッジにもう一度取り付けます。 トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再度取り付けます。 詳しくは「 トナーカートリッジを交換する 」をご覧ください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[ドラム お手入れ フロントカバーを開けてドラムユニットについているグリーンのつまみを左右に動かしてください]	ドラムカートリッジのコロナワイヤーを清掃する必要があります。	ドラムカートリッジのコロナワイヤーを清掃してください。  詳しくは「コロナワイヤーを清掃する」をご覧ください。 問題が解決しない場合は、ドラムカートリッジを新しいものに交換します。
	ドラムカートリッジまたは、トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットが正しく取り付けられていません。	ドラムカートリッジを取り外した後、ドラムカートリッジからトナーカートリッジをいったん取り外し、ドラムカートリッジにもう一度取り付けます。ドラムカートリッジを、本製品にもう一度取り付けます。
[ドラム交換]	ドラムカートリッジの交換時期です。	ドラムカートリッジを新しいものに交換してください。 詳しくは「ドラムカートリッジを交換する」をご覧ください。
[ドラムユニットがありません フロントカバーを開けて、ドラムユニットを取り付けてください。]	ドラムカートリッジが正しく取り付けられていません。	トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを再装着します。 詳しくは「ドラムカートリッジを交換する」をご覧ください。
[トレイ 1 が開いています] [トレイ 2 が開いています] [トレイ 3 が開いています]	用紙トレイが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを再装着します。
[トレイが多すぎます]	装着されているトレイモジュール（オプション）の数が最大数を超えました。	トレイモジュール（オプション）の数を減らしてください。
[排紙トレイがいっぱいです]	排紙トレイが一杯です。	上面排紙トレイから印刷済みの用紙を取り除きます。
[ヒーター確認中]	定着ユニットが正しく動作しません。	 を長押しして本製品の電源を切り、数秒待ってから、電源をもう一度入れます。電源を入れたまま、製品を 15 分間待機状態にします。
	定着ユニットが熱すぎます。	
[まもなくトナー交換]	液晶ディスプレイにこのメッセージが表示されても、まだ印刷できます。トナーカートリッジの寿命が近づいています。	新しいトナーカートリッジを注文して、画面に[トナー交換]と表示された場合に、すぐに交換できるようにします。
[まもなくドラム交換]	ドラムカートリッジの寿命が近づいています。	画面に[ドラム交換]が表示される前に新しいドラムカートリッジを注文してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[まもなく用紙切れ トレイ 1] [まもなく用紙切れ トレイ 2] [まもなく用紙切れ トレイ 3]	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになります。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに用紙をセットします。
[メリがいっぱいです]	製品のメモリーが一杯です。	Go を約 2 秒間長押しして印刷解像度を低くします。
[用紙がありません]	用紙がないか、用紙トレイに用紙が正しくセットされていません。	- 用紙トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 - 用紙トレイに用紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 - 用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。 これらの対処でエラーが解決しない場合は、  を長押しして本製品の電源を切り、電源をもう一度入れてから用紙トレイに用紙をセットしてください。
[用紙がありません MP]	多目的トレイの用紙が切れているか、多目的トレイに用紙が正しくセットされていません。	次のいずれかを行ってください： - 多目的トレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 - 用紙トレイに用紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。
[用紙がありません トレイ 1] [用紙がありません トレイ 2] [用紙がありません トレイ 3]	指定した用紙トレイから用紙を給紙できません。	次のいずれかを行ってください： - 液晶ディスプレイに表示されたトレイに用紙をセットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 - 用紙トレイに用紙が残っている場合は取り出し、もう一度セットします。用紙ガイドが正しいサイズに設定されていることを確認します。 - 用紙トレイに用紙を入れすぎないでください。
[用紙サイズが合いません]	トレイの用紙サイズが正しくありません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイに正しいサイズの用紙をセットし、トレイの設定をその用紙サイズに合わせます。 Go を押します。
[用紙種類が違います]	プリンタードライバーで指定された用紙種類が本製品のメニューで指定された用紙タイプと一致しません。	画面に表示されたトレイに正しいタイプの用紙をセットして、本製品の用紙タイプ設定で正しい用紙タイプを選択してください。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[用紙を送れません トレイ 1 用紙を送れません。トレイ 1 に用紙を入れなおしてください。] [用紙を送れません トレイ 2 用紙を送れません。トレイ 2 に用紙を入れなおしてください。] [用紙を送れません トレイ 3 用紙を送れません。トレイ 3 に用紙を入れなおしてください。]	指定した用紙トレイから用紙を給紙できません。	液晶ディスプレイに表示されたトレイを引き出してすべての詰まった用紙を取り除きます。 Go を押します。
[利用できません]	使用する機能は、セキュリティ機能ロック 3.0 により制限されています。	管理者に問い合わせ、お客様のセキュリティ機能ロックの設定値を確認します。
[両面印刷できません]	製品の背面排紙トレイが完全に閉まっていません。	本製品の背面排紙トレイを、閉じた状態で固定されるまでしっかりと閉めます。
	両面トレイが完全に装着されていません。	両面トレイを本製品へしっかりと装着します。
[冷却中]	本製品内側の温度が高すぎます。現在の印刷ジョブを一時停止し、冷却モードに入ります。	本製品が冷却を終了するまでお待ちください。障害物で排気口をふさがないようにしてください。 本製品の冷却が終了すると、印刷を再開します。



関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [コロナワイヤーを清掃する](#)
- [トナーカートリッジを交換する](#)
- [ドラムカートリッジを交換する](#)

紙詰まり

用紙を追加する場合は、必ずトレイにある残りの用紙を一度出し、追加する用紙と一緒にばらつきがないようにまとめてください。これにより、複数枚の紙が同時に給紙され、紙詰まりを起こすのを防ぎます。

- [紙詰まりの解消](#)
- [多目的トレイで紙が詰まっている](#)
- [用紙トレイで紙が詰まっている](#)
- [製品の背面で紙が詰まっている](#)
- [製品の内部で紙が詰まっている](#)
- [両面トレイの内部で紙が詰まっている](#)

紙詰まりの解消

用紙が詰まったり、重送が頻繁に起こる場合は、次の操作を行ってください。

- 用紙トレイの給紙ローラーと分離パッドを清掃する。
- 用紙をトレイに正しくセットする。
- 本製品に正しい用紙サイズと用紙タイプを設定する。
- お使いのコンピューターに正しい用紙サイズと用紙タイプを設定する。
- 推奨されている用紙を使用する。

詳しくは「関連情報」をご覧ください。



関連情報

- [紙詰まり](#)

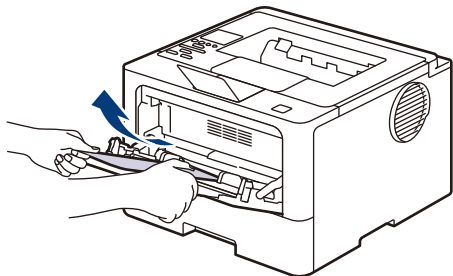
関連トピック：

- [給紙ローラーを清掃する](#)
- [用紙のセット](#)
- [用紙設定](#)
- [文書を印刷する（Windows）](#)
- [AirPrint を使用して印刷する](#)
- [特殊用紙を使用する](#)

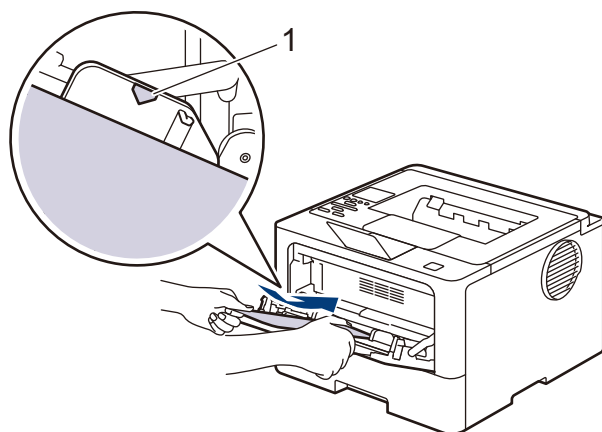
多目的トレイで紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが多目的トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 多目的トレイから用紙を取り除きます。
2. すべての詰まった用紙を多目的トレイの内側および周囲からゆっくりと取り除きます。



3. 用紙の束をさばいてから、トレイ両側の最大用紙容量マーク（1）を超えないように、多目的トレイにもう一度セットしてください。



4. 本製品の液晶ディスプレイに表示される指示に従ってください。



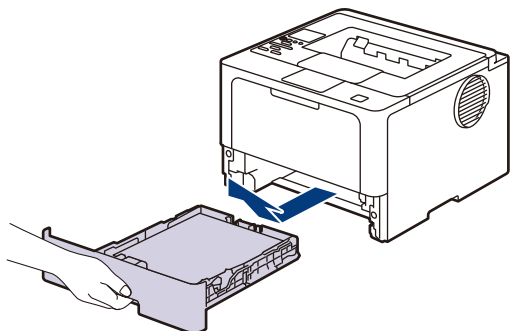
関連情報

- [紙詰まり](#)

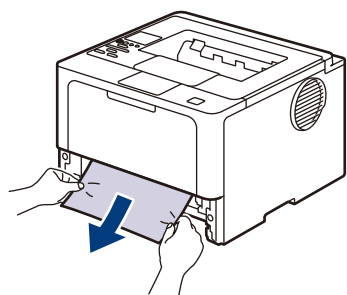
用紙トレイで紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマonitorが用紙トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 用紙トレイを止まるまで引き出し、トレイを持ち上げて、本製品から完全に引き抜きます。

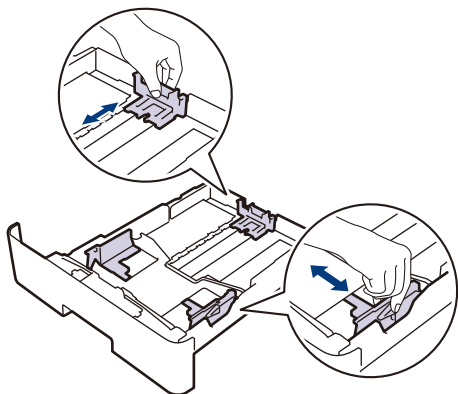


2. トレイからいったんすべての用紙を取り出します。
3. 詰まった紙をゆっくりと引き抜きます。

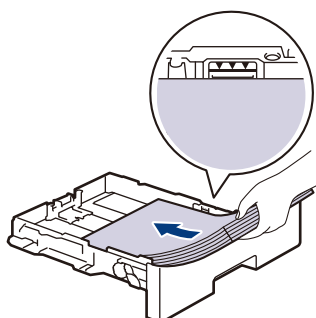


両手で詰まった紙を下方方向に引っ張ると紙を簡単に取り除くことができます。

4. 用紙サイズに合わせて用紙ガイドを調整します。



5. 用紙の束をさばいてから、用紙トレイに用紙をセットして、用紙の束が最大用紙容量マーク（)よりも下になっていることを確認します。



6. 用紙トレイを本製品にしっかりと取り付けます。



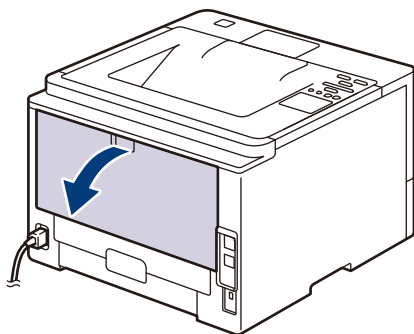
関連情報

- [紙詰まり](#)
-

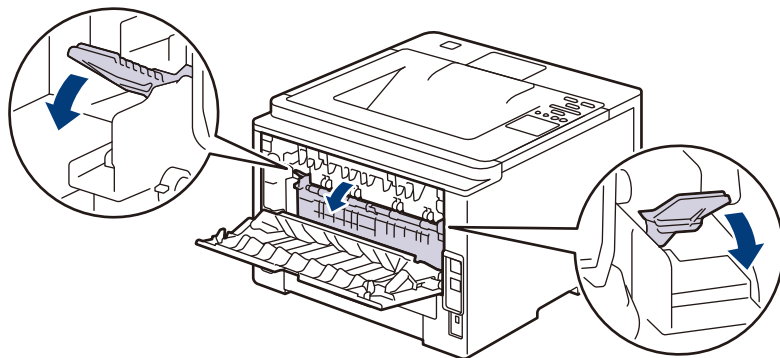
製品の背面で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが背面に紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. 背面排紙トレイを開きます。



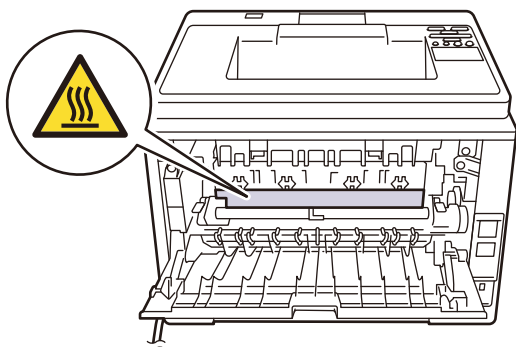
3. 左右の緑色のレバーを手前に引いて、定着ユニットカバーを開けます。



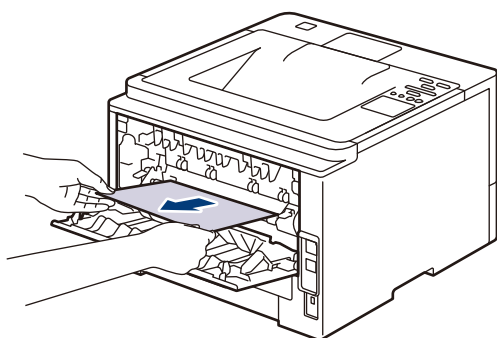
⚠ 警告

高温注意

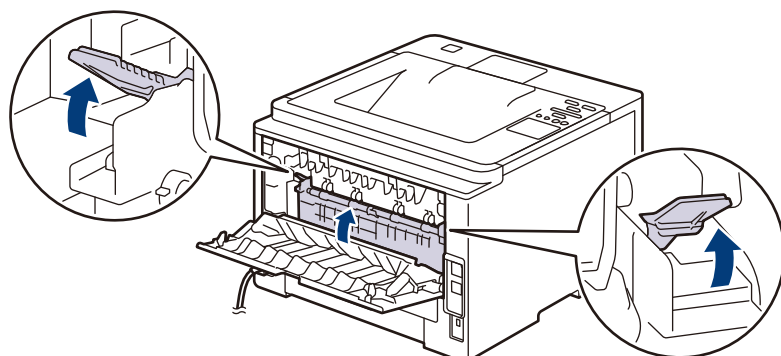
本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。



4. 両手を使って、詰まっている用紙を本体から慎重に引き抜きます。



5. 定着ユニットカバーを閉じます。



6. 背面排紙トレイが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

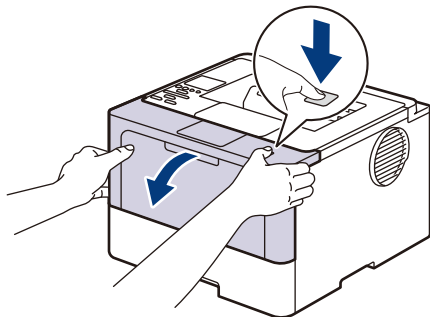
関連情報

- [紙詰まり](#)

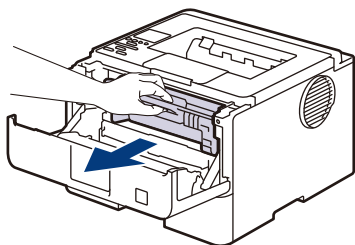
製品の内部で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマonitorが内部に紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. フロントカバーオープンボタンを押して、フロントカバーを開けます。



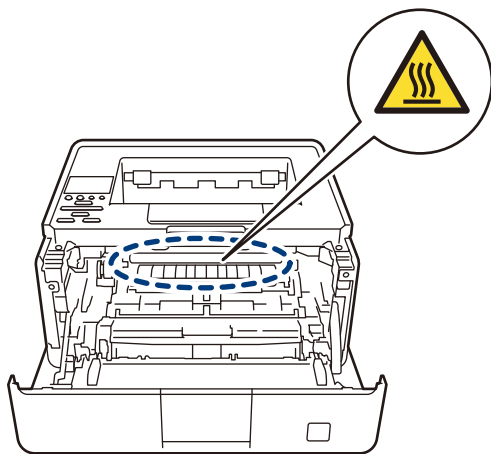
3. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを取り外します。



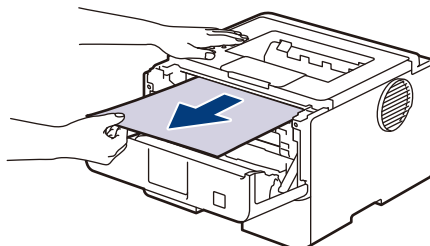
⚠ 警告

高温注意

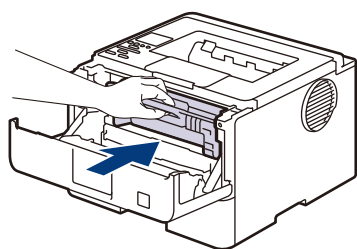
本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。



4. 詰まった紙をゆっくりと引き抜きます。



5. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再装着します。



6. フロントカバーを閉じます。



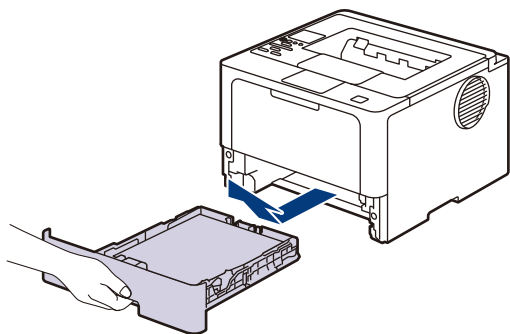
関連情報

- [紙詰まり](#)

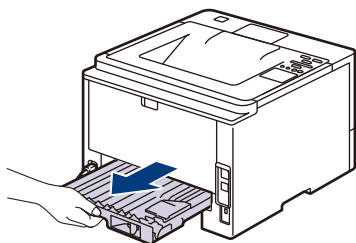
両面トレイの内部で紙が詰まっている

本製品の操作パネルまたはステータスマニターが両面用紙トレイに紙詰まりがあることを示している場合は、次の手順に従ってください。

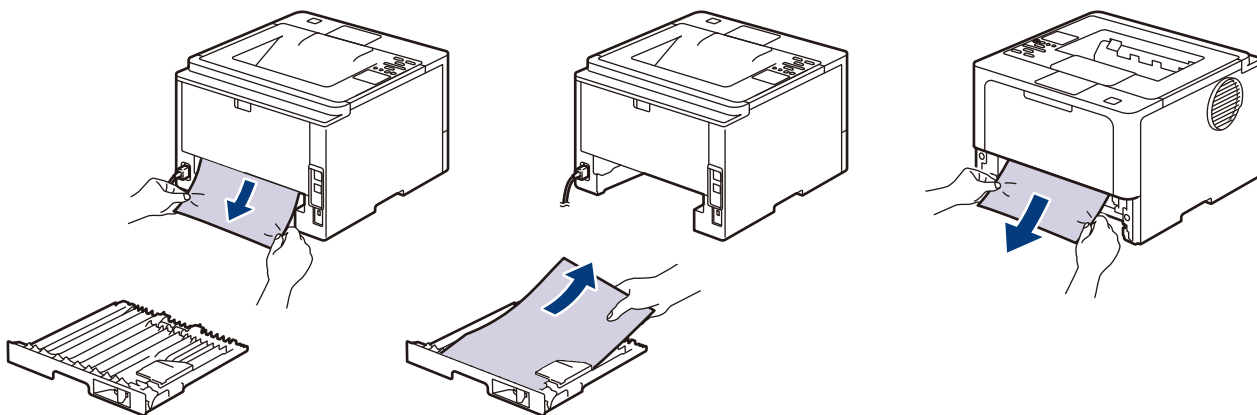
1. 本製品の電源を入れたまま 10 分間放置して、本製品内部の非常に高温の部品が内蔵ファンにより冷却されるのを待ちます。
2. 用紙トレイを止まるまで引き出し、トレイを持ち上げて、本製品から完全に引き抜きます。



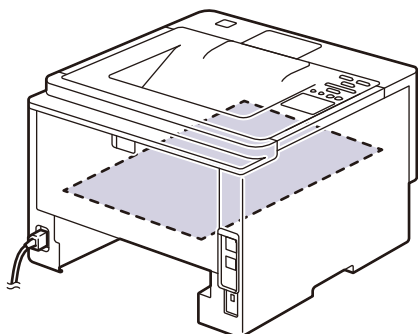
3. 本製品の背面で両面トレイを本製品から完全に引き出します。



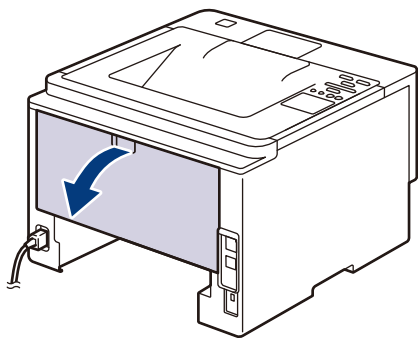
4. 詰まっている紙を本製品または両面トレイから引き抜きます。



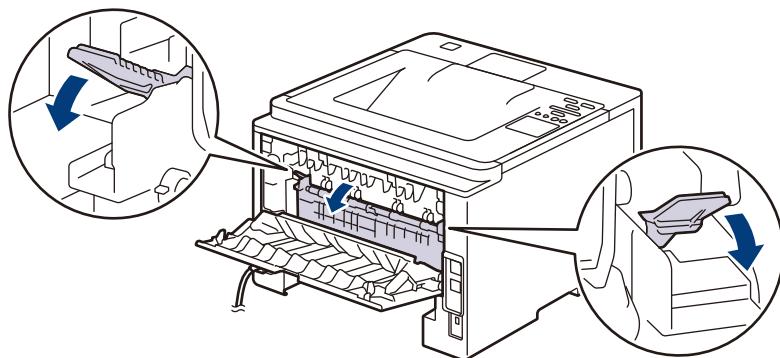
5. 静電気により製品内に詰まった紙を取り除きます。



6. 紙が両面トレイ内がない場合、背面排紙トレイを開きます。



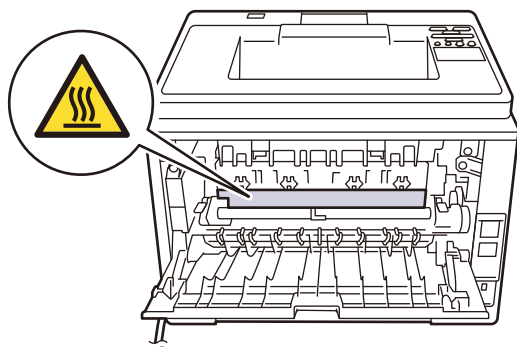
7. 左右の緑色のレバーを手前に引いて、定着ユニットカバーを開けます。



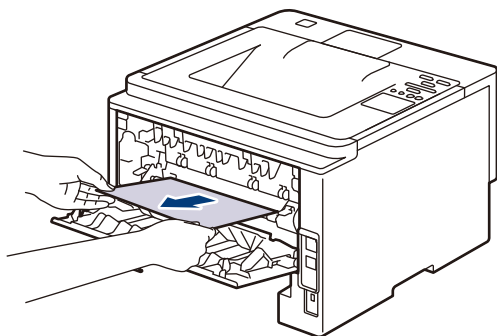
⚠ 警告

高温注意

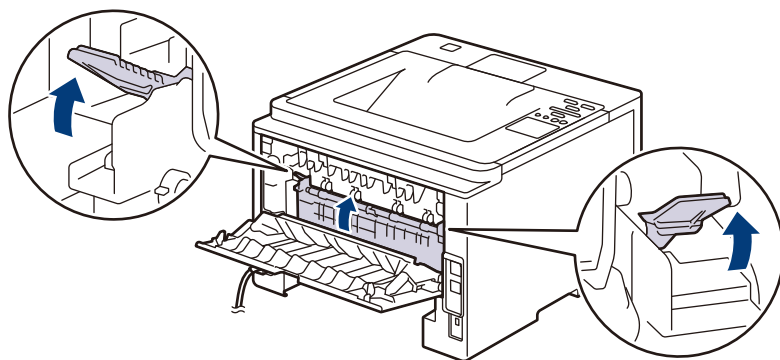
本製品の内部部品は非常に高温になります。本製品の温度が下がるまで手を触れないでください。



8. 両手を使って、詰まっている用紙を本体から慎重に引き抜きます。



9. 定着ユニットカバーを閉じます。



10. 本製品の背面排紙トレイが閉位置に固定されるまで完全に閉じます。

11. 本製品の背面に両面トレイをしっかりと設置します。

12. 本製品の前面に用紙トレイをしっかりと設置します。



関連情報

- [紙詰まり](#)

印刷の問題

問題	対応
印刷されません。	本製品の電源が切れていないことを確認します。 本製品の電源が切れている場合、を押して電源を入れ、印刷データを再送信します。 適切にプリンタードライバーがインストールされ、選択されていることを確認します。 ステータスマニターか操作パネルがエラーを表示しているかを確認します。 本製品がオンラインであることを確認します。 - Windows 11、Windows Server 2025  > 設定をクリックします。Bluetoothとデバイス > デバイスを選択し、関連設定のその他のデバイスとプリンターの設定をクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックします。印刷ジョブの表示をクリックします。プリンタードライバーの候補が表示された場合は、お使いのプリンタードライバーを選択します。メニューバーでプリンターを選択し、プリンターをオフラインで使用するが選択されていないことを確認します。 - Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022  > 設定をクリックします。デバイスを選択し、関連設定のデバイスとプリンターをクリックします。お使いのモデルのアイコンを右クリックします。印刷ジョブの表示をクリックします。プリンタードライバーの候補が表示された場合は、お使いのプリンタードライバーを選択します。メニューバーでプリンターを選択し、プリンターをオフラインで使用するが選択されていないことを確認します。
印刷されません、または、印刷を停止しました。	印刷ジョブをキャンセルします。印刷が完了していない可能性があります。印刷データを再送信してください。 詳しくは「印刷ジョブをキャンセルする」をご覧ください。
ヘッダーやフッターが画面上の文書には表示されますが、印刷すると出てきません。	ページの上部と下部に印刷できない領域があります。この領域を考慮に入れて、文書の上下の余白を調整してください。
本製品が予期せず印刷したり、不要なデータを印刷したりします。	印刷ジョブをキャンセルします。印刷が完了していない可能性があります。印刷データを再送信してください。 詳しくは「印刷ジョブをキャンセルする」をご覧ください。 アプリケーションの設定を確認し、本製品と連携できているかを確認してください。 アプリケーションの印刷画面で、本製品のプリンタードライバーが選択されていることを確認します。

問題	対応
本製品で、最初の 2 ページは正しく印刷されますが、その後のページにテキストがありません。	アプリケーションの設定を確認し、本製品と連携できているかを確認してください。
	本製品がコンピューターから送信されたすべてのデータをまだ受信していません。インターフェイスに対応したケーブルを正しく接続したことを確認します。
本製品で、プリンタードライバーの設定が両面印刷であり、自動両面印刷がサポートされているにもかかわらず、用紙の両面印刷ができません。	プリンタードライバーの用紙サイズ設定を確認します。A4 の用紙を選択する必要があります。対応する用紙坪量は、60 ～ 105 g/m ² です。
印刷速度が遅すぎます。	プリンタードライバーで解像度を下げてください。
	静音モードが有効の場合、プリンタードライバーまたは本製品のメニューで無効にします。
	連続印刷する場合、製品内部の温度を下げるために、自動的に印刷速度が下がる場合があります。
本製品が用紙トレイから用紙を送りません。	用紙トレイに用紙が残っている場合は、曲がっていないか確認します。用紙がカールしている場合は、まっすぐな状態に伸ばします。一旦用紙の束を取り出し、ひっくり返してから用紙トレイに戻すと問題が解決する場合があります。
	用紙をよくさばき、用紙トレイに戻します。
	用紙トレイにある用紙の量を減らし、再度印刷してください。
	多目的トレイ が、プリンタードライバーの 給紙方法 で選択されていないことを確認してください。
	給紙ローラーを清掃してください。
本製品が多目的トレイから用紙を送りません。	用紙をよくさばいてから、多目的トレイにもう一度セットしてください。
	多目的トレイ が、プリンタードライバーの 給紙方法 で選択されていることを確認してください。
封筒が送られません。	封筒を多目的トレイにセットします。なおアプリケーションで、お使いの封筒のサイズに合わせた印刷設定を行う必要があります。通常アプリケーションのページ設定メニューやドキュメント設定メニューで設定できません。
印刷位置がレターヘッドや事前に印刷されているオブジェクトとずれています。	各用紙トレイの印刷位置の設定で印刷位置を調整してください。



関連情報

- [トラブルシューティング](#)

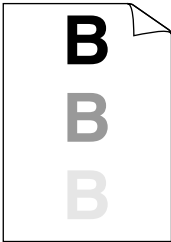
関連トピック：

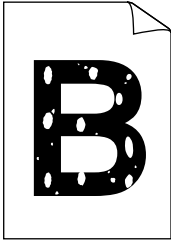
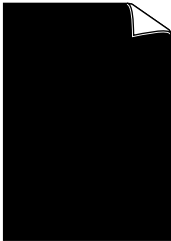
- [お使いのコンピューターから本製品の状態を確認する（Windows）](#)
- [印刷ジョブをキャンセルする](#)
- [用紙トレイに用紙をセットして印刷する](#)
- [給紙ローラーを清掃する](#)
- [多目的トレイに用紙をセットして印刷する](#)

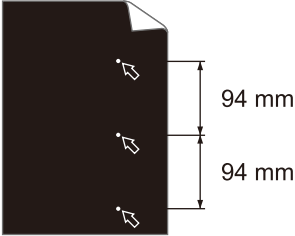
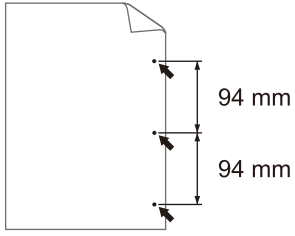
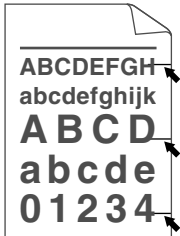
印刷品質の改善

印刷品質に問題がある場合は、テストページを印刷します。印刷物に問題がなければ、本製品の問題ではないと考えられます。インターフェースケーブルの接続を確認し、他の原稿を印刷してみてください。本製品からの印刷物またはテストページに品質問題がある場合は、印刷品質の例を参照し、表の推奨事項に従います。

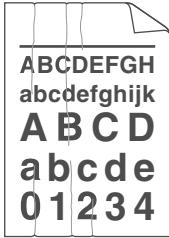
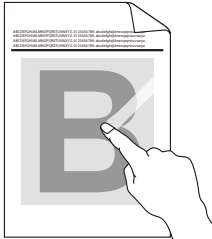
1. 高品質の印刷を行うために、推奨される印刷用紙をご利用ください。仕様どおりの用紙をお使いください。
2. トナーカートリッジとドラムカートリッジが正しく取り付けられているかを確認してください。

印字品質が低い例	推奨
 ぼやける	• 本製品にトナー交換のステータスが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換します。 • 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境に設置すると、正常に印刷できなくなる場合があります。 • ページ全体の色が薄い場合は、トナー節約モードがオンになっている場合があります。本製品のメニュー設定またはプリンタードライバーでトナー節約モードをオフにします。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • ドラムカートリッジのコロナワイヤーを清掃してください。 • トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムカートリッジを新品に交換します。
 灰色の背景	• 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境では、背景に陰影がつきやすくなります。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムカートリッジを新品に交換します。
 画像が何度も現れる	• 本製品の設置環境を確認します。乾燥や低温の環境は、印刷品質の問題の原因となる場合があります。 • プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択します。 • メニュー設定で適切な用紙タイプを選択します。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • ドラムカートリッジを新品に交換します。 • トナーカートリッジを新品に交換します。 • 定着ユニットが損傷している可能性があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

印字品質が低い例	推奨
 斑点が付く	• プリンタードライバーの用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。 • 定着ユニットが損傷している可能性があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
 空洞ができる	• プリンタードライバーで 厚紙 モードを選択するか、現在よりも薄い用紙を使用します。 • メニュー設定で適切な用紙タイプを選択します。 • 本製品の設置環境を確認します。多湿の環境は、印刷文字に空洞ができる原因となります。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。
 全面黒で印刷される	• ドラムカートリッジ内のコロナワイヤーを清掃してください。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。
 ページ全体に白線が入る	• プリンタードライバーで適切な用紙種類を選択します。 • メニュー設定で適切な用紙タイプを選択します。 • この問題は自然に解決することがあります。この問題を解決するには、複数の空白ページを印刷します（特に、長期間に渡って本製品を使用していなかった場合）。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。
 ページ全体に線が入る	• ドラムカートリッジを清掃してください。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。

印字品質が低い例	推奨
 ページ全体に白線、帯または縞状の色むらが出る	• 本製品の設置環境を確認します。高温多湿の環境は、印刷品質の問題の原因となる場合があります。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • 複数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムカートリッジを新品に交換します。
 黒いテキストとグラフィクスに 94 ミリ間隔で白点が付く  94 ミリ間隔で黒点が付く	• 複数ページ印刷しても問題が解決しない場合は、ドラムカートリッジのドラムにラベルの糊などの異物が付着している可能性があります。ドラムカートリッジを清掃してください。 詳しくは「ドラムカートリッジを清掃する」をご覧ください。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。
 ページ全体に黒いトナーの跡が付く	• ラベルシートを使用すると、シートの糊がドラム表面に付着する場合があります。ドラムカートリッジを清掃してください。 詳しくは「ドラムカートリッジを清掃する」をご覧ください。 • クリップやステープル針の付いた用紙を使用すると、ドラムカートリッジが損傷する場合があります。 • ドラムカートリッジを開封したまま直射日光の当たる場所（または室内照明の当たる場所に長期間）に置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。 • ドラムカートリッジを清掃してください。 • トナーカートリッジが損傷している可能性があります。トナーカートリッジを新品に交換します。 • ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。

印字品質が低い例	推奨
ページの下部に黒線が入る 印刷物の下部にトナーの汚れが付着する	● 緑色のタブをスライドし、ドラムカートリッジ内のコロナワイヤーを清掃します。 コロナワイヤーの緑色のタブが元の位置 (1) にあることを確認します。 ● トナーカートリッジが損傷している可能性があります。トナーカートリッジを新品に交換します。 ● ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。 ● 定着ユニットが損傷している可能性があります。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
ページ下部に白線が入る	● 破けた紙片、付箋または埃などの異物が、本製品内またはトナーカートリッジやドラムカートリッジ周辺にないことを確認します。 ● トナーカートリッジが損傷している可能性があります。トナーカートリッジを新品に交換します。 ● ドラムカートリッジが損傷している可能性があります。ドラムカートリッジを新品に交換します。
画像が歪む	● 紙またはその他の印刷用紙が正しく用紙トレイにセットされ、用紙ガイドが適切な位置にあることを確認します。 ● 用紙ガイドを正確に合わせます。 ● 用紙トレイに用紙を入れ過ぎている可能性があります。 ● 用紙タイプと品質を確認します。 ● 本製品内に破れた紙などの紙片がないかを確認します。 ● 自動両面印刷を行うときにのみ問題が発生する場合は、両面トレイに破れた紙が残っていないかを確認します。両面トレイが完全に挿入され背面排紙トレイが完全に閉まっていることを確認します。

印字品質が低い例	推奨
 画像が曲がっている／波打っている	• 用紙タイプと品質を確認します。高温多湿の環境下にあると、用紙が曲がってしまいます。 • 本製品を頻繁に使用しない場合、用紙が用紙トレイに長期間置かれていることがあります。用紙トレイの用紙の束を裏返します。また、用紙をさばいてから、用紙トレイでその向きを 180 度回転させます。 • 背面排紙トレイを開き、背面排紙トレイに印刷済みの用紙を排紙できるようにします。 • 弊社推奨の印刷用紙を使用しない場合は、プリンタードライバーで 用紙のカールを軽減するモード を選択します。
 しわまたは折り目が付く	• 用紙が正しくセットされていることを確認します。 • 用紙タイプと品質を確認します。 • トレイの用紙の束を裏返すか、給紙トレイの用紙を 180 度回転させます。
 定着不良	• プリンタードライバーの用紙種類設定が、お使いの用紙と一致していることを確認します。 • プリンタードライバーで トナーの定着を改善するモード を選択します。 それでも改善されない場合は、用紙種類のプリンタードライバーの設定を厚紙設定に変更します。封筒に印刷する場合は、用紙種類設定で封筒（厚め）を選択します。
 封筒がよじれてしまう	• 封筒を印刷するときは背面排紙トレイが開いた状態であることを確認します。 • 封筒が多目的トレイから送られていることを確認します。

関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [テスト印刷](#)
- [トナーカートリッジを交換する](#)
- [トナー消費量の削減](#)
- [ドラムカートリッジを交換する](#)
- [ドラムカートリッジを清掃する](#)

ネットワークの問題

- [エラーメッセージ](#)
- [本製品のネットワーク設定を確認する](#)
- [本製品のネットワークに問題がある場合](#)

エラーメッセージ

最も一般的なエラーメッセージを表に記載します。

エラーメッセージ	原因	対処方法
[他のデバイスと接続中です] [OKボタンを押してください]	本製品がグループオーナーのときに、4つのモバイル端末がすでに Wi-Fi Direct ネットワークに接続されています。	本製品と他のモバイル端末との接続が切れてから、Wi-Fi Direct をもう一度設定してください。接続状態は、ネットワーク設定リストを印刷して確認することができます。
[接続エラー]	他の機器が同時に、Wi-Fi Direct ネットワークに接続しようとしています。	Wi-Fi Direct への接続を試みている機器がないことを確認してから、Wi-Fi Direct の設定をもう一度行います。
[接続に失敗しました]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定中に、本製品とお使いのモバイル端末が通信できません。	- モバイル端末を本製品に近づけます。 - 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。 - WPS の PIN 方式を使用している場合、PIN コードは必ず正確に入力してください。
[デバイスが見つかりません]	Wi-Fi Direct ネットワークの設定時に、本製品がお使いのモバイル端末を認識できません。	- 本製品とお使いのモバイル端末が、Wi-Fi Direct モードであることを確認します。 - モバイル端末を本製品に近づけます。 - 本製品とモバイル端末を、障害物のない場所に移動します。 - Wi-Fi Direct を手動で設定する場合、パスワードが正しく入力されたことを確認します。 - お使いのモバイル端末に IP アドレスを取得するための設定ページがある場合、モバイル端末の IP アドレスが DHCP を通して設定されたことを確認します。
[時計が未設定です。管理者に問い合わせてください。]	本製品は、SNTP タイムサーバーから時間を取得しません。	SNTP タイムサーバーにアクセスするための設定値が、Web Based Management を使用して正しく設定されていることを確認します。



関連情報

- [ネットワークの問題](#)

関連トピック：

- [ネットワーク設定リストを印刷する](#)

■ 本製品のネットワーク設定を確認する

- [ネットワーク設定リストを印刷する](#)

本製品のネットワークに問題がある場合

本製品のネットワーク環境に問題があると思われる場合は、次の項目を確認してください。

- [無線 LAN ネットワーク設定を完了できない](#)
- [本製品で、ネットワーク経由の印刷ができない](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)

無線 LAN ネットワーク設定を完了できない

無線 LAN アクセスポイント / ルーターの電源を切って、電源を入れ直してください。その後で、再度、無線設定を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、次の手順に従ってください。

無線 LAN レポートで問題について調べます。

原因	対処方法	インターフェイス
セキュリティの設定 (SSID / ネットワークキー) が正しくありません。	セキュリティ設定が正しいことを確認します。 - セキュリティ設定については、お使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターに付属の取扱説明書をご覧ください。 - セキュリティの初期設定に、無線 LAN アクセスポイント / ルーターの製造元の名前やモデル番号が使用されている可能性があります。 - アクセスポイント / ルーターの製造元、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者に確認します。	無線 LAN
本製品の MAC アドレスが許可されていません。	本製品の MAC アドレスがフィルターで許可されていることを確認してください。 MAC アドレスは、本製品の操作パネルで確認できます。	無線 LAN
無線 LAN アクセスポイント / ルーターが、ステルスモード (SSID を表示させない設定) です。	• 正しい SSID またはネットワークキーを手動で入力します。 • お使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターに付属の取扱説明書に記載されている SSID やネットワークキーを確認し、無線 LAN ネットワークを再設定します。	無線 LAN
セキュリティの設定 (SSID / パスワード) に誤りがあります。	SSID とパスワードを確認します。 ネットワークを手動で設定する際、本製品に SSID とパスワードが表示されます。お使いのモバイル端末が手動設定に対応している場合は、お使いのモバイル端末の画面に SSID とパスワードが表示されます。	Wi-Fi Direct
Android™ 4.0 を使用しています。	モバイル端末との接続が切れる場合 (Wi-Fi Direct を約 6 分使用した後) は、WPS によるワンプッシュ方式を使用して (推奨)、本製品をグループオーナーに設定してみてください。	Wi-Fi Direct
本製品とモバイル端末が離れすぎています。	Wi-Fi Direct のネットワーク設定を行うときは、本製品とモバイル端末を 1 メートル程度まで近づけてください。	Wi-Fi Direct
本製品とモバイル端末の間に、障害物 (壁や家具など) があります。	本製品を障害物のない場所へ移動してください。	Wi-Fi Direct
本製品またはモバイル端末の近くに、無線コンピューター、Bluetooth® 対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話があります。	これらすべての機器を、本製品とモバイル端末から離してください。	Wi-Fi Direct
上記をすべて確認した後も、Wi-Fi Direct の設定ができない場合：	• 本製品の電源を切って、電源を入れ直してください。Wi-Fi Direct 設定をもう一度行います。 • 本製品をクライアントとして使用している場合は、現在の Wi-Fi Direct ネットワークで接続可能な機器の台数を調べ、何台接続されているか確認してください。	Wi-Fi Direct



関連情報

- 本製品のネットワークに問題がある場合

関連トピック：

- 非公開 SSID を入力して、本製品に無線 LAN ネットワークを設定する

本製品で、ネットワーク経由の印刷ができない

原因	対処方法	インターフェイス
お使いのセキュリティソフトウェアが、本製品のネットワークへのアクセスをブロックしています。	正常にインストールできた場合でも、一部のセキュリティソフトウェアは、セキュリティ警告のダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックする場合があります。 アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの説明書を参照するか、ソフトウェアの製造元に問い合わせてください。	有線 / 無線
本製品に、有効な IP アドレスが割り当てられていません。	IP アドレスとサブネットマスクを確認します。 お使いのコンピューターと本製品の、IP アドレスとサブネットマスクがいずれも正確で、同一のネットワーク上に存在することを確認します。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法についての詳細は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。	有線 / 無線
失敗した印刷ジョブが、コンピューターの印刷キューに残っています。	- 失敗した印刷ジョブがコンピューターの印刷キューに残っている場合は、そのジョブを削除します。 - または、次のフォルダーでプリンターアイコンを選択し、すべての文書をキャンセルします。 - Windows 11、Windows Server 2025  > 設定をクリックします。Bluetooth とデバイス > デバイスを選択し、関連設定のその他のデバイスとプリンターの設定をクリックします。 - Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022  > 設定をクリックします。デバイスを選択し、関連設定のデバイスとプリンターをクリックします。 - Mac システム設定 > プリンタとスキャナまたはシステム環境設定 > プリンタとスキャナをクリックします。	有線 / 無線
お使いの製品は無線 LAN ネットワークに接続されていません。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。 詳しくは「 無線 LAN レポートを印刷する 」をご覧ください。	無線 LAN

上記のすべての対応を確認して試しても、本製品で印刷できない場合、プリンタードライバー（Windows）をアンインストールし、再インストールしてください。



関連情報

- [本製品のネットワークに問題がある場合](#)

関連トピック：

- [無線 LAN レポートを印刷する](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
- [使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい](#)

使用しているネットワーク機器が正しく動作していることを確認したい

確認	対処方法	インターフェイス
本製品、アクセスポイント／ルーター、またはネットワークハブの電源が入っていることを確認します。	次の点を確認してください。 - 電源コードが正しく接続され、本製品の電源が入っている。 - 無線 LAN アクセスポイント／ルーターまたはハブの電源が入った状態で、リンクランプが点滅している。 - すべての保護用梱包材が本製品から取り外されている。 - トナーカートリッジとドラムカートリッジが正しく取り付けられている。 - 本製品のカバーが完全に閉まっている。 - 用紙トレイに用紙が正しくセットされている。 (有線 LAN の場合) ネットワークケーブルが、本製品と、ルーターまたはハブに確実に接続されている。	有線 / 無線
ネットワーク設定レポートまたはプリンター設定ページで Link Status を確認します。	ネットワーク設定リストを印刷し、 Ethernet Link Status または Wireless Link Status が Link OK であることを確認します。	有線 / 無線
コンピューターから本製品に「ping」を実行できることを確認します。	Windows のコマンドプロンプトまたは Mac Terminal アプリケーションで、IP アドレスまたはノード名を使用して、コンピューターから本製品に対して ping を実行します。 [<ipaddress>] または [<nodename>] を入力して ping コマンドを実行します。 - 成功：本製品は正しく動作していて、お使いのコンピューターと同じネットワークに接続されています。 - 失敗：本製品は、お使いのコンピューターと同じネットワークに接続されていません。 Mac : IP アドレスとサブネットマスクが正しく設定されていることを確認してください。	有線 / 無線
本製品が無線 LAN に接続されていることを確認します。	無線 LAN レポートを印刷して、エラーコードを確認します。 詳しくは「 無線 LAN レポートを印刷する 」をご覧ください。	無線 LAN

上記の対策をすべて試みても問題が解決しない場合は、お使いの無線 LAN アクセスポイント／ルーターの説明書で SSID（ネットワーク名）とネットワークキー（パスワード）の情報を参照し、それらを正しく設定してください。



関連情報

- [本製品のネットワークに問題がある場合](#)

関連トピック：

- [ネットワーク設定リストを印刷する](#)
- [無線 LAN レポートを印刷する](#)
- [無線 LAN レポートのエラーコードについて](#)
- [本製品で、ネットワーク経由の印刷ができない](#)

AirPrint の問題

問題	対応
本製品がプリンター一覧に表示されません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	本製品とモバイル端末または Mac が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
	モバイル端末を無線 LAN アクセスポイント/ルーター、または本製品の近くに移動させます。
印刷できません。	本製品の電源が入っていることを確認します。
	本製品とモバイル端末または Mac が同じネットワークに接続されていることを確認してください。
iOS 機器から複数ページの文書を印刷しようとしていますが、最初のページしか印刷されません。	最新版の OS を実行していることを確認してください。



関連情報

- [トラブルシューティング](#)

関連トピック：

- [AirPrint の概要](#)

その他の問題

問題	対応
本製品の電源が入りません。	電源接続部への悪影響（雷や電力サージなど）により、本製品の内部安全機構が作動した可能性があります。電源コードを抜いてください。約 10 分待ってから電源コードを接続し、を押して本製品の電源を入れます。 問題が解決しない場合は、を長押しして本製品の電源を切ります。バックアップ電池またはサージ抑制器を使用している場合、これを外して問題の原因でないことを確認します。本製品の電源コードを直接、動作していることが確実な別の壁面コンセントへ接続し、を押して本製品の電源を入れます。
本製品の PS3 エミュレーションプリンタードライバーでは、バイナリコードを含む EPS データは印刷できません。	(Windows) 次の手順で EPS データを印刷します。 1. Windows 11、Windows Server 2025 :  > 設定をクリックします。Bluetooth とデバイス > デバイスを選択し、関連設定のその他のデバイスとプリンターの設定をクリックします。名前に PS3 emulate を含むモデルを選択し、プリンターのプロパティをクリックします。 Windows 10、Windows Server 2016、Windows Server 2019、および Windows Server 2022 の場合 :  > 設定をクリックします。デバイスを選択し、関連設定のデバイスとプリンターをクリックします。名前に PS3 emulate を含むモデルを選択し、プリンターのプロパティをクリックします。  PS3 emulate を含むお使いのモデルが表示されない場合は、お使いのモデルのアイコンを右クリックし、プリンターのプロパティを選択して、PS3 emulate を含むモデル名を選択してください。 2. デバイスの設定タブから、出力プロトコルにある TBCP (Tagged Binary Communication Protocol) を選択します。
本製品のソフトウェアをインストールできません。	(Windows) インストール中にセキュリティソフトウェアの警告がコンピューター画面に表示された場合、製品のセットアッププログラムや他のプログラムを実行できるよう、セキュリティソフトウェアの設定を変更します。 (Mac) アンチスパイウェアまたはアンチウイルスセキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、一時的に無効にしてから本製品のソフトウェアをインストールします。



関連情報

- [トラブルシューティング](#)

本製品の情報を確認する

次の手順に従って、本製品のシリアル番号とファームウェアバージョンを確認してください。

1. ▲または▼を押して、[製品情報] を選択し、**OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、次の項目のいずれかを選択します。

項目	詳細
[シリアル No.]	製品のシリアルナンバーを確認します。
[ファームウェアバージョン]	製品のファームウェアバージョンを確認します。
[印刷枚数表示]	製品が印刷した合計ページ数を確認します。
[消耗品寿命]	消耗品の使用可能な寿命を確認します。

3. **OK** を押します。



関連情報

- [トラブルシューティング](#)

リセット機能

- [機能設定リセット](#)
- [ネットワーク設定のリセット](#)
- [出荷状態リセット](#)

機能設定リセット

製品リセット機能を使用して、製品の設定をお買い上げ時の設定にリセットします。
ネットワーク設定とセキュリティ設定は、製品リセット機能ではリセットされません。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [初期設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [設定リセット] を選択します。OK を押します。
 - c. [機能設定リセット] を選択します。OK を押します。
2. ▲を押して、[リセット] を選択します。
3. ▲を押して、本製品を再起動します。



関連情報

- [リセット機能](#)

ネットワーク設定のリセット

パスワードや IP アドレスなど、本製品のネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻すには、ネットワーク設定リセット機能を使用します。

ネットワーク設定をリセットする前に、すべてのインターフェースケーブルのプラグを抜いてください。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [初期設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [設定リセット] を選択します。OK を押します。
 - c. [ネットワーク設定リセット] を選択します。OK を押します。
2. ▲を押して、[リセット] を選択します。
3. ▲を押して、本製品を再起動します。



関連情報

- [リセット機能](#)

出荷状態リセット

工場出荷時リセット機能を使用して、すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。

工場出荷時リセットを実行する前に、すべてのインターフェイスクーブルのプラグを抜いてください。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [初期設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [設定リセット] を選択します。OK を押します。
 - c. [出荷状態リセット] を選択します。OK を押します。
2. ▲を押して、[リセット] を選択します。
3. ▲を押して、本製品を再起動します。



関連情報

- [リセット機能](#)

日常のお手入れ

- 消耗品を交換する
- 本製品を清掃する
- 部品の残りの寿命を確認する
- 有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

消耗品を交換する

本製品が消耗品の寿命が来たことを示している場合、消耗品を交換する必要があります。

⚠ 警告

- 消耗品は、箱やカートリッジにある説明に従って保管してください。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発の原因になります。大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷の原因になります。使い終わった不要なトナーカートリッジやドラムカートリッジは、必ずお買い求めの販売店または EP カートリッジ回収センターにお渡しください。弊社にて処理いたします。

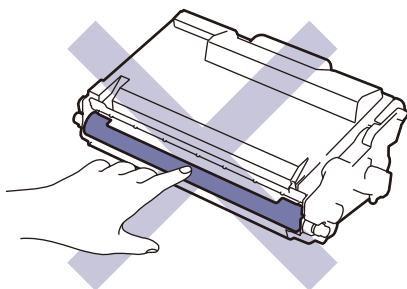
⚠ 注意

- トナーカートリッジやドラムカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。
- トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。
- 次の事項に従って、応急処置をしてください。
 - トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
 - トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
 - トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
 - トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

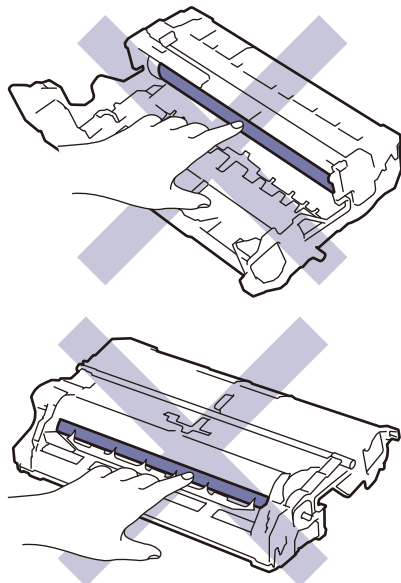
重要

- 印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついている部分には絶対に触れないでください。

トナーカートリッジ



ドラムカートリッジ



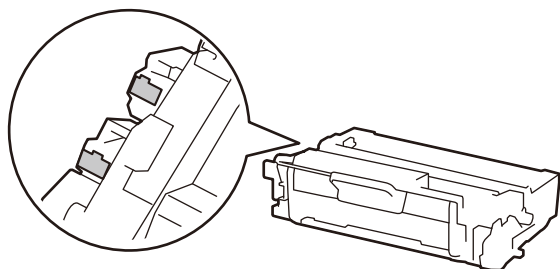
- 弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、機械本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

お願い

- 使用済みの消耗品は必ず袋に入れ、しっかりと封をして、トナーの粉末がカートリッジからこぼれないようにしてください。
- 新品および使用済みの消耗品は、中身がこぼれたり散乱したりするのを防ぐために、紙の上に置くことをお勧めします。
- 推奨される印刷メディア以外の用紙を使用すると、消耗品や本体部品の寿命が短くなることがあります。
- 各トナーカートリッジの一般的な寿命は、ISO/IEC 19752 に準拠しています。交換頻度は印刷量、印刷範囲、使用している印刷メディア、製品電源をオン / オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジ以外の消耗品の交換頻度は、印刷量、使用している印刷メディア、製品電源をオン / オフする回数により異なります。
- トナーカートリッジは慎重にお取り扱いください。トナーが手や洋服に付着した場合は、直ちに拭き取るか、冷水で洗い流してください。



トナーカートリッジとドラムカートリッジはどちらも IC チップを搭載しています。その表面には触れないでください。IC チップに触れると汚れや損傷の原因となり、トナーカートリッジとドラムカートリッジの情報を検出する機能に支障をきたすことがあります。



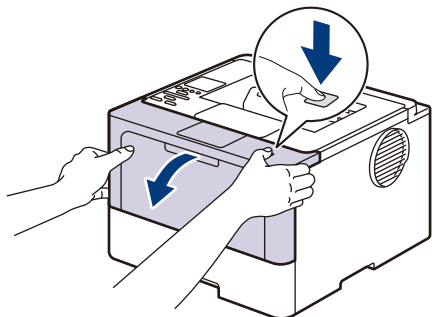


関連情報

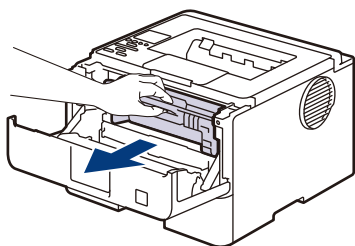
- 日常のお手入れ
 - トナーカートリッジを交換する
 - ドラムカートリッジを交換する

トナーカートリッジを交換する

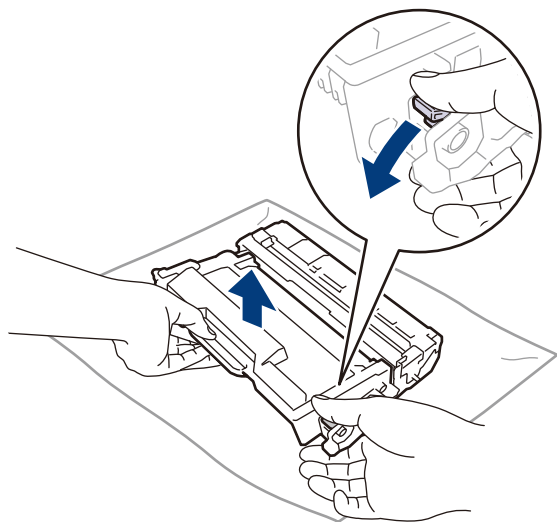
1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーオープンボタンを押して、フロントカバーを開けます。



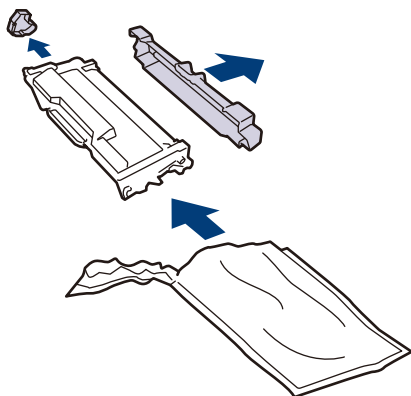
3. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品から取り外します。



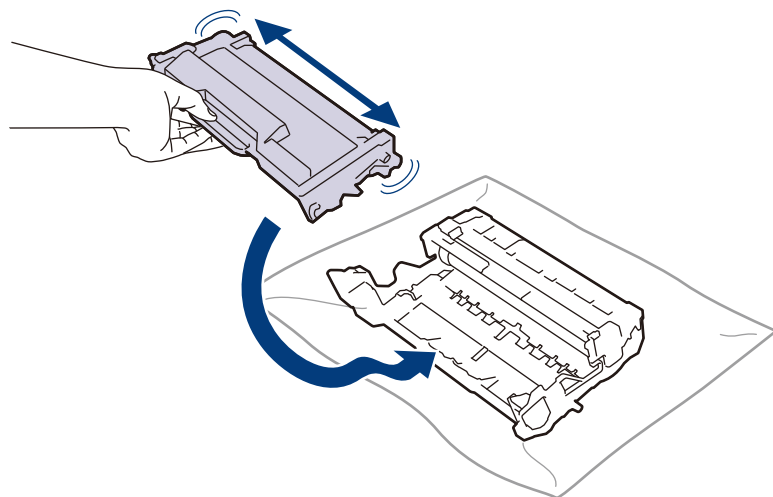
4. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムカートリッジから取り外します。



5. 新しいトナーカートリッジを開封します。
6. 保護カバーを取り外します。

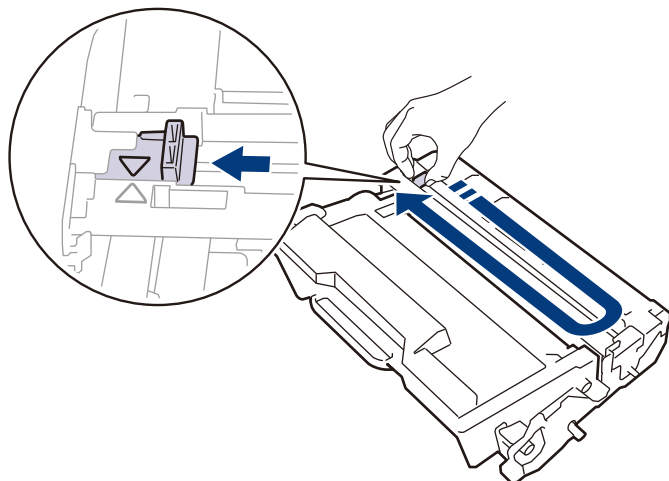


7. トナーカートリッジのハンドルを持ち、図のように左右に数回振ります。その後、所定の位置に固定されるまでしっかりとドラムカートリッジに押し込みます。



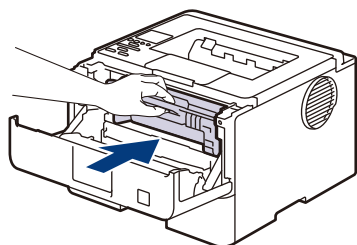
トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムカートリッジから外れる場合があります。

8. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムカートリッジ内側のコロナワイヤーを清掃します。



必ずタブをホームポジションに戻してください。▲タブの矢印をドラムカートリッジの矢印に合わせる必要があります。矢印を合わせないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

9. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再装着します。



10. 本製品のフロントカバーを閉じます。



- 本製品が待機モードに戻るまで本製品の電源を切ったり、フロントカバーを開けたりしないでください。
- 本製品のご購入時には付属トナーカートリッジが装着されています。
- トナー残量が少ないことを知らせる警告メッセージが表示されたら、新品のトナーカートリッジを手元に準備しておくことをお勧めします。
- 必ず、装着する準備が完了してから新しいトナーカートリッジを開封してください。
- トナーカートリッジを長期間開封したまま置いておくと、トナーの使用可能期間が短くなります。
- 安定した印刷品質と性能を確保するために、純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、無償保証期間内や保守契約内であっても有償修理となります。



関連情報

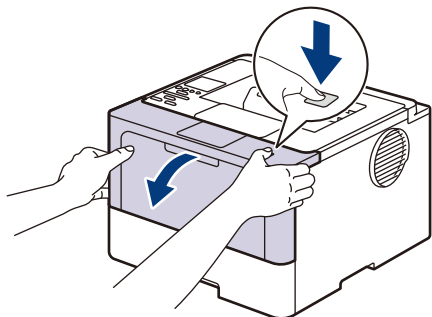
- [消耗品を交換する](#)

関連トピック：

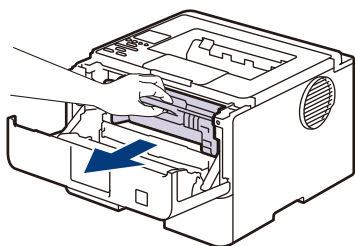
- [印刷品質の改善](#)
- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)

ドラムカートリッジを交換する

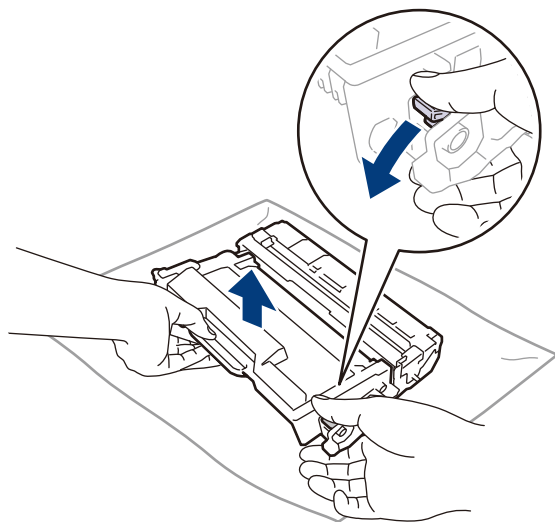
1. 本製品の電源が入っていることを確認します。
2. フロントカバーオープンボタンを押して、フロントカバーを開けます。



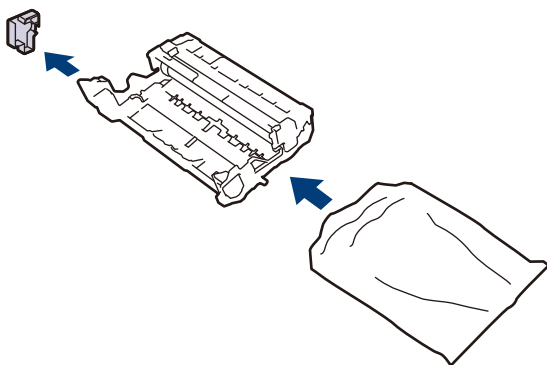
3. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品から取り外します。



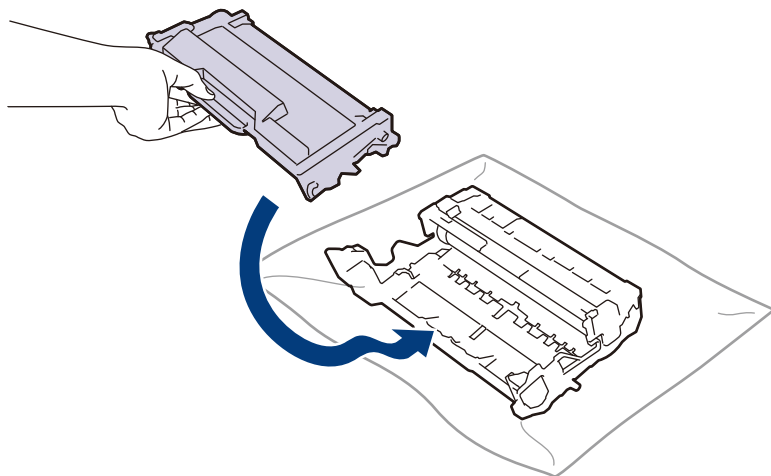
4. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムカートリッジから取り外します。



5. 新しいドラムカートリッジを開封します。
6. 保護カバーを取り外します。

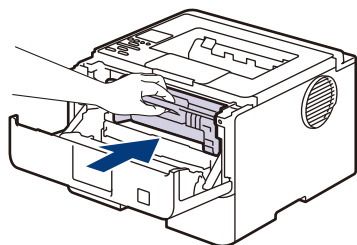


7. トナーカートリッジを新しいドラムカートリッジの正しい位置に固定されるまでしっかりと押し込みます。



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムカートリッジから外れる場合があります。

8. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再装着します。



9. 本製品のフロントカバーを閉じます。

お願い

- ドラムは回転や、紙やトナー、その他の排紙で使用する資材との摩擦などにより磨耗します。ドラムが工場の設定した最大回転数（印刷枚数に対応）に達すると、液晶ディスプレイにドラムを交換することを促すメッセージが表示されます。製品は引き続き動作しますが、印字品質が落ちる可能性があります。
- ドラムカートリッジを開封したまま直射日光の当たる場所（または室内照明の当たる場所に長期間）に置いておくと、ユニットが損傷する可能性があります。
- 実際のドラム寿命は製品が使用されている環境の温度や湿度、用紙やトナーの種類などさまざまな原因により異なります。理想的な条件下では、平均的なドラム寿命は、1 ジョブ 3 ページとした場合で約 73,000 ページ、1 ジョブ 1 ページ（A4 片面ページ）とした場合は約 45,000 ページと推定されます。印刷可能ページ数は、使用環境や用紙の種類、連続印刷ページ数などによって異なります。弊社は実際のドラムの寿命を決定するこれらの原因を特定できないため、ドラムにより印刷される最低ページ数を保証することはできません。
- 本製品は十分な換気設備のある、清潔で埃のない環境でのみ使用してください。
- 安定した印刷品質と性能を確保するために、純正品のご使用をお勧めします。すべての非純正品が品質の問題を引き起こすわけではありませんが、一部の非純正品が印刷品質に悪影響を与えたり、製品の故障の原因になったりする可能性があります。非純正品による故障が証明された場合、無償保証期間内や保守契約内であっても有償修理となります。



関連情報

- [消耗品を交換する](#)

関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)
- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)

本製品を清掃する

本製品の外側と内側は、乾いた、柔らかくて繊維の出ない布で定期的に清掃してください。

トナーカートリッジまたはドラムカートリッジを交換した場合は、本製品の内部を必ず清掃してください。印刷したページにトナーの汚れが付着している場合は、乾いた柔らかくて繊維の出ない布で本製品の内部を清掃します。

⚠ 警告

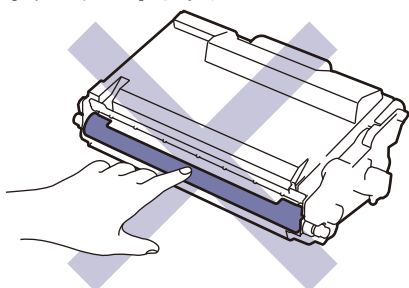
本製品の内側または外側を清掃する場合、可燃性物質、スプレー類、有機溶剤、アルコールを含む液体、アンモニアなどを絶対に使用しないでください。火災の原因になります。乾いた、柔らかくて繊維の出ない布をお使いください。



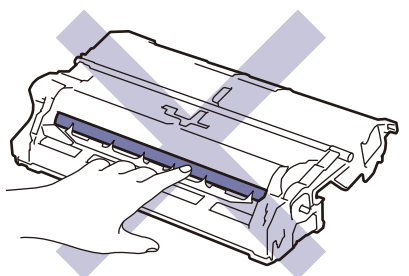
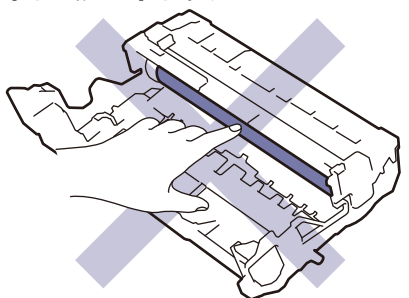
重要

- イソプロピルアルコールで操作パネルを拭かないでください。操作パネルにひびが入るおそれがあります。
- 印刷品質の問題を回避するため、イラストで色のついた部分には絶対に触れないでください。

トナーカートリッジ

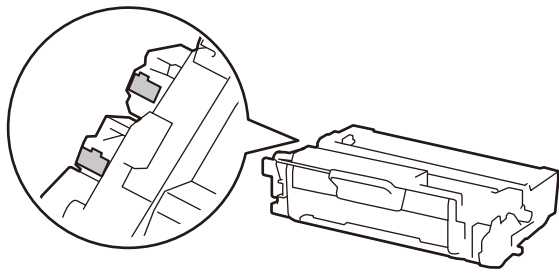


ドラムカートリッジ





トナーカートリッジとドラムカートリッジはどちらも IC チップを搭載しています。その表面には触れないでください。IC チップに触れると汚れや損傷の原因となり、トナーカートリッジとドラムカートリッジの情報を検出する機能に支障をきたすことがあります。



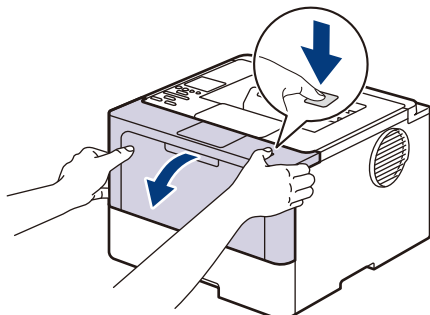
関連情報

- 日常のお手入れ
 - コロナワイヤーを清掃する
 - ドラムカートリッジを清掃する
 - 給紙ローラーを清掃する

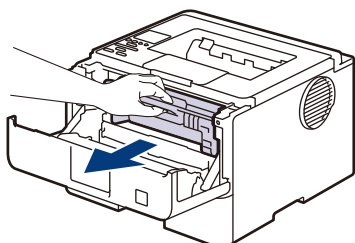
コロナワイヤーを清掃する

印刷品質に問題がある場合、または操作パネルに [ドラム お手入れ] ステータスが表示される場合は、コロナワイヤーを清掃してください。

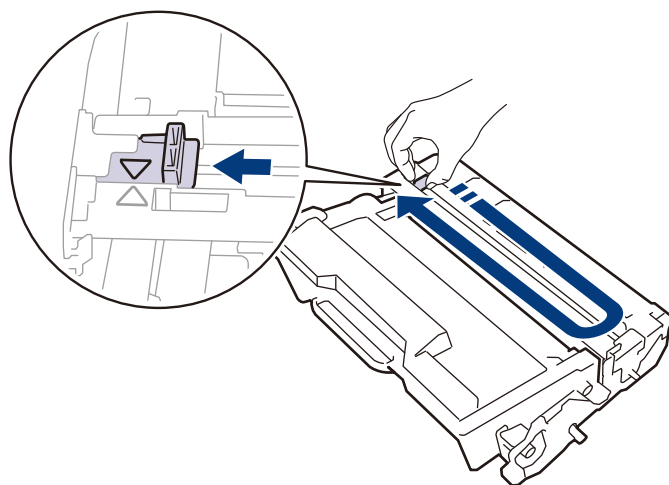
1. ①を長押しして本製品の電源を切ります。
2. フロントカバーオープンボタンを押して、フロントカバーを開けます。



3. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品から取り外します。

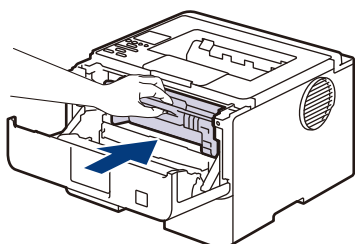


4. 緑色のタブを左右に数回ゆっくりと滑らせて、ドラムカートリッジ内側のコロナワイヤーを清掃します。



必ずタブをホームポジションに戻してください。▲タブの矢印をドラムカートリッジの矢印に合わせる必要があります。矢印を合わせないと、印刷されたページに縦縞が現れます。

5. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再装着します。



6. 本製品のフロントカバーを閉じます。

-
7. を押して本製品の電源を入れます。



関連情報

- [本製品を清掃する](#)

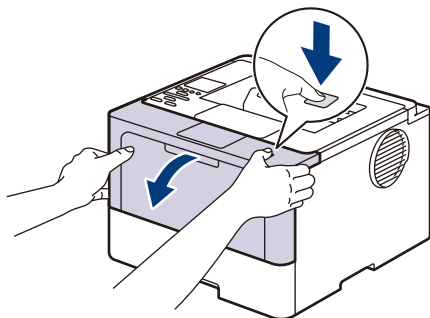
関連トピック：

- [エラーメッセージとメンテナンスメッセージ](#)
-

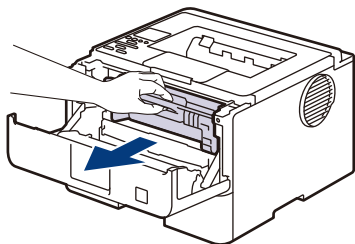
ドラムカートリッジを清掃する

印刷したものにドット状などのしみが複数箇所にわたり 94 mm 間隔で付着している場合、ドラムに異物（ドラムの表面に付着したラベルの接着剤など）が付いていることがあります。

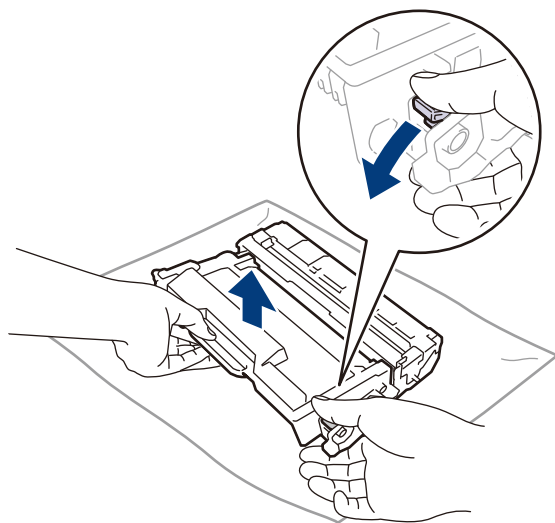
1. 本製品が待機モードになっていることを確認します。
2. ▲または▼を押して、[印刷] を表示し、**OK** を押します。
3. ▲または▼を押して、[ドラム汚れ印刷] を選択します。
4. **OK** を押します。
本製品がドラムチェックシートを印刷します。
5. ⏻ を長押しして本製品の電源を切ります。
6. フロントカバーオープンボタンを押して、フロントカバーを開けます。



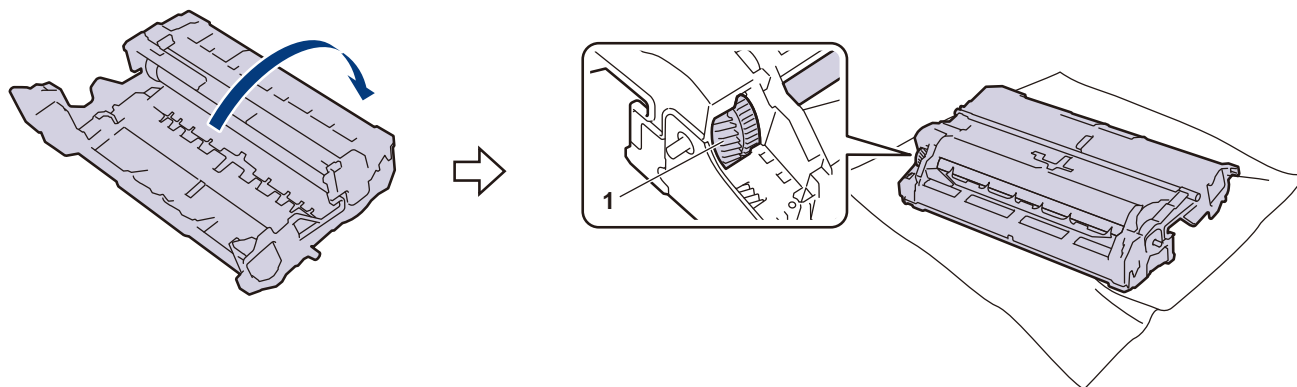
7. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品から取り外します。



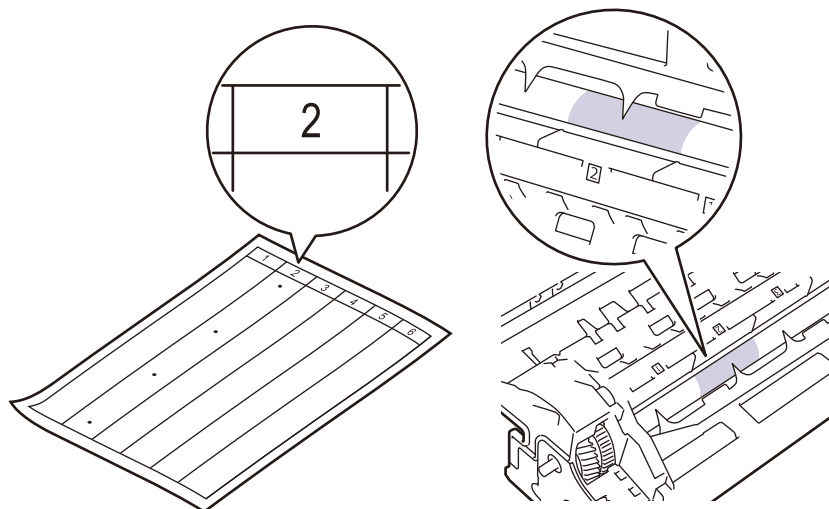
8. 緑色のレバーを押し下げ、トナーカートリッジをドラムカートリッジから取り外します。



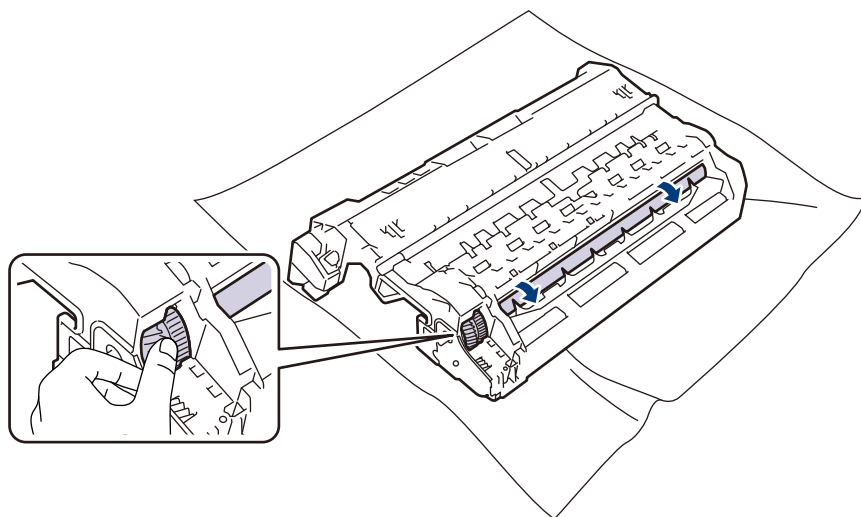
9. ドラムカートリッジをイラストのように回します。ドラムカートリッジギア（1）が左側にあることを確認してください。



10. ドラムローラーの隣にマーキングされている番号で、ドラムの汚れの場所を探します。例えば、チェックシートの2列目に汚れが付着している場合は、「2番」のドラムが汚れている可能性があります。



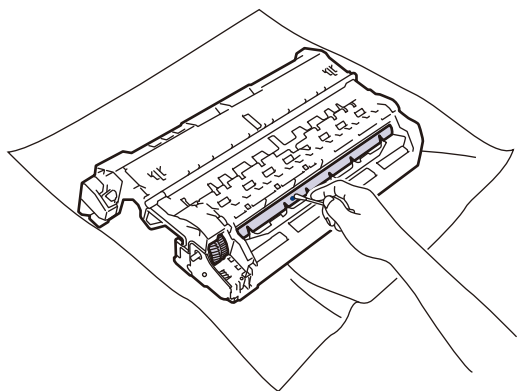
11. ドラムカートリッジの端を手前に回しながら、ドラム表面の汚れが付着している可能性のある場所を探します。



重要

印刷品質の問題を回避するため、ドラム表面（端を除く）には絶対に触れないでください。

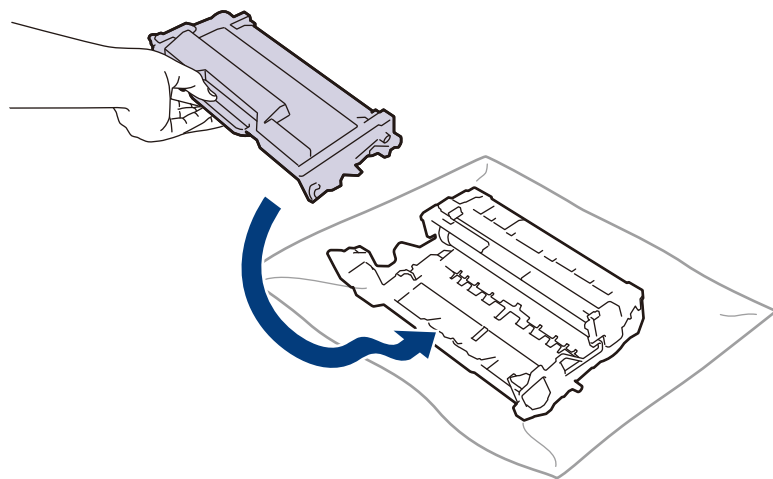
12. ドラム表面の汚れや異物がなくなるまで、乾いた綿棒で表面をやさしく拭きます。



お願い

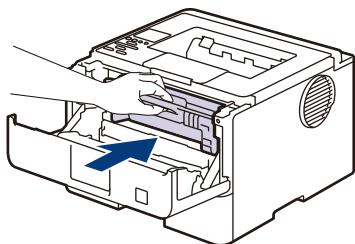
尖ったものや液体を使用して感光ドラムの表面を清掃しないでください。

13. トナーカートリッジを所定の位置に固定されるまでしっかりとドラムカートリッジに押し込みます。



トナーカートリッジが正しく差し込まれたことを確認しないと、ドラムカートリッジから外れる場合があります。

14. トナーカートリッジとドラムカートリッジのセットを、本製品に再装着します。



15. 本製品のフロントカバーを閉じます。

16. を押して本製品の電源を入れます。



関連情報

- [本製品を清掃する](#)

関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)

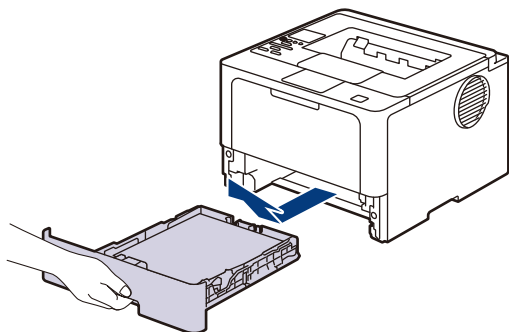
給紙ローラーを清掃する

給紙ローラーの清掃を定期的に行うことで、給紙が適切に行われるようになり、紙詰まりを防ぎます。

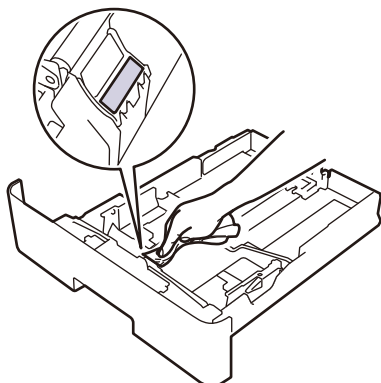
清掃手順を開始する前に「[本製品を清掃する](#)」をご覧ください。

給紙の問題がある場合は、次の手順で給紙ローラーを清掃してください。

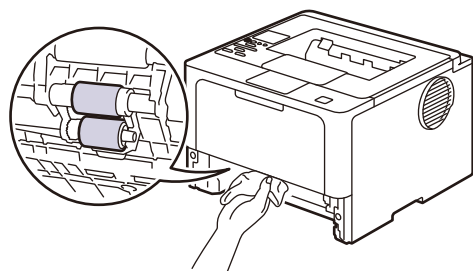
1. ①を長押しして本製品の電源を切ります。
2. 用紙トレイを止まるまで引き出し、トレイを持ち上げて、本製品から完全に引き抜きます。



3. 用紙がセットされている場合、または用紙トレイの内側に挟まっているものがある場合は取り除いてください。
4. めるま湯を含ませた柔らかくて繊維の出ない布をしっかりと絞り、用紙トレイの分離パッドを拭いてほこりを取り除きます。



5. 本製品内部の給紙ローラーを拭いてほこりを取り除きます。



6. 用紙をもう一度セットし、用紙トレイを本製品へしっかりと戻します。
7. ①を押して本製品の電源を入れます。



関連情報

- [本製品を清掃する](#)

関連トピック：

- [印刷の問題](#)
- [紙詰まりの解消](#)

部品の残りの寿命を確認する

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [製品情報] を選択します。OK を押します。
 - b. [消耗品寿命] を選択します。OK を押します。
2. ▲ または ▼ を押して、確認したい本製品の場所を選択し、OK を押します。
画面に部品の大まかな残りの寿命が表示されます。



関連情報

- [日常のお手入れ](#)

有寿命部品（定期交換部品、有償）の寿命について

プリンターには、その機能、性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品があります。

これを有寿命部品（定期交換部品、有償）といいます。

画面に次のメッセージが表示されたら、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

画面のメッセージ	詳細
[メンテナンス情報] [ヒーター交換] *1	定着ユニットを交換してください。
[メンテナンス情報] [レーザー交換] *1	レーザユニットを交換してください。
[メンテナンス情報] [PF キット 1 交換] *1	標準用紙トレイの搬送ローラキットを交換してください。
[メンテナンス情報] [PF キット 2 交換] *1 *2	オプションのトレイモジュールの搬送ローラキットを交換してください。
[メンテナンス情報] [PF キット MP 交換] *1	多目的トレイの搬送ローラキットを交換してください。

*1 交換頻度は、印刷ページの複雑さ、印刷範囲、および使用しているメディアの種類によって異なります。

*2 本機でトレイモジュール（オプション）を使用する場合は、このメッセージが画面に表示されます。本機に複数のトレイモジュール（オプション）がある場合は、各トレイモジュール（オプション）に応じた数字でメッセージが表示されます。

部品名	交換寿命
定着ユニット	約 200,000 頁
レーザユニット	約 200,000 頁
搬送ローラキット	約 200,000 頁
搬送ローラキット（多目的トレイ用）	約 50,000 頁 *1

*1 多目的トレイからの印刷頁数。プリンターの総印刷頁数とは異なります。

⚠ 注意

- 交換寿命は、A4 サイズの普通紙を連続片面プリントした場合の目安です。実際にプリント可能な頁数は、使用する用紙サイズ、種類、プリント環境、などのプリント条件や、プリンター電源投入頻度などにより大きく異なる場合があります。これは実際の寿命に影響する要因をある仮定に基づきプリント頁数に置き換えて表示しているためです。
- 有寿命部品はエンジニアによる交換作業となります。部品代のほかに別途作業料金が必要です。
- 無償保証期間中に、交換表示が出て有寿命部品を交換する場合は、部品代が必要となります。
- 詳しい情報については、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

✓ 関連情報

- 日常のお手入れ

製品の設定

設定と機能をカスタマイズして、本製品をより効率的にご使用いただけます。

- [操作パネルから製品の設定を変更する](#)
- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

操作パネルから製品の設定を変更する

- [基本設定](#)
- [設定と機能一覧](#)

基本設定

- スリープモードに入る時間を設定する
- ディープスリープモードについて
- 本製品の自動電源オフ時間を設定する
- トナー消費量の削減
- 印刷音を軽減する
- 照明のちらつきを軽減する
- 印刷出力結果を改善する
- 画面に表示される言語を変更する
- カスタムトナーモードを設定する

スリープモードに入る時間を設定する

スリープモード（または省電力モード）に設定すると、消費電力を節約することができます。本製品がスリープモードに入るまでの待機時間を選択します。スリープモードタイマーは、本製品が印刷ジョブを受信したときにリセットされます。

製品がスリープモードに入ると、電源が切れたように見えます。印刷ジョブを受信すると、起動し印刷を開始します。次の手順で、製品がスリープモードに入るまでの時間を設定します。



スリープモードの設定は、環境への配慮を考慮して、無効にすることはできません。

- ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - [基本設定] を選択します。OK を押します。
 - [省エネモード] を選択します。OK を押します。
 - [スリープモード] を選択します。OK を押します。
- ▲または▼を押して、本製品がスリープモードに入る前に待機状態を維持する時間の長さを入力します（最長 50 分）。
- Go を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

ディープスリープモードについて

製品がスリープモードに入り、一定の時間ジョブを受信しないと、自動的にディープスリープモードに入ります。時間の長さは、製品と設定に基づきます。

ディープスリープモードはスリープモードよりも消費電力を節約できます。

対象モデル	ディープスリープモード時の本製品の画面	本製品が起動する条件
MultiWriter 4M370 MultiWriter 4M350	画面に [ディープスリープ] と表示されます。	- 製品がジョブを受信した場合。 - 操作パネルのボタンが押された場合。



関連情報

- [基本設定](#)

本製品の自動電源オフ時間を設定する

本製品が一定時間ディープスリープモードの状態にある場合、自動的に電源が切れます。本製品がネットワークに接続している場合、またはセキュリティープリント用のデータが本製品のメモリーに保存されている場合、自動的に電源は切れません。

本製品の電源が切れているときに印刷を開始するには、操作パネルで  を押し、印刷ジョブを送信します。



ディープスリープモードの状態がどのくらい続くと、自動的に電源が切れるかを設定します。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [省エネモード] を選択します。OK を押します。
 - c. [自動電源オフ] を選択します。OK を押します。
2. ▲または▼を押して、本製品が自動的に電源が切れる前に待機状態を維持する時間の長さを選択します（1、2、4、または8時間）。
3. Go を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

トナー消費量の削減

トナー節約機能を使うと、トナーの消費量が節約できます。トナー節約機能がオンになっていると、文書の印字が薄く見えます。

写真やグレースケールイメージでは、トナー節約機能の使用をお勧めしていません。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [省エネモード] を選択します。 **OK** を押します。
 - c. [トナー節約モード] を選択します。 **OK** を押します。
2. ▲または▼を押して、[わ] を表示し、 **Go** を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

関連トピック：

- [印刷品質の改善](#)

印刷音を軽減する

静音モードでは、印刷時の音を軽減することができます。静音モードがオンのときは、印刷速度が遅くなります。お買い上げ時の設定はオフです。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [省エネモード] を選択します。OK を押します。
 - c. [静音モード] を選択します。OK を押します。
2. ▲または▼押して、[㊦] または [㊧] を表示し、Go を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

照明のちらつきを軽減する

本機を電源が不安定な環境でお使いの場合、本機の起動時などで他の機器の動作に影響（蛍光灯のちらつき等）が出る可能性があります。本設定をオンにすることで症状が改善することがあります。お買い上げ時の設定はオフです。

本設定をオンにすると、オフ（初期値）の場合よりウォームアップ時間が長くなります。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [省エネモード] を選択します。OK を押します。
 - c. [照明のちらつき軽減] を選択します。OK を押します。
2. ▲または▼押して、[わ] を表示し、Go を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

印刷出力結果を改善する

用紙がカールしていたり、トナーが十分に定着しない場合に、印刷出力結果を改善することができます。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [基本設定] を選択します。OK を押します。
 - b. [印刷改善] を選択します。OK を押します。
2. ▲ または▼を押して、[㇀]、[用紙カール改善]、または [トナー定着改善] を表示し、Go を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

画面に表示される言語を変更する

画面の言語を変更できます。

1. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [初期設定] を選択します。 **OK** を押します。
 - b. [表示言語設定] を選択します。 **OK** を押します。
2. ▲または▼を押してお使いの言語を表示し、 **Go** を押します。



関連情報

- [基本設定](#)

カスタムトナーモードを設定する

カスタムトナーモードで本機を使用したい場合に設定します。対応したトナーでご使用ください。

1. カスタムトナーモードに対応したトナーを装着します。
2. ▲または▼を押して次のとおり選択します。
 - a. [製品情報]を選択します。**OK**を押します。
 - b. [消耗品寿命]を選択します。**OK**を押します。
 - c. [トナー]を選択します。**OK**を押します。
3. ▲と▼を同時に押します。
4. フロントカバーオープンボタンを押して、フロントカバーを開けます。
5. ▲を押します。
6. 本製品のフロントカバーを閉じます。



- カスタムトナーモードは品質保証外の機能であり、所定の機能、性能は保たれないことがあります。そのまま使い続けると、プリンターが故障する原因となることがあります。
- トナーによっては、本モードを使用しても動作しないことがあります。



関連情報

- [基本設定](#)

設定と機能一覧

この設定一覧では、本製品のメニューおよび設定項目について説明しています。

- [設定一覧](#)

設定一覧

次の表では、本製品で詳細設定を行うためのメニューおよび設定項目についてご紹介します。

- >> [基本設定]
- >> [プリンター]
- >> [ネットワーク]
- >> [レポート印刷]
- >> [製品情報]
- >> [初期設定]

[基本設定]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	詳細
[トレイ設定]	[用紙タイプ]	[多目的トレイ]	-	[普通紙]	多目的トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
		[トレイ 1]	-	[普通紙]	標準用紙トレイ内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
		[トレイ 2] *1	-	[普通紙]	トレイモジュール（オプション）（トレイ 2）内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
		[トレイ 3] *1	-	[普通紙]	トレイモジュール（オプション）（トレイ 3）内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
		[トレイ 4] *2	-	[普通紙]	トレイモジュール（オプション）（トレイ 4）内の用紙に合わせて用紙タイプを選択します。
	[用紙サイズ]	[多目的トレイ]	-	[A4]	多目的トレイにセットした用紙サイズを選択します。
		[トレイ 1]	-	[A4]	標準用紙トレイにセットした用紙サイズを選択します。
		[トレイ 2] *1	-	[A4]	トレイモジュール（オプション）（トレイ 2）にセットした用紙サイズを選択します。
		[トレイ 3] *1	-	[A4]	トレイモジュール（オプション）（トレイ 3）にセットした用紙サイズを選択します。
		[トレイ 4] *2	-	[A4]	トレイモジュール（オプション）（トレイ 4）にセットした用紙サイズを選択します。
	[トレイ選択]	-	-	[自動]	使用する用紙トレイを選択します。
	[優先順位]	-	-	[多目的 > トレイ 1] [多目的 > トレイ 1 > トレイ 2] *1 [多目的 > トレイ 1 > トレイ 2-3] *1 [多目的 > トレイ 1 > 2-4] *2	[トレイ選択] で [自動] が選択されているとき、同じサイズの用紙が入った複数のトレイから、使用する順番を選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	詳細
[トレイ設定]	[印字位置]	[多目的トレイ]	[X 合わせ]	[0 ドット]	300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に -500 ドット（左）～ +500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[Y 合わせ]	[0 ドット]	300dpi で印刷する場合、多目的トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に -500 ドット（上）～ +500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 1]	[X 合わせ]	[0 ドット]	300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に -500 ドット（左）～ +500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[Y 合わせ]	[0 ドット]	300dpi で印刷する場合、標準用紙トレイにセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に -500 ドット（上）～ +500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 2] *1	[X 合わせ]	[0 ドット]	300 dpi で印刷する場合、トレイモジュール（オプション）（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に -500 ドット（左）～ +500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[Y 合わせ]	[0 ドット]	300 dpi で印刷する場合、トレイモジュール（オプション）（トレイ 2）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に -500 ドット（上）～ +500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 3] *1	[X 合わせ]	[0 ドット]	300 dpi で印刷する場合、トレイモジュール（オプション）（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に -500 ドット（左）～ +500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[Y 合わせ]	[0 ドット]	300 dpi で印刷する場合、トレイモジュール（オプション）（トレイ 3）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に -500 ドット（上）～ +500 ドット（下）の範囲で調整します。
		[トレイ 4] *2	[X 合わせ]	[0 ドット]	300 dpi で印刷する場合、トレイモジュール（オプション）（トレイ 4）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を左右方向に -500 ドット（左）～ +500 ドット（右）の範囲で調整します。
			[Y 合わせ]	[0 ドット]	300 dpi で印刷する場合、トレイモジュール（オプション）（トレイ 4）にセットした用紙の印刷開始位置（通常はページの左上端）を上下方向に -500 ドット（上）～ +500 ドット（下）の範囲で調整します。
	[除外トレイ設定] *1	-	-	[合わせ]	異なるサイズ of 用紙がセットされている場合に、使用しない特定のトレイを選択します。
	[合紙トレイ設定] *1	-	-	[合わせ]	各印刷ジョブ間に挿入される合紙として使用する用紙を含むトレイを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	詳細
[トレイ設定]	[用紙残量通知]	[用紙残量通知]	-	[㊦]	用紙トレイがもうすぐ用紙切れになることを示すメッセージを表示するかどうかを選択します。
		[通知レベル]	-	[残量 極少]	メッセージを表示させる残り用紙枚数を選択します。
	[トレイ確認]	-	-	[㊦]	本製品からトレイを引き出すときに、用紙のタイプとサイズを確認するメッセージを表示するかどうかを選択します。
[省エネモード]	[エコモード]	-	-	[㊦]	次の製品設定を同時に有効にします。 • [両面印刷] : [長辺とじ] *3 • [スリープモード] : 0 [分] • [静音モード] : [㊦] *3 • [トナー節約モード] : [㊦] *3
	[トナー節約モード]	-	-	[㊦]	トナーカートリッジの印刷可能ページ枚数を増加させます。
	[スリープモード]	-	-	[1 分]	本製品が節電モードに入るまでの待機時間を設定します。
	[静音モード]	-	-	[㊦]	印刷音を軽減します。
	[自動電源㊦]	-	-	[㊦]	製品が自動電源オフに入る前に、ディープスリープモードを何時間維持するかを設定します。
	[照明のちらつき軽減]	-	-	[㊦]	本製品の起動時に、蛍光灯がちらつくなど他機器の動作に影響があるときは、設定をオンにすると症状が改善する場合があります。
[印刷改善]	-	-	-	[㊦]	[用紙カール改善] 機能または [トナー定着改善] 機能を有効にして、印刷出力結果を改善します。
[パネルコントロール]	[ホム長押し速度]	-	-	[0.1 秒]	▲または▼を長押しし、液晶ディスプレイのメッセージが切り替わる時間を設定します。
	[表示スクロール速度]	-	-	[レベル 1]	液晶ディスプレイのメッセージが上端から下端までスクロールする時間を秒単位で設定します。レベル 1 (0.2 秒) からレベル 10 (2 秒) まで設定可能です。
	[画面のコントラスト]	-	-	[▼■■■■▲]	液晶ディスプレイのコントラストを調整します。
	[パネル自動復帰]	-	-	[㊦]	30 秒間待機状態が続いた後、待機モードに戻るよう本製品を設定します。
[セキュリティ 設定ロック]	-	-	-	-	設定ロックパスワードを使ってお使いの製品の設定をロックします。
[インターフェイス]	[選択]	-	-	[自動]	使用するインターフェイスを選択します。 [自動] を選択した場合、本製品がデータを受信するインターフェイスによって USB とネットワークを切り替えます。
	[オートインターフェイスタイムアウト]	-	-	[5 秒]	自動インターフェイス選択のタイムアウト時間を設定します。
	[バッファ]	-	-	[レベル 2]	入力バッファ容量を増やしたり減らしたりします。
	[ポート固定]	-	-	[㊦]	固定ポート機能を有効または無効にします。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	詳細
[記憶消去]	[マクロ ID]	-	-	-	登録されたマクロデータを削除します。
	[フォント ID]	-	-	-	登録されたフォントデータを削除します。
	[一括消去]	-	-	-	本製品のマクロ、ストリームおよびフォントデータをお買い上げ時の状態に戻します。

*1 トレイモジュール（オプション）が取り付けられているときのみ使用できます。

*2 MultiWriter 4M370 でトレイモジュール（250）（オプション）が取り付けられているときのみ使用できます。

*3 この設定の変更は、Web Based Management を使用して他の特定の製品設定を変更した後でのみ使用できます。

[プリンター]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	初期値	詳細
[エミュレーション]	-	-	[自動]	エミュレーションモードを選択します。
[解像度]	-	-	[600]	印刷の解像度を選択します。
[印刷濃度]	-	-	[0]	印刷濃度を、濃くまたは薄くします。
[印刷設定]	-	-	[グラフィックス]	印刷設定をテキストまたはグラフィックに設定します。
[プリンター オプション]	[フォント リスト]	[PCL emulation]	-	製品の内部フォントの一覧を印刷します。
		[PS3 emulation]	-	
	[テスト プリント]	-	-	テストページを印刷します。
[両面印刷]	[両面印刷]	-	[両]	用紙の両面に印刷するかどうかを選択します。
	[片面データ搬送方式]	-	[片面搬送経路]	最終ページが片面だけの印刷ジョブとなる場合、[片面搬送経路] を選択して印刷時間を短縮します。 レターヘッド紙や印刷済み用紙を使用する場合、必ず [両面搬送経路] を選択してください。[片面搬送経路] を選択してレターヘッド紙や印刷済み用紙に印刷した場合、最終ページの印刷が裏面に行われてしまいます。
[エラー解除]	-	-	[両]	用紙サイズエラーや用紙タイプエラーを自動的に解除し、他のトレイの用紙を使って印刷したい場合はこの設定を選択します。 [両] を選んだ場合は、すべてのトレイで次の現象が発生する可能性があります。 - 用紙サイズが原稿サイズより小さいときに用紙の裏面が汚れることがあります。 - 印刷に時間がかかることがあります。 - 両面プリントしたときに印字がずれることがあります。
[用紙タイプ]	-	-	[普通紙]	用紙タイプを設定します。
[用紙サイズ]	-	-	[A4]	用紙サイズを設定します。
[部数]	-	-	[1]	印刷するページ数を設定します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	初期値	詳細
[印刷の向き]	-	-	[両長]	ページを縦向きと横向きのどちらで印刷するかを設定します。
[印字位置]	-	-	-	印刷位置設定メニューにアクセスします。
[オートフォームフィード]	-	-	[両]	本製品に残っているデータを自動的にすべて印刷できるようにします。
[PCL emulation]	[フォント No.]	-	[I097]	フォント番号を設定します。 このメニューは、本製品にソフトフォントがインストールされているときに表示されます。
	[フォントピッチ]	-	[10.00]	フォントピッチを設定します。 (特定のフォントのみ対応)
	[コードテーブル]	-	[PC-8]	記号または文字セットを選択します。
	[コードテーブル印刷]	-	-	文字コード表を印刷します。
	[オート LF]	-	[両]	ON: CR -> CR+LF、OFF: CR -> CR
	[オート CR]	-	[両]	ON: LF -> LF+CR、FF -> FF+CR、または VT -> VT+CR OFF: LF -> LF、FF -> FF、または VT -> VT
	[オート WRAP]	-	[両]	キャリッジ位置が右マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[オート SKIP]	-	[両]	キャリッジ位置が下部マージンに到達したときに、ラインフィードとキャリッジリターンを行うかどうかを選択します。
	[左マージン]	-	[0]	1 インチ 1 文字ピッチで左マージンを 0 列～70 列に設定します。
	[右マージン]	-	[78]	1 インチ 1 文字ピッチで右マージンを 10 列～80 列に設定します。
	[上マージン]	-	[0.50]	用紙の上端から、上部マージンの長さを設定します。
	[下マージン]	-	[0.50]	用紙の下端から、下部マージンの長さを設定します。
	[行数]	-	[64]	各ページの行数を設定します。
	[トレイコメント]	-	[LJ4]	HP 社のプリンタードライバーを使用したとき、トレイ不一致メッセージが表示される場合はこの設定を選択します。
[PS3 emulation]	[エラー印刷]	-	[両]	エラーが発生したときに本製品でエラー情報を印刷するかどうかを選択します。
[PDF]	[レイアウト]	-	[1in1]	複数ページを印刷するときのページレイアウトを設定します。
	[PDF印刷オプション]	-	[文書 & 注釈]	PDF ファイル内の文字と一緒に、コメント（マークアップ）またはスタンプを印刷するかどうか、PDF 印刷設定を行います。
	[用紙に合わせる]	-	[両]	PDF ファイルのページを選択した用紙サイズに合わせて拡大または縮小するかどうかを選択します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	初期値	詳細
[カarbon メニ-]	[カarbon コピー]	-	[初]	カarbonコピー機能を有効または無効にします。
	[部数]	-	[1]	印刷するページ数を設定します。
	[コピー 1 トレイ]	-	[トレイ 1]	コピー 1 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 1 マクロ]	-	[初]	コピー 1 に使用するマクロ/ストリームを選択します。
	[コピー 2 トレイ] ... [コピー 8 トレイ]	-	[トレイ 1]	コピー 2 ~コピー 8 に使用するトレイを選択します。
	[コピー 2 マクロ] ... [コピー 8 マクロ]	-	[初]	コピー 2 ~コピー 8 に使用するマクロ/ストリームを選択します。
[プリンター リセット]	-	-	-	本製品の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

[ネットワーク]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	説明
[有線 LAN]	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	[自動]	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	[000.000.000.000]	IP アドレスを入力します。
		[サブネット マスク]	-	[000.000.000.000]	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	[000.000.000.000]	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	[NEC XXXXXX XXXXXX]	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	[Auto]	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	[000.000.000.000]	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	[000.000.000.000]	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	[000.000.000.000]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	[000.000.000.000]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	[初]	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。*1
		[IPv6]	-	[初]	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。
	[イーサネット]	-	-	[自動]	イーサネットリンクモードを選択します。
	[有線 LAN 状態]	-	-	-	有線 LAN 接続の状態を表示します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	説明
[有線 LAN]	[MAC アドレス]	-	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。
	[初期設定に戻す]	-	-	-	製品の有線 LAN 設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[有線 LAN 有効]	-	-	[有]	有線インターフェイスをオンまたはオフにします。
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[ネットワーク選択 (SSID)]	-	-	-	無線 LAN ネットワークを手動で設定します。
	[TCP/IP]	[IP 取得方法]	-	[自動]	最適な IP 取得方法を選択します。
		[IP アドレス]	-	[000.000.000.000]	IP アドレスを入力します。
	[TCP/IP]	[サブネットマスク]	-	[000.000.000.000]	サブネットマスクを入力します。
		[ゲートウェイ]	-	[000.000.000.000]	ゲートウェイアドレスを入力します。
		[ノード名]	-	[NEC XXXXXX XXXXXX]	ノード名を入力します。
		[WINS 設定]	-	[Auto]	WINS 設定モードを選択します。
		[WINS サーバー]	[プライマリ]	[000.000.000.000]	プライマリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	[000.000.000.000]	セカンダリ WINS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[DNS サーバー]	[プライマリ]	[000.000.000.000]	プライマリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
			[セカンダリ]	[000.000.000.000]	セカンダリ DNS サーバーの IP アドレスを指定します。
		[APIPA]	-	[有]	IP アドレスを、リンクローカルアドレスの範囲から自動的に割り当てます。*1
		[IPv6]	-	[有]	IPv6 プロトコルを有効または無効にします。
	[WPS(ワンタッチ接続)]	-	-	-	ワンタッチ接続方式を使って無線 LAN ネットワークを設定します。
	[WPS(PINコード)]	-	-	-	WPS の PIN コードを使って無線 LAN ネットワークの設定をします。
	[無線状態]	[接続状態]	-	-	無線 LAN ネットワーク接続の状態を表示します。
		[電波状態]	-	-	無線 LAN ネットワークの信号強度を表示します。
		[通信チャネル]	-	-	[接続状態] が [アクティブ] のときに使用するチャネルを表示します。
		[通信速度]	-	-	[接続状態] が [アクティブ] のときに接続速度を表示します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	説明
[無線 LAN(Wi-Fi)]	[無線状態]	[SSID]	-	-	無線 SSID（ネットワーク名）を表示します。
		[通信モード]	-	-	現在の通信モードを表示します。
	[MAC アドレス]	-	-	-	お使いの製品の MAC アドレスを表示します。
	[初期設定に戻す]	-	-	-	製品の無線 LAN ネットワーク設定をお買い上げ時の設定に戻します。
	[無線 LAN 有効]	-	-	[切]	無線インターフェイスをオンまたはオフにします。
[Wi-Fi Direct]	[手動接続]	-	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークを手動で設定します。
	[グループ オーナー]	-	-	[切]	お使いの製品をグループオーナーに設定します。
	[ワンタッチ接続]	-	-	-	ワンタッチ方式を使って素早く Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[PIN コード接続]	-	-	-	WPS の PIN コードを使って素早く Wi-Fi Direct ネットワークの設定をします。
	[デバイス情報]	[デバイス名]	-	-	お使いの製品のデバイス名を確認します。
		[SSID]	-	-	グループオーナーの SSID（ネットワーク名）を表示します。
		[IP アドレス]	-	-	お使いの製品の IP アドレスを表示します。
	[接続情報]	[接続状態]	-	-	Wi-Fi Direct ネットワークの状態を表示します。
		[電波状態]	-	-	現在の Wi-Fi Direct ネットワークの信号強度を表示します。 製品がグループオーナーとして動作しているときは、液晶ディスプレイには常に [強] が表示されます。
		[通信チャネル]	-	-	[接続状態] が [グループ オーナー] または [クライアント アクティブ] のときに使用するチャネルを表示します。
		[通信速度]	-	-	[接続状態] が [グループ オーナー] または [クライアント アクティブ] のときに接続速度を表示します。
	[インターフェイス有効]	-	-	[切]	Wi-Fi Direct 接続を有効または無効にします。
[Web Based Mgmt]	-	-	-	[切]	Web Based Management 機能の有効または無効を設定します。 この機能を有効にする場合は、Web Based Management への接続方法を [USB+LAN]、[USB]、または [LAN] から選択してください。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	設定項目 6	初期値	説明
[IPsec]	-	-	-	[㊦]	IPsec は、IP プロトコルの任意のセキュリティ機能であり、認証と暗号化のサービスを提供します。ネットワーク管理者に問い合わせしてからこの設定を変更することを推奨します。
[Global Detect]	[Allow Detect]	-	-	[㊦]	ユーザーが意図せずにグローバルネットワークに接続した場合に、それを検知してユーザーに通知する機能の有効または無効を設定します。
	[Reject Access]	-	-	[㊦]	グローバルネットワークへの接続を無効にします。
[ネットワーク設定リセット]	-	-	-	-	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。

*1 「IP 取得方法」が「Auto」の場合、本製品はネットワークに接続するときに、DHCP などのブートサーバーから IP アドレスとサブネットマスクを設定しようとします。ブートサーバーが見つからない場合、APIPA IP アドレス（169.254. (001-254) . (000-255) など）が割り当てられます。本製品の「IP 取得方法」が「Static」に設定されている場合、製品の操作パネルから IP アドレスを手動で入力する必要があります。

[レポート印刷]

設定項目 3	設定項目 4	初期値	詳細
[プリンター設定リスト]	-	-	プリンター設定ページを印刷します。
[ネットワーク設定リスト]	-	-	ネットワーク設定レポートを印刷します。
[ファイルリスト印刷]	-	-	メモリーに保存されているデータの一覧を印刷します。
[ドラム汚れ印刷]	-	-	ドラムチェックシートを印刷します。
[無線 LAN レポート]	-	-	無線接続診断レポートを印刷します。

[製品情報]

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	初期値	詳細
[シリアル No.]	-	-	-	本製品のシリアルナンバーを表示します。
[ファームウェアバージョン]	[Main バージョン]	-	-	製品のファームウェアバージョンを確認します。
	[Security バージョン]			
[印刷枚数表示]	-	-	-	印刷された総ページ数を表示します。
[消耗品寿命] *1	[トナー]	-	-	トナーカートリッジの寿命を表示します。
	[ドラム 寿命]	-	-	ドラムカートリッジの寿命を表示します。
	[ヒーター寿命]	-	-	定着ユニットの寿命を表示します。
	[レーザー 寿命]	-	-	レーザーユニットの寿命を表示します。
	[PF キット MP 寿命]	-	-	PF キット（多目的トレイ）の寿命を表示します。
	[PF キット 1 寿命]	-	-	PF キット 1 の寿命を表示します。
	[PF キット 2 寿命] *2	-	-	PF キット 2（トレイモジュール）の寿命を表示します。

設定項目 3	設定項目 4	設定項目 5	初期値	詳細
[消耗品寿命] *1	[PF キット 3 寿命] *2	-	-	PF キット 3 (トレイモジュール) の寿命を表示します。
	[PF キット 4 寿命] *3	-	-	PF キット 4 (トレイモジュール) の寿命を表示します。

*1 部品の交換時期は大まかなものであり、使用方法によって異なります。

*2 トレイモジュール (オプション) が取り付けられているときのみ使用できます。

*3 MultiWriter 4M370 でトレイモジュール (250) (オプション) が取り付けられているときのみ使用できます。

[初期設定]

設定項目 3	設定項目 4	初期値	詳細
[設定リセット]	[機能設定リセット]	-	用紙タイプなど、変更したすべての設定を元に戻します。
	[ネットワーク設定リセット]	-	お使いの製品のすべてのネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。
	[出荷状態リセット]	-	本製品をリセットし、プリンター設定 (コマンド設定を含む) をお買い上げ時の状態に戻します。
[表示言語設定]	-	[日本語]	お使いの国や地域で使用する画面言語を選択します。



関連情報

- [設定と機能一覧](#)

Web Based Management を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management は、HTTP または HTTPS を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用したユーティリティです。

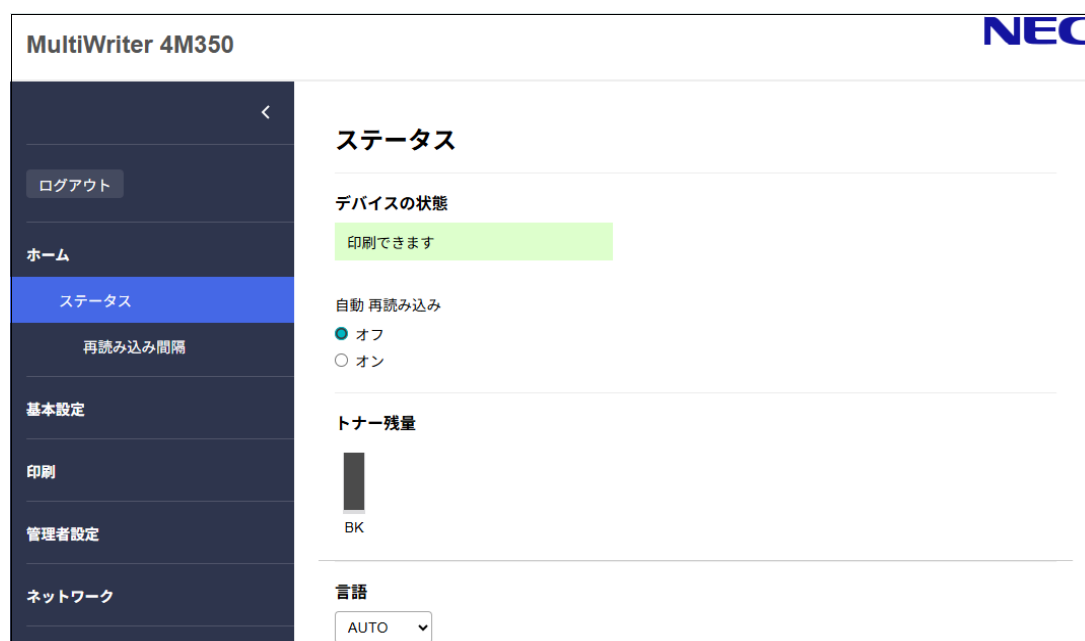
- [Web Based Management とは](#)
- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する](#)

Web Based Management とは

Web Based Management は、HTTP または HTTPS を使用して本製品を管理するための標準的なウェブブラウザを使用するユーティリティです。



- 次のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
 - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
 - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
 - Android™ の場合：Google Chrome™
 - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- 本製品の電源がオンになっていて、お使いのコンピューターと同じネットワークに接続されていること、またネットワークが TCP/IP プロトコルに対応していることを確認してください。



実際に表示される画面は、上の画面とは異なる場合があります。

画面左側のナビゲーションメニューで、設定の確認や変更を行います。

ホーム

本機の現在の状態を確認します。

基本設定

タイマーの設定など、基本的な設定を変更します。

印刷

印刷設定の確認や変更を行います。

管理者設定

ウェブブラウザのパスワードの設定、各種設定のリセット、および主に管理者が使用する機能の設定を行います。また、セキュリティ機能ロックを使用して、ユーザーに合わせて機能を制限することもできます。

ネットワーク

ネットワーク設定の変更、ネットワークプロトコルの有効化または無効化、およびセキュリティと証明書の設定を行います。



関連情報

- [Web Based Management](#) を使用して製品の設定を変更する

Web Based Management にアクセスする

- 次のウェブブラウザの最新バージョンのご使用をお勧めします：
 - Windows の場合：Microsoft Edge、Firefox および Google Chrome™
 - Mac の場合：Safari、Firefox および Google Chrome™
 - Android™ の場合：Google Chrome™
 - iOS の場合：Safari および Google Chrome™
- どのブラウザを使用する場合でも、JavaScript および Cookie が常に有効になっていることを確認してください。
- Web Based Management で設定を行う場合、HTTPS セキュリティプロトコルを使用することをお勧めします。
- Web Based Management 設定に HTTPS を使用すると、ブラウザに警告ダイアログボックスが表示されます。警告ダイアログボックスが表示されないようにするには、自己署名証明書をインストールして SSL/TLS 通信を使用します。詳細については、「関連情報」をご覧ください。
- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。
お買い上げ時のパスワードは、ネットワーク設定リストでも確認できます。

>> ウェブブラウザから Web Based Management にアクセスする

>> NEC Utilities から Web Based Management にアクセスする (Windows)

ウェブブラウザから Web Based Management にアクセスする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。

例：https://nec123456abcdef

- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、☰をクリックしてから🚩をクリックします。

5. 本製品の設定を変更します。



プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

6. 設定を変更した後、**ログアウト**をクリックします。

NEC Utilities から Web Based Management にアクセスする (Windows)

1.  (NEC Utilities) を起動し、ドロップダウンリストをクリックし、お使いの機器のモデル名を選択します (未選択の場合)。
2. **本体設定** をクリックします。
Web Based Management ページが表示されます。
3. 必要に応じて**ログイン**欄にパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。



本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。

4. 画面左側のナビゲーションメニューを固定するには、 をクリックしてから  をクリックします。
5. 本製品の設定を変更します。



プロトコル設定を変更する場合、設定を有効にするには、**OK** をクリックした後、本製品を再起動する必要があります。

6. 設定を変更した後、**ログアウト** をクリックします。



関連情報

- [Web Based Management](#) を使用して製品の設定を変更する

関連トピック：

- [ネットワーク設定リストを印刷する](#)
- [SSL/TLS を使用する](#)
- [自己署名証明書を作成する](#)
- [管理者として Windows ユーザー用の自己署名証明書をインストールする](#)

Web Based Management へのログインパスワードを設定または変更する

本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。本製品への不正なアクセスを防ぐために、お買い上げ時のパスワードをすぐに変更することをお勧めします。

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「https:// 製品の IP アドレス」と入力します（「製品の IP アドレス」には、本製品の IP アドレスを入力します）。

例：

https://192.0.2.1



- ドメイン名システムを使用しているか、NetBIOS 名を有効にしている場合、IP アドレスの代わりに「SharedPrinter」など、他の名前を入力することができます。

例：https://SharedPrinter

- NetBIOS 名を有効にした場合は、ノード名も使用できます。
例：https://nec123456abcdef
- NetBIOS 名は、ネットワーク設定リストで確認できます。

3. 次のいずれかを行ってください：
 - 事前にパスワードを設定してある場合は、そのパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
 - 事前にパスワードを設定していない場合は、初期ログインパスワードを入力し、**ログイン**をクリックします。
4. ナビゲーションメニューに移動して、**管理者設定 > ログインパスワード**をクリックします。



- 本製品の設定を管理するためのお買い上げ時のパスワードは、製品背面にあり、「PwD」と記載されています。
- 画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰をクリックします。

5. パスワードを変更するには、**変更前のパスワードの入力欄**に現在のパスワードを入力します。
6. 画面の**ログインパスワードガイドライン**に従って、**新しいパスワードの入力欄**に新しいパスワードを入力します。
7. **新しいパスワードの確認欄**に、新しいパスワードをもう一度入力します。
8. **OK** をクリックします。



ログインパスワードメニューでロックアウト設定を変更することもできます。



関連情報

- [Web Based Management を使用して製品の設定を変更する](#)

付録

- 仕様
- 各種情報について
- 消耗品
- オプション製品

仕様

主な仕様

商品名			A4 対応モノクロプリンタ	
			MultiWriter 4M370 (型番 : PR-L4M370)	MultiWriter 4M350 (型番 : PR-L4M350)
プリント方式			レーザビーム乾式電子写真方式（半導体レーザ）	
ウォームアップ時間 *1			電源投入から約 25 秒以下（23℃）（スリープモード時は約 7 秒）	
連続プリント速度 *2	片面	カラー	－	－
		モノクロ	A4 : 50 頁 / 分	A4 : 46 頁 / 分
	両面	カラー	－	－
		モノクロ	A4 : 24 頁 / 分	
ファーストプリント時間 *3			A4 : 6.7 秒	
解像度 *4			300dpi: 300×300 dpi、600dpi: 600×600 dpi、 HQ1200: 2,400×600 dpi、1200dpi: 1,200×1,200 dpi	
階調			256 階調	
用紙サイズ	標準	標準トレイ	A4、レター、B5、A5、A5 ヨコ、A6、ハガキ *5	
		手差しトレイ	A4、レター、B5、A5、A5 ヨコ、A6、B6、 封筒 *6（洋形 4 号、長形 3 号、長形 4 号）、ハガキ *5、 自由サイズ *7（幅 69.8 ～ 215.9 mm×長さ 127 ～ 355.6 mm）	
	オプション		トレイモジュール : A4、レター、B5、A5	
用紙坪量	標準	標準トレイ	60 ～ 163 g/m ²	
		手差しトレイ	60 ～ 230 g/m ²	
	オプション		トレイモジュール : 60 ～ 120 g/m ²	
最大給紙容量 *8	標準	標準トレイ	520 枚	250 枚
		手差しトレイ	100 枚	
	オプション		トレイモジュール（250） : 250 枚 トレイモジュール（520） : 520 枚	
	最大		1,660 枚（標準トレイ 520 枚 + 手差しトレイ 100 枚 + トレイモジュール（520） × 2 段）	1,390 枚（標準トレイ 250 枚 + 手差しトレイ 100 枚 + トレイモジュール（520） × 2 段）
最大排紙容量 *8			150 枚（フェイスダウン）、1 枚（フェイスアップ）	
両面機能 *9			可能（坪量 60 ～ 105 g/m ² ）	
CPU			Cortex-A53 1.2GHz Dual Core	
メモリー容量			1 GB（最大 : 1 GB） ※ メモリは増設できません。	512 MB（最大 : 512MB） ※ メモリは増設できません。
ストレージ			－	
搭載フォント			PCL : スケーラブルフォント 73 書体、BitMap フォント 12 書体 ポストスクリプト互換 : 欧文フォント 66 書体、 日本語 2 書体（美杉ゴシック、和桜明朝）	

コマンド体系		PCL6、ポストスクリプト互換	
エミュレーション		PCL6、ポストスクリプト互換、PDF Version 1.7、XPS (XML Paper Specification) Version 1.0	
対応 OS		Windows 11 (64 ビット)、 Windows 10 (32 ビット / 64 ビット)、 Windows Server 2025 (64 ビット)、 Windows Server 2022 (64 ビット)、 Windows Server 2019 (64 ビット)、 Windows Server 2016 (64 ビット) macOS 15 / 14 / 13 / 12 ※OS 対応状況の最新情報は、 https://jpn.nec.com/printer/laser/support/os/ ご覧ください。	
インターフェイス		イーサネット < 1000BASE-T / 100BASE-TX / 10BASE-T > *10、 USB2.0、IEEE 802.11 a/b/g/n *10 ※ 無線 LAN の仕様は https://jpn.nec.com/printer/laser/other/spec_wl.html をご確認ください。	
対応プロトコル		TCP/IP (IPv4/IPv6 : lpd、IPP / IPPS、Port9100、WSD (Web Services on Devices))	
ページ拡大 / 縮小機能		プリンタドライバ機能により 25 ~ 400% の 1% 刻み	
電源		AC100V±10%、15A *11、50/60Hz 共用	
騒音 *12		稼働時 : 7.1 B、54 dB(A) レディー時 : 4.9 B、35 dB(A)	
消費電力 *13	動作時	最大 : 1,130 W (フルオプション時) 平均 : 700 W	最大 : 1,130 W (フルオプション時) 平均 : 670 W
	節電モード	0.6 W	0.5 W
エネルギー消費効率 *14		130 kWh/年 区分 : プリンター D	121 kWh/年 区分 : プリンター C
外形寸法 *15		幅 373 mm × 奥行 388 mm × 高さ 289 mm	幅 373 mm × 奥行 388 mm × 高さ 257 mm
質量		約 12.2 kg (消耗品含む)	約 11.0 kg (消耗品含む)
		約 11.0 kg (消耗品含まず)	約 9.8 kg (消耗品含まず)
使用環境 *16		動作時 : 10 ~ 32.5 °C、20 ~ 80% (結露しないこと)	
耐久性 *17		60 万頁印刷時 (A4) もしくは 5 年の早い方	30 万頁印刷時 (A4) もしくは 5 年の早い方

*1 当社測定基準による測定値。ご使用条件、画質制御によってはさらに時間がかかる場合があります。

*2 同一ページ複写印刷時。なお、罫線およびグラフなどが含まれるデータの印刷速度は、データ量、転送方式により低下する場合があります。厚紙 (ハガキを含む)、小サイズ紙等、用紙の種類・サイズ・送り方向によっては印刷速度が低下する場合があります。連続印刷時に、プリンタ本体の温度調整や画質調整のため動作を休止もしくは印刷速度が低下する場合があります。

*3 印刷動作が始まってから 1 枚目の用紙が排出されるまでの時間。ただし、プリンタ本体の調整動作時間または温度および画質調整時間を除く。

*4 解像度は主走査方向 × 副走査方向で表記しています。

*5 大きさ・厚さともに郵便ハガキ (日本郵便製) 相当のもの。写真付きの厚いハガキやインクジェット用のハガキなどはご使用にできない場合があります。

*6 内カマス、のりなしのものをご使用ください。封筒に関しましては、材質によりご使用にできない場合があります。

*7 ご使用にあたっては、事前に用紙走行性などご確認くださいませようをお願いいたします。

*8 当社検証用紙使用時。印刷環境や用紙の種類・条件によって変動する場合があります。

*9 用紙種類、用紙サイズによっては両面印刷ができない場合があります。あらかじめご確認くださいませようをおすすめします。

*10 有線 LAN と Wi-Fi は同時に使用できません。有線 LAN と Wi-Fi Direct は同時に使用できます。

*11 推奨コンセント容量。機械側最大電流 11.3A。

*12 ISO7779 に準拠した測定条件による。単位 B：音響パワーレベル（LWAd）、単位 dB：放射音圧レベル（バースタンド位置）。

*13 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

*14 省エネ法（平成 25 年 3 月 1 日付）で定められた測定方法による数値。

*15 突起部、オプション品を除く。

*16 温度 40℃を超える場所での本体・消耗品の保管は印刷品質を損なうので避けてください。

*17 有寿命部品（有償）を定期的に交換した場合の値です。

※ 普通紙は乾式 PPC 用紙をご使用ください。

※ 600dpi は 23.6 ドット/mm、1,200dpi は 47.2 ドット/mm、2,400dpi は 94.5 ドット/mm に相当します。

※ 連量に換算すると用紙坪量 60 g/m² は 52 kg、120 g/m² は 103 kg、230 g/m² は 198 kg となります。

トレイモジュール（250）（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	A4、レター、B5、A5
用紙坪量	60 ～ 120 g/m ²
給紙容量 *1/ 給紙段数 *2	250 枚 *1 × 1 段 *2
大きさ	幅 363 mm × 奥行 384 mm × 高さ 122 mm
質量	2.8 kg

*1 最大用紙枚数は坪量 70 g/m² 用紙使用時の値です。

*2 MultiWriter 4M370 は最大 3 段、MultiWriter 4M350 は最大 2 段まで追加可能です。

トレイモジュール（520）（オプション）

項目	内容
用紙サイズ	A4、レター、B5、A5
用紙坪量	60 ～ 120 g/m ²
給紙容量 *1/ 給紙段数 *2	520 枚 *1 × 1 段 *2
大きさ	幅 363 mm × 奥行 384 mm × 高さ 152 mm
質量	3.9 kg

*1 最大用紙枚数は坪量 70 g/m² 用紙使用時の値です。

*2 MultiWriter 4M370、MultiWriter 4M350 とともに最大 2 段まで追加可能です。



関連情報

- [付録](#)

各種情報について

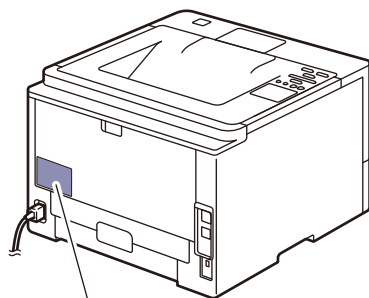
- [保証書について](#)
- [保守サービスについて](#)
- [保守サービスの種類](#)
- [プリンターの耐久性について](#)
- [情報サービスについて](#)
- [使用済みカートリッジ回収について](#)
- [消耗品および補修用性能部品について](#)
- [本機の廃棄について](#)

保証書について

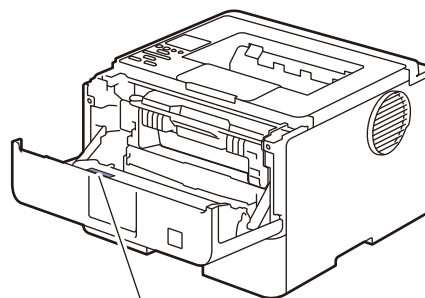
本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口へお問い合わせください。



本機の背面に製品の型番、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板と前面の内側に SERIAL No.（製造番号）が明記されたラベルが貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、SERIAL No.（製造番号）と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板



SERIAL No.（製造番号）

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。

保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守
年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理
サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- PrinterSupportPack
PrinterSupportPack は、プリンターの障害復旧に必要なハードウェア保守を提供する保守パッケージ商品です。詳しくは、「<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/psp/outline/index.html>」を参照してください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 *1
		保証 期間内	保証 期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能です。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング（株）
スポット保守（出張修理）	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合がありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 *3	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットの Web ページ

<https://www.fielding.co.jp/per/index.html>

をご覧ください。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

*2 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー（個人番号）は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー（個人番号）を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせていただきます。

*3 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ（<https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>）をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は、MultiWriter 4M350 の場合は印刷頁数 30 万枚、MultiWriter 4M370 の場合は印刷頁数 60 万枚（有寿命部品（有償）を定期的に交換した場合）、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。



印刷枚数は、A4 の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。本機は、有寿命部品（定期交換部品、有償）の交換が必要です。なお、商品の性能維持のためには定期交換部品の交換が必要です。交換については、お問い合わせの販売店または MultiWriter サポート窓口にご相談ください。

情報サービスについて

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談、修理受付、使い方相談に関する窓口等、最新情報をホームページで提供しています。

URL : <https://jpn.nec.com/printer/laser/support/>

MultiWriter サポート窓口について

MultiWriter サポート窓口		
修理 受付 窓口	保守契約 (サポートパック含む) されているお客様	専用フリーダイヤルへおかけください。(契約後 担当営業または登録窓口より案内) 受付時間 : 年中無休 24 時間
	保守契約されていないお客様	NEC プリンタインフォメーションセンター フリーダイヤル 0120-614-552 受付時間 : 9:00 ~ 17:00 月曜日～金曜日 ※ 土・日・祝日および当社所定の休日を除く ※ 携帯電話からでもご利用になれます。 (電話番号をよくお確かめの上おかけください。)
使い方相談		

使用済みカートリッジ回収について

方法 1

直接回収

使用済みカートリッジをご購入時の梱包箱に入れて、下記連絡先にご連絡ください（フリーダイヤル）。また、インターネット（電子メール）を利用した受け付けも行っております。1 本からでも、弊社指定の宅配業者がお客様のところへ回収にお伺いいたします。なお、送料をお支払いいただく必要はありません。

- 連絡先
EP カートリッジ回収センター
TEL : 0120-30-6924 FAX : 0120-30-8049
E-MAIL : ep-kai@mua.biglobe.ne.jp
- 受付時間
9:00 ~ 17:00（土・日・祝日を除く）

方法 2

お持ち込みいただく場合

お買い上げの販売店までお持ちください。購入時の梱包箱をご利用くださいますと便利です。



回収を希望されないカートリッジ等につきましては、お客様が適切に処分していただきますようお願い申し上げます。

消耗品および補修用性能部品について

弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

本機の廃棄について

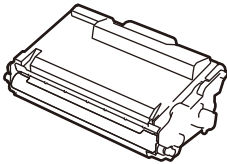
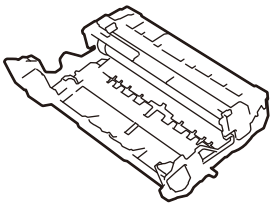
本機の廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。
また、廃棄の際はトナーカートリッジを取り外してお出してください。

消耗品

トナーカートリッジやドラムカートリッジなどの消耗品が交換時期になると、本製品の操作パネルまたはステータスモニターにエラーメッセージが表示されます。



トナーカートリッジとドラムカートリッジは、それぞれ別の部品となります。

消耗品	消耗品の型番	おおよその寿命 (印字可能ページ数)	対象となるモデル
トナーカートリッジ 	大容量トナーカートリッジ : PR-L4M370-12	約 18,000 ページ *1 *2	MultiWriter 4M370
	大容量トナーカートリッジ : PR-L4M350-12	約 11,000 ページ *1 *2	MultiWriter 4M350
	トナーカートリッジ : PR-L4M370-11	約 6,000 ページ *1 *2	MultiWriter 4M370
	トナーカートリッジ : PR-L4M350-11	約 3,000 ページ *1 *2	MultiWriter 4M350
	付属トナーカートリッジ	約 3,000 ページ *1 *2	MultiWriter 4M370 MultiWriter 4M350
ドラムカートリッジ 	PR-L4M350-31	約 73,000 ページ *3	MultiWriter 4M370 MultiWriter 4M350

*1 A4 の片面ページを印刷した場合のページ数です。

*2 カートリッジのおおよその印刷可能枚数は ISO/IEC 19752 規格に基づく公表値を満たしています。

*3 A4 サイズを 1 回に 3 ページ印刷する場合 : 約 73,000 ページ、1 回に 1 ページ印刷する場合 : 約 45,000 ページ (A4 の片面ページ)。
印刷可能ページ数は、使用環境や用紙の種類、連続印刷ページ数などによって異なります。



関連情報

- 付録

オプション製品

品目	型番
トレイモジュール（250）	PR-L4M350-02
トレイモジュール（520）	PR-L4M350-03

MultiWriter 4M370 を使用する場合のトレイモジュール（オプション）最大数：任意の組み合わせでトレイモジュール（オプション）最大 2 個。250 トレイモジュール（オプション）のみ使用の場合は最大 3 個。

MultiWriter 4M350 を使用する場合のトレイモジュール（オプション）最大数：任意の組み合わせでトレイモジュール（オプション）最大 2 個。



関連情報

- [付録](#)